行政法

一木喜德郎講述

各論

六二八〇号 (1)

Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

G23390
昭和 39.3.27
管理換
高等裁判所図書館

最高裁判所図書館
明治文庫 2088
昭57.10

行政法各論目次

第四編 内務行政
第一章 警察
第一節 警察ノ観念
第一款 保安警察ト行政警察
第二款 高等警察ト通常警察
第三款 国家警察ト地方警察
第二節 警察ノ種類
第一款 保安警察
第二款 出版警察
第三款 結社及ビ集会ノ警察
第四款 多衆ノ群集ニ干スル警察
第二章 保安警察
第一節 安寧秩序ニ危険ヲ及ス虞アル時
第二節 特種ノ人ニ対スル警察
第三節 銃器警察
第四節 火薬類取締
第五節 衛生警察
第六節 風俗警察
第七節 建築及ビ道路ノ警察
第八節 水利ノ警察
第九節 河川ノ警察
第十節 鉄道ノ警察
第十一節 電気事業ノ警察
第十二節 瓦斯事業ノ警察
第十三節 水道事業ノ警察
第十四節 動物ノ警察
第十五節 植物ノ警察
第十六節 狩猟ノ警察
第十七節 漁業ノ警察
第十八節 鉱業ノ警察
第十九節 度量衡ノ警察
第二十節 貨幣ノ警察
第二十一節 商業ノ警察
第二十二節 工業ノ警察
第二十三節 外国人ノ警察
第二十四節 旅館ノ警察
第二十五節 興行ノ警察
第二十六節 遊戯場ノ警察
第二十七節 飲食店ノ警察
第二十八節 公衆浴場ノ警察
第二十九節 理髪業ノ警察
第三十節 質屋ノ警察
第三十一節 古物商ノ警察
第三十二節 探偵業ノ警察
第三十三節 広告ノ警察
第三十四節 墓地及ビ埋葬ノ警察
第三十五節 火葬ノ警察
第三十六節 解剖ノ警察
第三十七節 伝染病予防ノ警察
第三十八節 種痘ノ警察
第三十九節 医師ノ警察
第四十節 薬品ノ警察
第四十一節 毒物劇物ノ警察
第四十二節 医師以外ノ医業ノ警察
第四十三節 産婆ノ警察
第四十四節 看護婦ノ警察
第四十五節 歯科医師ノ警察
第四十六節 薬剤師ノ警察
第四十七節 獣医ノ警察
第四十八節 家畜ノ警察
第四十九節 家畜伝染病予防ノ警察
第五十節 家畜ノ去勢ノ警察
第五十一節 家畜ノ売買ノ警察
第五十二節 家畜ノ屠殺ノ警察
第五十三節 家畜ノ畜産ノ警察
第五十四節 家畜ノ種付ノ警察
第五十五節 家畜ノ人工授精ノ警察
第五十六節 家畜ノ繁殖ノ警察
第五十七節 家畜ノ改良ノ警察
第五十八節 家畜ノ輸出入ノ警察
第五十九節 家畜ノ移動ノ警察
第六十節 家畜ノ検査ノ警察
第六十一節 家畜ノ衛生ノ警察
第六十二節 家畜ノ飼養ノ警察
第六十三節 家畜ノ保護ノ警察
第六十四節 家畜ノ取引ノ警察
第六十五節 家畜ノ輸送ノ警察
第六十六節 家畜ノ屠殺ノ警察
第六十七節 家畜ノ畜産ノ警察
第六十八節 家畜ノ種付ノ警察
第六十九節 家畜ノ人工授精ノ警察
第七十節 家畜ノ繁殖ノ警察
第七十一節 家畜ノ改良ノ警察
第七十二節 家畜ノ輸出入ノ警察
第七十三節 家畜ノ移動ノ警察
第七十四節 家畜ノ検査ノ警察
第七十五節 家畜ノ衛生ノ警察
第七十六節 家畜ノ飼養ノ警察
第七十七節 家畜ノ保護ノ警察
第七十八節 家畜ノ取引ノ警察
第七十九節 家畜ノ輸送ノ警察
第八十節 家畜ノ屠殺ノ警察

G23390
39.3.27
管理換
高等教育圖書館

行政法各論目次

第四編　内務行政
第一章　警察
第一節　警察ノ観念
第二節　警察ノ種類
第一　保安警察ト行政警察
第二　高等警察ト通常警察
第三　國家警察ト地方警察
第二章　保安警察
第一節　出版警察
第二節　結社及ヒ集会ノ警察
第三節　多衆ノ群集ニ于スル警察
第四節　安寧秩序ニ危険ヲ及ス虞アル時特種ノ人ニ対スル警察
第五節　銃器警察

號
浦和第一二八〇號
部數　貳冊
格　壱圓　弐五〇
入年月日　明治廿四年六月十五日

第六節　警察ノ執行機関　一五
第三章　衛生警察　一六
第一節　医薬行政　一六
第二節　保健行政　二一
第四章　救貧行政　二六
第一節　恤救行政　二六
第二節　防貧警察　三三
第五章　教育ニ関スル行政　三三
第一節　國家ト教育ノ関係　三三
第二節　初等教育　三六
第三節　中学教育　四四
第四節　大学教育　四六
第五節　私立学校　四七
第六章　宗教ニ関スル行政　四八
第七章　貨幣制度　五七
第八章　度量衡ノ制度　五八
第九章　郵便及電信　六一
第十章　鉄道　六二
第十一章　道路　六四
第十二章　水路　六六
第十三章　農業ニ関スル法規　六八
第十四章　鉱業　六九
第十五章　森林ニ関スル行政　六九
第十六章　牧畜ニ関スル行政　七一
第十七章　狩猟　七一
第十八章　漁業　七一
第十九章　営業ニ関スル法規　七二
第二十章　特許及意匠　七三
第五編　軍政行政　八〇
第一章　軍政上ノ負担　八〇

第一節　徴発
第二節　要塞地帯ノ制限
第二章　兵役
第一節　兵役義務ノ性質
第二節　応募義務
第六編　政務行政
第一章　國庫
第二章　豫算
第三章　國有財産
第四章　手数料
第五章　租税
第六章　公債
第七編　行政上ノ救済
第一章　行政訴願
第二章　行政訴訟
行政訴訟ノ性質
司法裁判ト行政裁判ノ干係
訴願ト行政訴訟ノ干係
行政訴訟ノ管轄
行政訴訟ノ種類
行政訴訟ノ当事者
行政訴訟ノ手続
行政裁判所ノ判決
第三章　権限争議
第一節　権限争議ノ許ス範囲
第二節　権限争議ヲ提起スヘキ時期
第三節　権限争議ノ当事者
第四節　権限争議ノ裁判所
第五節　権限争議ノ手続

第五節 [illegible] 一二九
第四節 [illegible] 一二八
第三節 [illegible] 一二六
第二節 [illegible] 一二四
第一節 [illegible] 一二三
第三章 [illegible] 一二二
第九節 [illegible] 一二一
第八節 [illegible] 一二〇
第七節 [illegible] 一一九
第六節 [illegible] 一一七
第五節 [illegible] 一一六
第四節 [illegible] 一一四
第三節 [illegible] 一一一
第二節 [illegible] 一一〇
第一節 [illegible] 一〇六

行政法各論

第四編　内務行政

第一章　警察

第一節　警察ノ観念

内務行政ト全範囲トナセル観念

警察ハ往時往々内務行政ト範囲ヲ全クスルモノト見ナサレ諸國ノ現行制度或ハ此観念ニ基ケルアリ例ヘハ普國ノ警察ノ観念ヲ研究セル公ニ説ニヨレハ普國ノ法典亦此観念ニ基ク（Allgemeines Landrecht）行政ノ未発達セサルヤ実際警察ハ内務行政ノ全部又ハ殆ト全部ヲ占メタレハ之ヲ混合セル理ナシトセス

目的ニヨリ範囲ヲ定メタル着念

行政ノ発達セル今日ニ於テハ警察ト内務行政トヲ全一視スルモノナキニ至レリ現今警察ヲ論スルモノハ或ハ其目的ニヨリ範囲ヲ定メントスルアリ之ニヨレハ警察ハ國家並人民ニ対スル危害ヲ防制スルヲ目的トスル行政ナリ

我明治八年廿九号太政官達行政警察規則第一条行政警察ノ主意タル人民ノ脅害ヲ豫防シ安寧ヲ保全スルニアリトアリ然レ𪜈危害

ヲ防ク目的トセル行政ハ皆警察トスヘキカラス唯危害防制ノ目的ヲ達スルタメ命令及強制ヲ用ユルニ始メテ之ヲ警察ト称スヘシ故ニ学者往々警察ハ國家ノ秩序ニ対シ一個人ノ生活ヨリ生スル妨害ヲ公力ニヨリ防制スル(Ordnungs-Polizei)或ハ身体及財産ノ目的ニ対スル危険ヲ豫防スル目的ヲ有スル行為ナリト称セリ(Sicherheits-Polizei)

手段ニヨリテ範囲ヲ定メタル観念

(Polizei im formellen Sinne)此説ニヨルモ警察ノ目的ハ消極ニ危害ヲ防クニアリ又之ヲ積極ニ公共ノ利益ヲ進ムルヲ目的トスルハ強制ヲ用ユルモ警察ノ範囲ニ属セストス然レモ消極ノ目的ト積極ノ目的ハ其区別ヲ認ムルヲ困難ナリ広ク云ハ國家命令及強制ヲ用ユルモノナリトモ云ヒ得ヘシ故ニ近時ノ多数ハ消極ニ危害ヲ防クニアリ又之ヲ積極ニ公共ノ利益ヲ進ムルヲ目的トスルハ強制ヲ用ユルモ警察ノ範囲ニ属セストス然レモ消極ノ目的ト積極ノ目的ハ其区別ヲ認ムルヲ困難ナリ広ク云ハ國家命令及強制ヲ用ユルモノナリトモ云ヒ得ヘシ故ニ近時ノ多数ノ学者ハ手段ニヨリテ警察ノ観念ヲ定メントスルニ至レリ之ニヨレハ警察ハ人ノ自由ヲ制限シ必要ノ場合ニハ強制ヲ用ユル國家ノ権力ナリ然レモ命令及強制ヲ用ユルハ独警察ニ限ルニアラス租税ノ徴収公用徴収徴発ヲ命スルカ如キ命令及強制ヲ用ユルモ警察ニ属セサルモノアリ(色蒼戦就任義務ノ強制)故ニ警察ノ観念ハ前述ノ沿革ヨリ考ウルハ怪ムニ足ラサルモ何ヲ以テ警察カ内務ノ区域ニ限ルカノ説明ヲ欠ケリ内務行政ノ区域ニ於テ命令及強制ヲ用ヒ而モ警察ニ属セサルモノアリ(色蒼戦就任義務ノ強制)故ニ学者或ハ警察ヲ以テ公共ノ幸福ノ為ニ自由ヲ制限シ及強制スルモノナリトセリ然レモ租税徴集徴発ノ如キ間接ニ公共ノ幸福ノ為ナラサルナシ唯直接ニ公共ノ幸福ヲ増進スル場合ニ限リテ之ヲ警察ト称スヘシ要之警察ハ(1)國家ノ命令権ニヨリ(2)直接ニ(3)公共ノ安全幸福ヲ保持又ハ進捗スル目的ヲ以テ(4)命令及強制ヲ用ユル國家ノ行政ナリ

内務行政ノ区域ニヨリテ範囲ヲ定メタル観念

上述ニヨレハ警察ノ観念ニ四要素アリ

警察ノ観念ノ四要素

(1)、警察ハ命令及強制ニヨリ人ノ自由ヲ制限スルモノナリ故ニ権力干係ノ存在セサル区域ニハ警察ノ作用ナシ外務行政ノ区域ニ於テハ元ヨリ命令強制ヲ容ルヽ余地ナシ勿論外交ノ必要上往々警察ノ所

盟ヲ要スルコトアルモ之ハ外務行政ノ当然ノ作用ニアラス性質上ハ警
内務行政ニ属ス

(2) 警察ハ又国家命令権ノ直接ノ作用ナリ特別ノ服従義務ニ基
キ命令強制スルハ警察ノ作用ニアラス

(3) 警察ハ公共ノ安全幸福ヲ目的トス司法ノ区域ニ命令強制ヲ
用スルコト多キ言ヲ待タサルモ異目的法ノ執行ニアリ直接ニ公共ノ
安全幸福ヲ目的トスルニアラス故ニ警察ト称スルヲ得ス

(4) 警察ハ又直接ニ公共ノ安全幸福ヲ目的トス軍支行政教改ノ区
域ニ於テ又ハ国家ノ機関ヲ設備スル為往々命令及強制ニヨリ人ノ自
由ヲ制限スルコトアレモ其直接ノ目的ハ国家ノ用ニ供スヘキ設備ヲナス
ニアリ直接ニ公共ノ安全幸福ヲ目的トセサルモノハ警察ノ作用ニ
アラス

第二節 警察ノ種類

保安警察ト行政警察

前述ノ観念ニヨレハ警察ハ内務行政中ノ一局ヲナスモノニアラスシ

テ各部ノ内務行政莫ク国家ノ働ナリ唯警察ノ一部ニシテ
独立ノ部局ヲナセルモノアリ保安警察是ナリ

(旧学説)
保安警察トハ従来ノ学説ニヨレハ国家及人民ノ現状ヲ保持スル
消極ノ作用ヲ云ヒ積極ニ人民ノ幸福ヲ増進スル作用ハ之ヲ幸福警
察(ポリツアイ)ト云ヘリ

(新学説)
近時ノ保安警察トハ狭意ニシテ警察ノ作用ニシテ法律上ノ秩序
ヲ維持スルヲ目的トスルモノヲ云フトハ多数学説ナリ然レモ法律上ノ
秩序ハ行政ノ各部ニ存ス其維持ヲ以テ目的ナリトセハ保安警察ノ
観念ト全ク内務行政ノ各部ニ亘ルモノニ
シテ別ニ行政ノ一部ヲナス故ニ保安警察ノ目的
ハ法律上ノ秩序ヲ維持スルニアリトハ広ク法規ニヨリ定メラレタル
秩序ヲ云フニアラス要スルニ共全生存ノ為ニ必要ナル秩序ヲ云フ
ナリ

無数ノ各個人国家内ニ共全生存スルヲ得セシムルコトセハ国家ハ各
個人ヲシテ(1)一定ノ畛域ヲ定メ国家ノ権力ヲ守リ(2)他人ノ権利ノ

（安寧秩序）範囲ヲ犯サントスルノ状態ヲ称シテ秩序ト云フ之ニ対スル危険ナキ有様ヲ称シテ安寧ト云フ而シテ安寧秩序ヲ保持スルハ保安警察ヲ措ヒテ他ニ其ノ途ナシ

保安警察ノ目的

要之保安警察ノ目的ハ国家ノ特殊ノ目的ヲ達スルタメニアラス(イ)一般ニ国家ノ権力ヲ維持シ及(ロ)私人間ニ於テ各自己ノ権利ノ範囲ヲ局サントスルノ目的ヲ達スルタメニアラス

行政警察

（行政ト対シ行政中ノ一分課ヲ行フニ省ノ行政警察ハ国家カ其特別ノ目的ヲ達スル為行政ヲ行フニ当リ命令及強制ヲ用ユルモノナレハ各部ノ行政ト関聯シ兩ハカラサルモノナリ之ヲ敎ノ学者行政警察ヲ以テ特殊ノ利益ヲ保護スル目的トスルモノトシ又之保安警察ヲ以テ一般ノ保護スル利益ハ行政ノ一部ニ限局セラレサルモノナリトセルハ上述スル主意ト異ルナシ

保安警察ト行政警察ノ区別ノ官庁ノ分配ニ及ス影響

保安警察ト行政警察トノ区別ハ種々ノ点ニ於テ重要ナレトモ就中官庁権限ノ分配ニ大ニ影響アリ

(イ)行政警察ハ行政各部ト千差万別ニシテ之ヲ司ル官庁ハ別段ノ規定ナキ以上ハ之ト千差万別ニシテ行政警察ノ権限ヲモ有スヘキナリ又之(ロ)保安警察ハ行政中ノ一分課ヲナセルモノナレハ権限一官庁ニ専属スルヲ得

（現行官制）現行官制ニヨルモ警察ハ内務大臣ノ司ル所ナレ共上述ニヨレハ其司ル所ハ(イ)保安警察及(ロ)警察執行機関ノ組織及身分上ノ監督ニ属スルニシテ行政警察ニ至テハ夫々ノ所属ニ従ヒ内務大臣ト各省大臣ニ分属セルモノナリ

第二　高等警察ト通常警察

保安警察ハ更ニ分チ高等警察ト通常警察ノ二種トス二者ノ区別ハ或ハ危険

危険ノ原因ニヨリ区別スル説

ノ原因ニヨリテ之ヲ定メントスルモノアリ即危険ノ各個人ヨリ生スルハ通常警察トシ其多数ノ集合ヨリ生スルハ高等警察トセリ

危険ノ性質ニヨリ区別スル説

(Stein Regelsel)

然レ𪜈一般学説ニテハ(1)高等警察ハ危険何人ノ行為ニ生スルヲ問ハス國家ノ安全ニ対シ危険ヲ及ス行為ヲ防クモノニシテ(2)通常警察ハ反之各個人ニ対スル危険ヲ防クヲ主タル目的トスルモノナリ國家ニ対スル危険ハ通常多数ノ結合ニヨリ生スルモノナレハ集会結社ノ如キ主トシテ高等警察ヨリ取締ヲナスヲ常トセルモ多数ノ集合ヨリ生スル危険必スシモ常ニ保安警察ニヨリ防制スル所ニアラス

房三　國家警察地方警察

械干ノ呉レルニヨル区別トスル説

此区別ニ付テハ学説一ナラス或ハ二者ノ別ハ性質ノ区別ニアラス械干ノ呉レルニ基タト云フモノアリ此説ニヨレハ地方警察官廳ノ司ルハ地方警察ニシテ國ノ警察官廳ノ司ルハ國家警察ナリ、然ルニ(1)仝官廳ニシテ往々二種ノ警察ヲ並司ルアリ(2)加之若地方警察官廳ト國家警察官廳トノ区別ノ生スル所以ヲ問ハヾ又之ヲ地方警察ト國家警察トノ区別ニ昇子サルヘカラス

抑地方警察トハ府縣郡市町村ノ別ヲ問ハス苟モ一地方ニ干係セル警察事務ハ皆地方警察ト称シテ可ナル如シ併シ此語ハ元 Lokal Polizei Politie municipal ト仝義ニシテ郡市町村警察ト云フト仝シ現ニ我邦ニ於テモ市町村ノ械干ヲシテ地方警察事務ヲ司ラシムルノ規定アルハ此為ナリ故ニ地方警察ハ市町村ト或干係ヲ有スル疑ナシ其干係ノ如何ハ学説ノ呉ル所アリ

普通学説

普通学説ニヨレハ地方警察ハ主トシテ市町村ノ利益ニ干スルモノナリト之レ独ノ一般学説タルノミナラス諸國現行法中明ニ之ニ基ケルモノアリ(墺、普)

普國ノ〆〆三月十一日ノ法律ニ地方警察ヲ以テ規定シ得ヘキ事項ノ範囲ヲ定メ身体及財産ノ保護公共ノ衝路道路河岸公園橋梁河川ノ秩序安全利便、市場及飲食物ノ販売、公衆会合ノ秩序酒店旅店茶店飲食店ノ取締、生命及健康ノ保護、火災ニ対スル建築ノ注意、其他公衆ニ危害ヲ予フル事項ニ対スル注意、

行政法各論

田畑原野牧場森林並ノ保護ヲ目的トスル警察ヲ以テ地方警察トス云ヘリ然レトモ此ノ如キ解スルハ土木ニ関スル市町村ノ自治事務ヲ偏スルノ嫌アリ固有事務トセリ然レトモ現行法ハ之ト異リ仍普ク同シク之ヲ市町村自治事務ト認メス國ノ事務トシテ市町村長ニ委任スルハ國家ノ利害ニ重大ノ関係アルヲ以テ市町村ノ利害ニ関スルモノナリト認メサルヲ以テ結果ナリ

故ニ我國並普仏等ニ於テハ地方警察ハ市町村ノ区域限ヲ以テ其目的ヲ達シ得ルモノヲ云ヒ國ノ警察ハ市町村ノ区域ヲ限リ執行シ得ルモノヲ云フト云フ所ニ説尤モ当ヲ得タルモノナリ

此区別ト他ノ区別トノ干係

尤モ要セサル説

上述ニヨレハ(イ)高等警察ハ常ニ國ノ警察ニ属シ通常保安警察ハ或ハ國ノ警察ニ或ハ地方警察ニ属スル又(ロ)國家警察ト地方警察トノ区別ハ必スシモ保安警察ト行政警察トノ区別ト一致スルモノアリ

(ハ)人ミアラス國ノ警察ニモ行政警察アリ地方警察ニモ保安警察アリ

此区別ノ標準干渉限ノ分配ニ及ス干係

國家警察ト地方警察トノ区別ハ國家機関ノ権限ノ分配ニ重要ナル干係アリ現行法ニヨレハ(イ)地方警察ハ原則トシテ市町村ノ区域ヲ限リ執行シ得ルモノトス(ロ)國家警察ハ常ニ國ノ警察ニ属シ通常保安警察ト行政警察トノ区別ハ必スシモ保安警察ト行政警察トノ区別ト一致スルモノニアラス

他ノ警察種別

第一、司法警察 行政警察

第二、豫防警察

以上ハ現行法規ニ於テ重要ナル警察ヲ挙ケ地方警察ト云ヘリ然レトモ此ノ如キ解スルハ土木ニ関スル市町村ノ利益ニ干係アルモノナレハ宜シク市町村ノ自治事務トシテ偏スヘシ現ニ輿ノ如キハ之ヲ市町村ノ固有事務トセリ然レトモ現行法ハ之ト異リ仍普ク同シク之ヲ市町村自治事務ト認メス國ノ事務トシテ市町村長ニ委任スルハ國家ノ利害ニ重大ノ関係アルヲ以テ市町村ノ利害ニ関スルモノナリト認メサルヲ以テ結果ナリ

故ニ我國並普仏等ニ於テハ地方警察ハ市町村ノ区域限ヲ以テ其目的ヲ達シ得ルモノヲ云ヒ國ノ警察ハ市町村ノ区域ヲ限リ執行シ得ルモノヲ云フト云フ所ニ説尤モ当ヲ得タルモノナリ

上述ニヨレハ(イ)高等警察ハ常ニ國ノ警察ニ属シ通常保安警察ハ或ハ國ノ警察ニ或ハ地方警察ニ属スル又(ロ)國家警察ト地方警察トノ区別ハ必スシモ保安警察ト行政警察トノ区別ト一致スルモノニアラス

(ハ)人ミアラス國ノ警察ニモ行政警察アリ地方警察ニモ保安警察アリ

特別ノ権利ニヨリ進行セラルヽ故ニ司法警察ハ全時ニ保安警察ノ目的ハ刑法ヲ執行スルニアリ故ニ刑訴法ニヨリ支配セラルヘキモノナリ

行政法ニ於テ警察トハ行政ノ範囲ニ属セシメサルモノヲ云フ

警察ハ又往々之ヲ豫防警察ト除害警察トニ区別スルモノアリ

除害警察

秩序侵害未生セサルニ当リ之ヲ防カサルヘカラス既ニ生セルトキハ之ヲ除クニ力メサル可カラス

豫防ト除害トハ必竟各種警察ノ作用ナリ故ニ之ヲ以テ警察ノ分類ト見ナス克ハス通常豫防警察ト除害警察トヲ区別スルハ司法警察ト行政警察トノ区別ニ外ナラス

第二章　保安警察

保安警察ノ目的ハ(1)広ク各個人ニ対シテ其特種ノ行為ニ制限ヲ加フルヿニヨリテ之ヲ達スルヿアリ(2)又特ニ公共ノ安寧秩序ニ危険ヲ生スル虞アル各個人ニ対シテ其行為ノ自由ニ検束ヲ加フルヿニヨリテ之ヲ達スルヿアリ(3)又或ハ安寧秩序ヲ害スル虞アル物件ノ取締ニヨリ其目的ヲ達スルヿアリ

第一節　出版警察

出版ノ意義

印刷器械其他機械的化学的方法ニヨリ(1)文昏図畫ヲ(2)印刷シ之ヲ(3)発売シ其他頒布スルヲ出版ト云フ

(文昏図画)

文昏図畫トハ(1)文字又ハ(2)図畫形ニヨリ思想ヲ通スルヿヲ主タル目的トス故ニ文字又ハ図形ヲ織出シタル織物又ハ之ヲ印象シタル菓子ノ類ハ文昏図画ニアラス然レ𪜈之等文品ノ形ヲ借リテ思想ヲ通スルヲ目的トスト認ムヘキ場合ニハ文昏図画ト称スルヲ得

(印刷)

出版ハ印刷ヲ要素トス詳言セハ(1)機械的若クハ(2)化学的方法ニヨルヲ必要トス故ニ写本ノ頒布ハ出版ニアラス

(頒布)

出版ハ又頒布ヲ一要素トス発売又頒布ノ一ノ形ナリ頒布トハ文昏図画ヲ人ニ閲覧シ得セシムルヲ云フ故ニ印刷所ヨリ発行所ニ送リ又ハ発行所ヨリ発売所ニ送付スルハ頒布ニアラス反之印刷物ヲ街路ニ掲示シ又ハ閲覧所ニ備置キ公衆ノ閲覧ニ供スルハ頒布ノ形ナキ法律上頒布ト称スヘキナリ

特種ノ出版物

文昏図画中別ニ一種ヲナシ何レノ國ニテモ他ノ出版物ト異ル法規ノ支配ヲ受クルモノアリ即新聞紙及雑誌ナリ

(新聞紙)

現行法ニ於テ新聞紙トハ政治上ノ問題ト他ヲ記載スルトヲ問ハス時事ノ報告ヲ主タル目的トスル定期出版物ヲ云フ、新聞紙ノ主タル目的ハ時事ノ報告ニアレハ毎日発刊スルヲ常トスレ𪜈必スシモ皆然

（雑誌）

リトセス現ニ毎月三回以下発行スル新聞紙ハ法ノ認ムル所ナリ

定規ノ雑誌ハ時事ヲ報告スルヲ主タル目的トセサル定期ノ出版物ヲ云フ雑誌ノ目的上述ノ如クナレハ日々刊行セサルヲ常トスレ𪜈日刊ノ雑誌必スシモ想像シ得ラレサルニアラス

右ノ如ク新聞紙ト雑誌ノ異ノ異ナルハ其記載スル事項ニアレ𪜈新聞紙ノ登載スル所ニシテ時事ノ報告ニ属セサルアリ雑誌ノ記載スル所ニシテ時事ノ報告ニ属スルモノアリ必竟主タル目的ヲ異ニスルニ過キス

（雑誌ニ非ル著作）

新聞紙ト雑誌ハ共ニ定期ノ印刷物ナレ𪜈毎号概相離レ各一個ノ全体ヲ形成スルモノナリ一ノ著作ヲ数回ニ分チ刊行シ他日合シテ一体トスヘキモノハ仮令定期ニ発行スルモ雑誌ト称ス可ラス

（出版ノ制限）

出版ハ之ヲ濫用スル時ハ小ニシテ各個人ノ利益ヲ侵害シ大ニシテ一国ノ治安ニ大ナル危険ヲ及ス言ヲ待タス然レ𪜈出版ハ一方ニ於テ一国ノ文化ヲ進ムル為尤重要ナル利器タルヿ疑ヲ容レス此利益ニ重ヲ置クト他ノ危険ニ重ヲ置クトニヨリ出版警察ノ原則ニ大差ヲ生ス

現今一般ノ趨勢ハ出版自由ノ原則ヲ認ムルニアリ併シ是欧州諸国ニ

（出版ノ検閲制）

於テハ数百年ヲ経タル発達ノ結果ナリ其始吳教ノ発生及傳播ヲ防ク為ローマ法王始テ出版検閲ノ制ヲ設ケタリ（Censor）以来諸国ニ於テ政治上ノ危険ナル意見ノ発表ト傳播ヲ防ク為此制ヲ設クルニ至レリ単ニ保安警察ノ点ヨリ見レハ此制ハ尤実効アル方法ナルヿ明ナリ併シ一方ニ於テ得ル所ハ一方ニ於テ失フ所ヲ償フニ足ラス

検閲ニ関シテハ固ヨリ法規ニヨリ一定ノ標準ヲ設ク可カラス行政官ノ認定ニヨリ出版ノ許否ヲ決スルヲ以テ一二官吏ノ意見ニヨリ人智ノ発達ヲ防クル結果ヲ生ス出版ノ許可ヲ予フル場合ニテモ遷延ノ為時期ヲ失シ甚シキハ原稿紛失セル例少カラス出版事業ノ発達ニ大障害ヲ予ヘシヿ言ハスシテ明ナリ且正当ナル方法ニヨリ意見ヲ発表シ得サル為却テ不正手段ヲ採リ終ニ国家擾乱ノ原因トナルノ虞ナシトセス

（出版自由制）

故ニ検閲ノ制ハ(1)英ニ於テ1600年代末ニ廃止セラレ(2)大陸諸国ニ於テモ概子立憲制ノ建テラレシ以来之ヲ廃シ数多ノ憲法ハ原則トシテ之ヲ設クル能ハサルヿヲ規定セリ(3)我国ノ憲法亦出版ノ自由ヲ保障セリ其

規定ニヨレハ法律ノ規定ニヨル以上ハ検閲ノ制ヲ設クルモ憲法ニ抵触スル所ナケレバ現行法ハ出版自由ノ原則ヲ認メ検閲制度ヲ用セス

出版自由ノ制限

出版自由トハ如何ナル事ヲ記載シ出版スルモ自由ナリトノ意ニアラス(1)或種ノ事項ハ全記載ヲ禁シ(2)或モノハ官廳ノ許可ナクシテ記載スルヲ得サルノ制限アリ又(3)新聞紙雑ニ付テハ或事項ヲ記載セサル可ラサルノ積極的義務アリ

諸國ノ法ハ公判ニ付セサル刑事々件ノ記載ヲ禁シ又ハ罪人ノ為ニ義捐金ヲ募集シ又ハ受領シタル広告ヲ載スルヲ禁ス又外交ニ于スル事戦時ニ於ケル軍隊ノ進退ニ于スルヿ議会秘密会ノ議事等ヲ載スルヲ禁セリ

出版営業ノ制限

新聞紙雑誌ハ正誤ノ求ニ応スル義務アリ諸國ノ法ノ悉認ムル所ニシテ一方ニ於テ于係者ノ利益ヲ保護スルト仝時ニ一方ニ於テハ新聞紙雑誌ノ利益ヲ保護スル為此義務ニ一定ノ範囲ヲ定メタリ

出版ハ許可ヲ要セサルト仝シク出版営業亦許可ヲ要セサルヲ原則トス是(1)現今諸國ノ概子認ムル所ナリ、出版営業ニ許可ヲ要スルハ検閲ト性質ヲ仝クス検閲ハ事項ノ許可ニシテ営業ノ許可ハ人ノ検閲ナリト云フモ可ナリ今日ニ於テモ(2)露國墺國ニ於テハ許可ヲ要ス併シ墺國ニアリテハ新聞紙ハ例外トシテ許可ヲ要セス(3)我邦ニアリテハ出版営業ニ別ニ制限ヲ付セス

新聞紙発行者ノ資格

上述ノ如ク出版営業ハ自由ナルヲ原則トスレバ新聞紙ニ于シテハ諸國概其発行者ノ資格ニ制限ヲ設ク是等ノ制限ハ通常一定ノ年齢又ハ資産ノ効力、公権、住所、臣民タルヿ等ノ資格ヲ要ス此資格アルモノハ新聞紙発行ノ自由アレバ政治ニ于スル新聞紙雑誌ヲ発行スルニハ保証金ヲ要ス其理由ハ(一)ハ事業ノ基礎鞏固ナルヿヲ保証シ兼テ裁判ノ執行ヲ容易ニスルニアリ併シ(二)ニ其主タル理由ハ無資無産ノ徒濫ニ政治道徳上危険ナル新聞紙ヲ発行シテ社会ノ秩序ヲ害スルヲ防クニアリ此制ハ1869ヨリ英ニ行ハレ1881ヨリ仏ニモ行ハレ現今墺國及我國ニ行ハル

頒布ノ制限

行政処分ニヨリ出版物ヲ禁示スルハ出版自由ノ原則ニ背反スル結果ヲ生スル虞アルヲ以テ現今立憲國概子之ヲ廃止セリ然レバ出版

（差押）物ハ一タビ之ヲ頒布スレハ回復スヘカラサルモ危険害ヲ生スルモノアレハ諸國法往々行政官ニ差押ヲナス権ヲ與フ（独墺等）然レ𪜈差押ハ新聞紙等ニ於テ殆禁示ト全結果トナルヲ以テ其ノ場合ヲ限レリ（墺ハ概括的独ハ列挙的）外國ノ发版物ニ対シテハ諸國法往々例外ヲ設ク（独ニテハ一年二回没収ヲ受クルトキハ二ケ年間頒布ヲ禁シ得）

我現行法ハ(1)内國ノ新聞紙ハ外交并ニ軍事ニ干係スル事項ヲ記載スヘカラストノ禁令ヲ侵シ又ハ皇室ノ尊厳政体ノ変改、秩序風俗ノ壊乱ニ干シ告発アルトキハ主務官廳ハ発売頒布ヲ停止シ全一事項ノ記載ヲ禁止スルヲ得

(2)新聞紙外ノ发版物及外國ニ発行スル新聞紙ハ行政所分ニヨリ発売頒布ヲ禁止シ及差押ヲナスノ例アリ

（掲示）掲示 Plakat ニ于シテハ現行法ニ明文ナケレ𪜈通常ノ頒布方法ヨリモ直接ニ多数ノ人民ニ接シ且即時ニ効果ヲ生スルヲ目的トスルヲ以テ特別ノ取締ヲ要ス故ニ各國概之ニ干シ多少ノ制限ヲ設ケサルナシ或ハ(1)政治上ノ掲示ヲ禁スルアリ（Premssen）(2)或ハ掲示ニ警察官廳ノ許可ヲ要スルアリ（Bayern, Österreich, Italy）(3)或ハ警察官廳ニ届出ヲ要スルアリ（Sachsen, Würtenberg）

行商及ニ読売

发版物ノ販売ハ許可ヲ要セサルヲ常トスレ𪜈行商及読売（Corporation Hage）ハ(一)掲示ニ制限ヲ加フルト全理ニテ(二)ハ道路警察ノ干係ヨリ特別ノ制限ヲ要ス

(1)行商ハ墺ニアリテハ全禁シ独ニハ許可ヲ要ス

(2)読売ノ営業ニ対シテハ仏ニハ届出ヲ要スルヲ規定アリ且其方法ニ制限ヲ設ク独ハ警察官廳ノ許可ヲ要シ墺ハ一定ノ場所ニ限リ之ヲ許ス我邦ニハ規定ナシトス

第二節　結社及集会ノ警察

第一、結社

結果社トハ数多ノ人カ(1)意思ノ合致ニヨリ其(2)自ラ定メタル(3)共全結社ノ意義ハ目的ノ為ニ設ケタル(4)継続スヘキ性質ヲ有スル結合ナリ

(1)結社ハ自由意思ニヨリ設ク故ニ存廃ハ一ニ私人ノ自由ニアリ故ニ公

共団体又ハ其機子ノ如ク強制ニヨリ設置シ又ハ存在セルモノハ結社ニアラス

(2) 結社ハ社員ノ自ラ定メタル目的ノ為ニ設置スルモノナリ此点ニ於テモ公共団体ト性質ヲ異ニス

(3) 結社ハ其全ノ目的ノ為ニ結合ス各社員ノ目的トスル所皆全シカラサルヘカラス此点ニ於テ売買交換等ノ私法上ノ干係ト異レリ

(4) 結社ハ多少ノ期間継続シ存在スヘキ目的ヲ有ス集会ト異ル点ナリ

結社ノ制限

結社ノ自由ヲ認ムルハ近来立法ノ趨勢ナリ然レ𪜈一二ノ國ニアリテハ猶未全ク之ヲ認メサルアリ例ヘハ仏ノ刑法ハ二十人以上ノ結社ハ政府ノ許可ヲ受ケテ其定メタル条件ニ従フヘキヿヲ定メ墺法ニヨルモ結社ハ認可ヲ受クルカ又ハ届出後四週間ヲ経サレハ目的タル事業ニ着手スルヲ得ス此期間内ニ於テ官廳遠法又ハ危険ナリト認ムルトキハ此結社ヲ禁止スルヲ得

結社ニ于スル取締ハ種類ニヨリテ異レリ

1、一般ニ許サレサル結社

ノ、法ヲ以テ禁セラレタル行為ハ結社ニヨリテナスヿ亦禁セラルヽハ明ナレハ目的遠法ナル結社ヲ許サヽルヿ明ナリ其他秘密ノ結社即政府ニ対シテ其存在組織又ハ目的ヲ秘密ニセル結社ヲ禁スルハ諸國法ノ一致スル所ナリ(a)不明ノ首領ニ対シ服従ヲ約スル結社及(b)一定ノ首領ニ対シ無条件ノ服従ヲ約スル結社ハ我國法ノ明ニ禁スル所ニシテ(独)、我國法ニハ明文ナキヲ以テ公安ヲ害スルモノトシテ所分スヘキモノト認ムル外ナキナリ

2、政治上ノ結社ノ特別制限

2、政治上ノ結社ハ自由ナレ𪜈一般結社ト異ナレル特別制限ヲ受ルヲ例トス之等制限ノ一ハ監督ヲ行フ為ノ手段ニシテ(a)結社ニ付テ責ヲ負フヘキ役員ヲ設クルヿ(b)又ハ届出ヲナス義務等ナリ現行法亦此規定アリ然レ𪜈一層結社ノ自由ヲ認ムル法ハ届出ノ義務ヲモ設ケス単ニ官廳ノ命ニヨリ報告ヲナス義務ヲ定メリ(Badeni及Hirtenberg)(c)他ノ制限ハ結社ニ加入スルモノニ関スルモノナリ此制限ハ或ハ政社ノ加入者ニ及ス害ヲ防クヲ目的トセルアリ或ハ加入者カ政社ニ害ヲ及スヲ防クヲ目的トス(婦人未成年者学生ノ加

入ヲ禁スルハ独墺我現行法等ナリ又外人ノ加入ヲ禁スルハ後者ナリ

改社カ他ノ改社ト連結スルハ諸國法之ヲ禁ス（英独墺我現行法）

改社連結スルトキハ数多ノ改社々負担全シテ全目的ヲ達セントスル

モノニシテ即結社ニ干スル規定ニヨラスシテ結社ト全目的ヲ達セント

スルモノナレハ法ノ之ヲ禁セントスル理ナシトセス殊ニ外國ノ結社ニ対

シテハ國家ニ監督ノ手段ナケレハ内國結社ノ之トノ連結ヲ禁スル

ハ必須ナリ現行法ハ内外ヲ問ハス連結ヲ禁ス

結社禁止ノ

結社ニシテ違法又ハ公益ヲ害スル権ヲ有スルヲ要ス（Pürtenberg）

ノ如キハ明文ヲ設ケサルモ違法ナル場合ニハ当然ノ支理トシテ禁

止ノ権アリト認ム(1)、禁止ヲ命スルハ諸國法概之ヲ行政官ノ認定

ニ委セリ我邦ニ於テモ内務大臣ハ安寧秩序ノ害アリト認ムル結

社ヲ禁スルヲ得(2)然レトモ一層結社ノ自由ヲ拡張セル制度ニ於テ

ハ結社ノ解散ハ行政官ニ委セス又判所ノ判決ニヨルモノトシ行政官

ハ仮リニ之カ閉鎖ヲ命スル権ヲ有スルニ止ルモノアリ（Prenaver-

3、政治上ノモノニ非ル結社

3、政治上ノ結社ニ属セサル結社中(1)公支ニ干スルモノハ一二例外ヲ免ノ

外政社ニ干スル規定ヲ適用セル國アリ（Prenaver）ハ公支ニ干スル結社

中更ニ政社ヲ分テリ）(2)其他ノ結社ハ警察上ノ制限ヲ要スルヿ比較

的少シ現行法亦政治外ノ結社ニ対シテハ別段ノ制限ナシ唯内務大臣

安寧秩序ヲ害スルモノト認メタルトキ之ヲ解散スル権アルノミ

第二 集会

集会トハ(1)共全シテ(2)或支項ヲ論議表決シ其他相互間ニ思想ヲ交

通スルヿヲ目的トシテ(3)公衆ノ会合スルモノヲ云フ

集会ノ意義

集会ハ(1)共全ノ目的ノ為会全スルモノナリ故ニ多数郡集スルモ之ヲ集会トスヘ

カラス

集会ハ(2)或支項ヲ論議表決シ其他思想ヲ交通スルヲ目的トス劇場等

ニ群集スルハ集会ニアラス

集会ハ(3)公衆ノ会全ナリ親族朋友等ノ特別ノ干係アルモノ社交上ノ

干係ノ範囲内ニ属スル支項ヲ議スル為会全スルハ集会ニアラス

集会自由ノ制限

集会ノ自由ハ近来ノ各國憲法ノ保障スル所ナリ然レトモ集会ハ一方ニ

於テ社会上政治上ノ発達ニ匡益アルト共ニ一方ニ於テ公共ノ安寧秩序

ニ危険ヲ及ス少カラサルヲ以テ諸國法多少ノ制限ヲ加ヘサルナシ
(1)秘密ノ集会ハ秘密結社ト全ク法ノ禁スル所ナリ
(2)武器ヲ携帯シテ集会スル亦然リ
(3)屋外ノ集会ハ多数ノ民衆之ニ附和シ暴動ト変スル恐アリ安寧秩序ヲ危クスル少カラス諸國法(1)或ハ全ク之ヲ禁ス(仏ハ道路ニ於ケル集会ヲ禁ス)(2)或ハ許可ヲ要シ或ハ(3)公安ヲ害スル恐アル場合ニ之ヲ禁スル権ヲ警察官ニ予フ(4)我法ニヨレハ屋外ノ集会ハ(a)、認可ヲ要ス(B)殊ニ政談集会ハ公衆ノ交通ヲ遮断セル場所ニアラサレハ之ヲ許サス又(C)公安ニ害アリト認ムルトキハ警察官廳之ヲ禁スルヲ得(d)数多ノ國法ニヨルニ屋外ノ集会ハ議会ヲ威迫スル恐ナカラシムル為議会所在地ノ一定巨离内ニ開クヲ禁ス猶Preussenニ於テハ皇居ノ一定巨离内ニ於テモ之レヲ禁セリ現行法亦議会開会中ハ議院ヨリ三里以内ノ地ニ之ヲ開クヲ禁セリ

政談集会ノ特別制限

政談集会即政治上ノ事項ヲ論議スルヲ目的トスル集会ハ特ニ厳格ナル制限ヲ受ク何レノ國ニ於テモ(1)政談集会ニハ管理ニ付責ニ任ス

ヘキ発起人ヲ定ムルヲ要シ又(2)発起人ニハ一定資格ヲ要ス殊ニ我國ハ墺ト全シク外人ハ其発起人タルヲ得ス(3)現行法ハ猶外國人ノ政談集会ノ講談者タルヲ禁セリ其他(4)或種ノ人ハ之ニ会全シ得サルハ政社加入ノ制限ニ付設ケタルト全シ(5)政談集会ハ責任者ヲ定メ一定期限内ニ届出ヲ要スルハ諸國法概一致セリ(尤独乙中Wirtenbergハ広告ニテ足レリトス)

集会解散抄

議会ノ撰挙ニ際シ撰挙人被撰挙人ノ集会ニ限リ届出ノ義務ヲ免セルハ諸國法ノ一致セル所ナリ

集会ハ結社ト異リ一時ニ結了スルモノナレハ其解散ハ結社ノ如ク文判所ノ判決ニヨルヲ得ス故ニ集会ノ解散ハ普ノ如ク行政所分ニヨリ結社ノ解散ヲ命シ得サル國ニ於テモ警察官廳之ヲ行フヲ得

解散ハ遠法ノ場合ニ限リ行ヒ得ルモノアリ又ハ安寧秩序ヲ害スル場合ニ之ヲ行ヒ得ルモノアリ仏ハ一歩ヲ進メ発起人ノ請求アルトキニ限リ警察官ハ解散ヲ命シ得

(1)現行法ニヨレハ警察官ハ遠法以外ニ(2)会場ノ鎮静セサルトキ及(3)

公共ノ安寧秩序ヲ害スル恐アルトキハ解散ヲ命ジ及(ヤ)講談論議安寧秩序ヲ害スルト認メタルトキハ之ヲ停止スルヲ得之等所分ハ皆警察官廳ガ權限ヲ委任シ行ハシムル為派出セル官吏ノ行フ所ニシテ実ハ委任ヲ与ヘタル警察官廳ノ所分ナリ

第三節　多衆ノ群集

多衆ノ群集ニシテ一定ノ主項ヲ講談論議スル目的ヲ有セス又ハ全共会ノ目的ヲ有セサルモノハ集会ニ干スル法規ヲ以テ律スル可ラサレ共治安ヲ害スル危険ハ集会ヨリ大ナルヲ以テ故ニ諸國法皆特別ノ規定ヲ設ケ大体ニ於テ概定一致セリ之ニヨレハ多衆ノ群集公共ノ秩序ヲ害スル恐アルトキハ(1)警察官廳ハ一定ノ式ニ從ヒ一回又ハ数回文書ヲ以テ又ハ口頭ヲ以テ解散ヲ命シ(2)犯解散セサルトキハ警察官ハ兵器ヲ用ヒテ之ヲ命スルヲ得(3)警察官ノ力足ラサルトキハ当該官廳ハ軍隊司令官ニ向ヒ出兵ヲ要求シ得(4)多数ノ暴動ヨリ生スル損害ニ対シテハ市町村賠償ノ義務ヲ有スルヲ以テ行政法ハ屋外ニ於ケル数運動セントスルトキハ一般ノ集会ト全ク銃器又ハ凶器ヲ携帯スルヲ得スル其他屋外ノ集会ニ干スル規定ハ皆多衆ノ運動ニ適用セリ

第四節　安寧秩序ニ対スル警察

一般人民ニ対スル警察上ノ制限ノ外特ニ安寧秩序ニ危険ヲ及ホス虞アル人ニ対シテ行フ警察ノ所分ハ左ノ如シ

(1)行不良ニシテ他ノ住民ニ危害ヲ及ホス恐アル場合ニ市町村ニ之ヲ拒ム権ヲ認ムルトキ及特ニ公共ノ安寧秩序ニ対シ危害ヲ及ス恐アル者ニ対シテ保安警察ノ所分トシテ居住及移転ノ自由ヲ制限スルモノニシテ保安警察ノ所分ニヨル制限ノ内ニアルモノニシテ

(ロ)国境外ニ退去ヲ命スルヨリ此所分ヲ受ケタルモノハ本國ニ居住ス

移住市町村ノ拒絶ニヨル移転自由ノ制限

保安警察ノ所分ニヨル制限

対スル所分

ル権アリ又外國ニハ居住ノ権ヲ有セサルニヨリ或ハ前居住地ヲ失フニ至リ頗ル(a)残酷ナルノミナラス(b)一方ニ於テハ不良ノ徒ヲ輸出シ累ヲ外國ニ及ス恐アルヲ以テ近来ノ諸國ハ自國居民ニ対シテハ概シテ此所分ヲ行ハス唯仏國ハ1856法律ニヨリ王族ニ対シ此所分ヲ定メリ(独乙ニハ Jesuiten ニ対シ此所分アリキ今日ハナシ)

(2)國境外ニ退去ヲ命スルハ稀有ノ例ナレ𪜈治安ニ危険アルモノニ対シ國境内ニ於テ居住及移転ヲ制限スルヲハ稀ナラス(独乙ノ社会党ニ対スル所分我保安條例)

(3)又或犯罪者ニ対シ(a)文判所直チニ附加刑トシテ監視ニ附シ又(b)警察上ノ所分トシテ監視ニ附スルヲ得ヘキモノヲ宣告スルハ諸國法ノ定ムル所ナリ

(4)諸國法ハ概乞丐浮浪其他类似ノ者ニ対シ文判所ノ宣告ニヨリ労役所 Arbeitshaus ニ於テ強制シテ労役ニ付セシム

(5)英國ニ於テハ(a)殺人放火其他或種ノ犯罪ヲナス危険アルモノニ対シ危険ヲ感スルモノヽ請求ニヨリ本人ヲ召喚シ治安判事ニ於テ一定ノ期間治安ヲ保証ヲ自己及証人ヲシテ保証セシメ(b)及民行不良ノ聞アルモノヲ呼出シ謹慎ヲ保証セシムル制アリ(我豫戒令)

我國及伊太利ニハ豫戒ナル特別所分アリ伊太利ニ於テハ一定生業ナキモノ及犯罪ノ疑アルモノニ対シ文判所ハ警察官廳ノ請求ニヨリ豫戒ヲ命シ得之ヲ命セラレタルモノハ監視ニ附セラレシモノト仝様ノ制限ヲ受ク

我豫戒令ハ豫戒ヲ純然タル行政所分トナシ地方長官之ヲ命ス

豫戒ノ効果ハ(1)一定期間特別ノ警察監視ヲ受ルト及(2)其期間内命令ノ事項ニ違反セハ所罰セラルヽニアリ

伊國法ニヨレハ豫戒ヲ受ケタルモノヽ内特ニ公共ノ安寧ニ危険アリト認ムルトキハ殖民地又ハ本國ニ於テ一定ノ居住地ヲ指定スルヲ得

2、外人ニ対スル所分

猶外人ニ対シテハ保安警察上特種ノ規定ヲ設クル必要アリ外人警察ノ主タル手段ハ(1)旅券ノ制ナリ此制度ノ目的ハ警察ノ監視ヲ容易ナラシムルニアリ然レ𪜈交通ノ自由ヲ妨ルヿ少カラサルニヨリ今日ノ諸國ハ概皆之ヲ用ユルヿナシ(2)外人ニ対スル終局ノ警察所分

ハ國境外ニ退去ヲ命スルニアリ

第五節　銃器警察 Waffenpolizei

保安警察ハ特別ノ人又ハ特種ノ行為ニ対シ制限ヲ加フルノミナラス刀剣銃砲等使用ニヨリ公共ノ安寧秩序ヲ害スル危害ヲ生スヘキ物件ニ干シ取締ヲナスヲ要ス之ヲ銃器警察トス之ニ干スル主ナル規定ハ銃砲火薬取締法ナリ

第六節　警察ノ執行機干

警察ノ執行機干ノ組織ハ地方警察ヲ以テ地方自治体ニ委セル國ト純然タル國ノ機干ヲ以テスル國トノ間ニ区別アル勿論ナリ

地方警察ヲ自治体ニ委任スル制度

地方警察ヲ自治体又ハ其機干ニ委任セル國ニ於テハ其(1)執行ハ市町村ノ費用ニ委シ市町村國家ノ認可ヲ経テ之ヲ行フ(2)然レ𪜈重要ナル市ハ多少制度ヲ異ニセリ例セハ Preussen ニハ別ニ地方警察署ヲ置ケル市ニハ軍隊組織ニナラヒ編成セル巡査 Schutzman ヲ置ケリ仏國ニテハ人口四万以上ノ市ハ拒密院ノ意見ヲキヽ大統領之レヲ定ム(3)國家警察ノ執行機干ニシテ兼テ地方警察ノ執行ヲ助クル

ハ憲兵ナリ独ニハ軍隊ニ倣ヒ編制セル巡査ヲ置ケル市ニテハ之レヲシテ憲兵ノ職ヲ兼子シム

憲兵ノ特色ハ軍隊ノ組織ヲ有シ(1)其経済及規律ニ付テハ陸軍大臣ノ監督ニ属シ(2)其所分ニ付テハ警察支務ヲ管掌スル中央官廳ノ監督ニ属スルヲナリ此制ハ元仏ニ起リ他ノ諸國之ニ倣ヘルモノナリ

我國ノ制度

我國ニ於テハ警察ハ國家警察地方警察ノ別ナク皆國ノ機干之ヲ司ルヲ例トスレハ警察ノ執行機干亦國ノ維持スル所ナリ

(警部)一般警察支務殊ニ保安警察ノ為ニ設ケタル執行機干ハ警部及巡査ナリ警部ハ一般文官ニ干スル規定ノ支配ヲ受ケ巡査ニハ任用賞罰別ニ規定アレ𪜈性質ヨリスレハ官吏ナリ

(巡査)

(憲兵)我邦ニ於テモ欧州諸國ニ模シ憲兵ノ制アリ憲兵ハ陸軍兵ノ一種ニシテ服役ハ兵役ノ変形ナレハ之ニ服セルモノハ年限ニ応シ普通兵役ヲ免ル憲兵ハ亦陸軍兵ノ一種ナレハ(1)組織及規律ニ干シテハ陸軍大臣ニ隷属ス戦時及支変ニ際シテハ特別ノ所分ヲ有ス然レ𪜈(2)其平時ノ所分ハ軍支警察行政警察及司法警察ヲ司ルニアレハ

G23390

兵器ヲ用ヒ得ル場合

其所分ノ異ルニ従ヒ陸海軍大臣内務大臣又ハ司法大臣ノ監督ニ属ス

警察ノ執行機関ハ職務執行ニ必要ナル時ハ兵器ヲ用ユルヲ得然レ氏此権ヲ濫用スルヲ防ク為其場合ヲ制限スル必要アリ（例ヘハ普国法ハ警察官及憲兵ノ兵器ヲ使用シ得ヘキ場合ヲ

（憲兵）（巡査）（警時）

(一)、職務執行ニ対シ暴力ヲ以テ抵抗スルモノアル時
(二)、犯罪者逮捕ノ際犯罪者カ抵抗スル時
(三)、兵器ヲ以テセサレハ目的ヲ達シ得サル時

等ナリ憲兵条例モ亦之ヲ定メリ）

我警察官ノ兵器使用ニ付テハ訓令アル外法律ナシ

（出兵）

警察執行機関ノ力ヲ以テ抗拒ヲ除クニ足ラサル時ハ地方長官ハ師団長又ハ旅団長ニ出兵ヲ求ムルヲ得(イ)出兵必要ノ有無ハ地方長官ノ認ムル所ニシテ請求ヲ得スシテ出兵スルハ越権ナリ(ロ)反之現場ニ於テ兵力使用ノ必要アリヤヲ認定スルハ司令官ニシテ地方長官ハ之ニ干渉スルヲ得ス

第三章 衛生行政

衛生行政ノ存スル所以

人ノ健康ヲ保全スルハ主トシテ私人ノ事ナリ然レ氏健康ニ対スル危険ハ往々私人ノ力ヲ以テ除クヲ得サルコアリ又之ヲ恢復スル手段往々私人ノ施設ニ放任シ難キコアリ故ニ国家ハ私人ノ力足ラサル時ハ警察ノ手段ニヨリ或ハ助長ノ方法ニヨリ公衆ノ安寧健康ニ対スル危険ヲ除キ又ハ健康ヲ恢復スルヲ目的トスル施設ヲナスヲ要ス是衛生行政ノ由テ起ル所ナリ衛生行政ヲ分テ二部トス

衛生行政ノ二分

(1)一ハ健康ニ対スル危険ヲ(a)未発ニ防キ又ハ其(b)伝播ヲ防クヲ目的トシ保健行政ト云フ飲食ノ業務営業警察風俗警察建築警察道路警察ノ如キハ専ラ保健ヲ目的トスレ氏主トシテ保健行政ニ属スルニアラス反之伝染病予防飲食物ニ干スル警察墓地及埋葬ニ干スル警察病毒媒介タル特種ノ営業ニ干スル警察ハ主トシテ之ニ属ス

(2)第二部ハ健康ヲ恢復スルヲ目的トス医薬行政ト称ス医薬養成及医業ニ干スル取締、薬品ニ干スル取締及病院ニ干スル取締等皆之ニ属ス

叓ノ順序ヨリセハ保健行政ハ医薬行政ニ先チ発達スヘキカ叓実ヤリ之ニ反シ医薬ニ于スル知識発達シテ保健行政生セリ

第一節　医薬行政

医薬行政ハ直医師ノ営業ニ于スル行政ヲ以テ第一トシ病院ニ于スルモノヲ第二薬呉ニ于スルモノヲ第三トス

医師ノ養成

第一、医薬ニ于スル行政、ノ第一ハ医師養成ニアリ医学進歩ノ今日ニ於テハ医師養成ノ設備ハ私人ノ力ノ及フ所ニアラス故ニ國家自ヲ之ヲナスハ各國皆然リ然レ𪜈此種ノ行政ハ法規ノ規定ヲ要スル少ケレハ

医師ノ試験

之ヲ論スル必要ナシ

医師ヲ養成スルハ國家ノ独占叓業ニアラス故ニ國家ハ医師ノ皆相当技倆ヲ有スルヲ検定スルニ別ニ方法ヲ要ス私人ハ之ヲ判断スル知識ナキニヨリ医師営業ヲ自由トセハ無識ノ医師不良ノ徒ニ欺カレ戦産上以外ニ健康ヲ害シ生命ヲモ失フニ至ルヘシ此危険ニ対シ公家ヲ保護スルニハ私人ノ信頼者ヲシテ医師ノ技能ヲ試験セシムルノ外ナシ故ニ各國此方法ヲ行フ

(各口ノ制度)試験ヲ行フハ國家ナルヲ限ラス現ニ(1)英國ニハ数多ノ医師団結アリ之ニ加入シ医師ト称スルニハ団体ニ於テ執行スル試験ヲ受ルヲ要ス大学モ亦試験ヲ行フ然レ𪜈公平ナル試験ヲ行フニ尤適当ニシテ必要ノ機干ヲ具セルハ國家ナリ故ニ欧州大陸ハ或ハ(2)医学士ノ試験ヲ受ケタルモノニ限リ(墺)(3)或ハ之ト离レ別ニ試験ヲ設ク(普)(4)或ハ医師ノ等級ヲ区別シ高級医師ハ学士試験縣ニ限リ開業スル下級医師ハ縣試験ヲ要ス(仏)

(我口ノ制度)

我國ニテモ試験ヲ設ケ或学歴アルモノヽ外ハ之ヲ経サレハ開業ヲ許サス

(試験ノ効力)

然レ𪜈之ヲ受ケタルモ当然開業シ得ルニアラス(1)試験ハ開業免状ヲ得ル一要件タルニスキス免状ハ技能ヲ証スルモノニ非ス営業ノ許可証ナリ、(2)試験ヲ経タルモノヽ外ハ全然医ヲ行フヲ禁スルヤニ付テハ二制度アリ一ハ全禁シ一ハ免許医ニ限リ或特権ヲ与フ例ヘハ(イ)英独ニテハ医師ハ試験ヲ経タルモノヽ外ハ医師ト称シ又ハ一二ノ特権ヲ享受スルヲ得ス(ロ)反之仏墺諸國ハ我國ト全ク全ク無免許医ノ開業ヲ禁セルナリ

第二、病院ニ于スル行政、患者ハ医薬ノ外ニ観護ヲ要ス私人ハ自ラ之

ヲナスヲ得ス又ハ病性上他人ニ危険ヲ及ス危険アリテ私宅ノ治療ヲ不便トスルコトアリ之等諸種ノ原因ヨリ生スル需要ヲ充ス設備ヲ病院トス

公設ノ病院

病院ハ公費ヲ以テ設立維持セルヘキ又私費ヲ以テスルヘキアリ公設ノモノニ付テハ別ニ述ル所ナシ、私設病院ニ付テハ各國警察ノ取締ヲ必要トス此警察ノ作用ハ病院ノ(1)設立ヲ以テ許可ヲ要スルモノトシ監督(理)者ヲ要ノ技能ヲ具ヘ病院ノ建築其他ノ設備衛生ニ適セルモノニ限リ許可ヲ与ヘ(2)警察ハ常ニ之ヲ得タル病院ヲ監視シ条件ニ欠ケタル所アルトキハ許可ヲ消取ニアリ我國ニハ其法規ナシ

私設ノ病院

癲癇病院

病院中特ニ取締ヲ要スルハ癲癇病院ナリ、癲癇患者ハ全自護力ナキニヨリ國家ハ之ニ保護ヲ要スル又癲癇病院ハ過誤懈怠又ハ

(取締規定ノ必要)

不良ノ徒ノ私欲ヲ逞スル為甚シキハ改故ヲ壓スル為往々濫用セラレ健全者ヲ監禁スル恐アレハ衛生警察ノ為ノミナラス身体ノ自由ヲ保護スル為之ヲ監督スルハ必要アリ是英仏ノ如キ丈人心ノ自由ヲ尊重スル國ニ於テ之ニ干スル法規ノ特ニ厳ナル所以ナリ

(設置ノ必要)

癲癇医院ハ私設ノモノアリ又一私人癲癇病者ヲ托セラレ看護ヲナスモノアリ之等ハ皆富者ヲ容ルニ止リ貧者ハ治療ニ困難ナリ然レトモ癲癇者ハ往々病苦上公安ニ危険ヲ及スコトアレハ公益ヨリ入ルモ癲癇院ニ入ラシムル必要アリ故ニ國家ハ一方ニ於テ公費ヲ以テ癲癇院ヲ設置スル必要ハ寧他ノ病院ヨリモ大ナリ仏ニ於テハ各州(Départements)自之ヲ設クルカ又ハ他縣ノ癲癇院又ハ私設ノ癲癇院ニ其患者ノ収容ヲ契約スルヲ要ス英國ニ於テモ Control ニハ之ヲ公設スル等分アリ独乙諸國ニモ皆公設ノ癲癇院アリ

(監督ノ必要)

國家ハ公設癲癇院ヲ設クルト共ニ私設癲癇病院ニ対シ監督ヲ行フヲ要ス

一、癲癇院ヲ設立スルニ付テハ仏ニハ必官許ヲ要ス其設備一定条件ヲ充シ且設立者性行不良ノ闇アリ且自身医者ナルカ又ハ医師ヲ雇入ルヽヲ要ス又設立者ハ一ケ月ノ費用ニ相当スル金額ヲ保証金トシテ納メシメ設立ノ許可ハ設立者法規ヲ犯スキハ何時ニテモ取消スヲ得

他ノ諸國モ概設立ニ付官許ヲ要ス

二、瘋癲院ハ往々健康者ヲ監禁スル恐アレハ患者ノ収容ニハ特ニ監督ヲ厳ニスルヲ要ス

瘋癲患者ハ公益ノ為ニモ収容スル必要アレハ官癍(チヨウ)ニモ入院ヲ命スル権ヲ與フル必要アリ

國家ハ独患者ノ収容ヲ監督スルノミナラス又健全者過誤又ハ故意ニヨリ病院ニ抑留セラルヽナキヤヲ監視スルヲ要ス此目的ノ為國家ハ官吏ヲシテ定期又ハ臨時病院ヲ巡視セシメ又ハ病院管理者又ハ医師ニ必要ナル事項ヲ届出ル義務ヲ負ハシムルヲ要ス又一定ノ場合ニハ退院セシムル命令ヲ発スル権ヲ有スルヲ要ス

薬劑師ノ試験

第三、薬品ニ干スル行政、薬劑師ノ学術ノ修養ヲ要スルハ医師ト異ナラス公衆カ其技能ヲ識別スルヲ得サル亦医師ニ付述ヘタルト全シ殊ニ医師ニハ学術外ニ成功ヲ助クルモノナキニアラサレ尾薬劑師ハ成功ハ殆ト專学術ノ力ニヨルヲ以テ独乙ノ如キ無免許ノ医師アルモ薬劑師ハ試験ヲ要ス唯英國ハ医師ト全一ノ主義ヲトレリ

薬局開設ノ二制度

薬局ノ開設ニハ二種ノ制度アリ特許制ト営業自由制ナリ

(1)前者ハ薬局開設ニ官廳ノ特許ヲ要シ官廳ハ土地ノ需用ニ応スルニ必要ナル程度ヲ限ルリ免許ヲ与フルニアリ此制度ノ目的ハ(1)営業(ギヨウ)者競争ノ結果各充分ノ資力ナク薬品ヲ粗悪ニシ公衆ニ危険ヲ及ス恐アルト又(2)一ハ市街地ニ薬劑師ノ集ルヿヲ防キ郡村ニ普及セシムルトニアリ、独乙ニ於テハ薬劑舗ハ旧慣ニヨリ店舗ニ属スル一種ノ財産ト認メラルヽモノ以ノ外皆官廳ノ特許ヲ要シ官廳ハ土地ノ需要ニ応シ之ヲ与フ此許可ハ一生間ニ限ハモ免許者死亡ノ際ニハ其後ヲ引受ケタルモノニ特許ヲ与フルヲ例トスレハ特許ハ相続売買シ得ル一種ノ利権ヲ生ス(2)仏ハ反之営業自由制ニシテ薬品営業ヲ薬劑師及薬種商ノ二種トシ各二等トシ皆試験ヲ要シ之ニ及第セルモノハ自由ニ営業ヲナスヲ得

我口ノ制度

我現行法ハ薬品営業者ヲ分チ(1)薬劑師(2)製薬者及(3)薬種商ノ三種トス、患者ニ與ヘ治療スルヲ目的トスル薬劑ヲ調合スルヲ薬劑師トシ薬劑ニ調合スヘキ薬品ヲ製スルヲ製薬者薬品ヲ販売スルヲ営業トスルヲ薬種商トス

藥劑師ハ試驗ヲ経開業免状ヲ受ケシモノヽ外開業ヲ許サス他ニ者モ皆地方廳ノ免許鑑札ヲ受クルヲ要スヽ此ノ如ク藥品営業者ハ官許ヲ要スルモ我制度ハ所謂特許制ニアラス官廳ハ藥品営業者ヲ許可スルニ当リ土地ノ需要ニ応シ数ヲ限ルヿナシ唯阿片ハ特別ノ取締ヲ要スレハ特別ノ法規ニヨリ特許制ヲ採リ官廳之ヲ買上ケ各地方ノ要需ニ応シ定員ヲ限リ阿片卸売特許藥舗ヲ定メ医師及ヒ一般藥舗等ニ売下ケシム藥品営業ニ于シテハ藥品ノ取扱其他諸種ノ点ニ規定アレ氏一言スヘキハ医師ト藥劑師トノ干係ナリ

医藥分業

医師ト藥劑師ト二業ヲ兼子シムルトキハ往々高價ノ藥品ヲ受ク利益ヲ得ル為不適当ノ所方ヲナスヿヲアリ故ニ独ノ如キ全禁シ仏ハ第二級ノ医師ニ対シテハ藥劑師ナキ土地ニ限リ其患者ニ限リ藥品ヲ売ルヲ許セリ

藥売

藥品中功能昏ニヨリ公衆ニ販売スルヲ売藥トス売藥ハ健康ニ有害ナラサルトスルモ公衆ニ依頼心ヲ起シ医師ノ治療ヲ受クル機ヲ失ハシムル恐アレハ欧州諸國ハ或ハ其営業ヲ全禁シ或ハ制限スルアリ例ヘハ仏ハ旧法下ニ許サレタル僅少ノ例外ヲ除ク外全禁セリ独乙ニ於テハ売藥ノ原料トシ得ル藥品ハ殆皆藥舗ニ限リ販売シ得ルモノタルノミナラス売藥ニ付テハ行商ヲ許サス独乙内ノ二三ノ國ハ売藥ハ藥舗ニ販売スルヲ禁シ又売藥ノ販売ハ広告スルヿヲ禁ス猶独乙ニ於テハ売藥ニ対シテハ特許ヲ与ヘス売藥禁止國ニ於テハ新藥劑ヲ発見セルモノモ発見ノ利益ヲ受クルヲ得サル不利益アリ為ニ発見ヲ妨ル恐アレハ仏ニ於テハ新藥品ヲ発見セルモノハ政府ニ買上ゲヲ求メ得ル途ヲ開ケリ

我現行法ハ公衆ノ衛生ニ害ナキ限ハ営業ノ自由ヲ尊重スル主旨ニ本キ売藥ハ地方廳ノ免許鑑札ヲ受ケ販売シ受売及行商ハ別ニ免許ヲ要ス免許ハ譲渡相続ヲ許セリ

政府専売藥品

藥品中政府ニ於テ専ラ製造販売スルモノアリ（ヂフテリヤ血精）

第二節　保健行政　Sanitätswesen

傳染病

第一、傳染病豫防、傳染病トハ人ヨリ人ニ感染スル病ナリ然レ氏性質上傳染病ニ属スルモ感染遅後ナルカ又ハ害毒比較的少キ為私人ノ自

由ニ大制限ヲ加フル預防所分ヲ行フノ必要ナキモノアリ又之ヲ行フ
預防所分ノ前提

傳染病預防法（30年法36）ノ傳染病トハ(イ)六種ニシテ(ロ)其他内務大臣ニ於テ必要ト認ムル時ハ他ノ傳染病ニ適用シ得

國家傳染病豫防ノ所分ヲナシ及所分ノ程度ヲ定ムルニハ傳染病發生ノ実況及状況ヲ知ルヲ要ス其目的ヲ達スル為ニハ(イ)戸主其他之ニ代ルベキモノニ患者又ハ死亡者ヲ届出ノ義務ヲ負ハシムルヲアリ、私人ハ各々傳染病ヲ認知スルニ克ハサルヲアレハ(ロ)医師ノ診断又ハ検案ヲ受ケタル場合ニハ医師ニモ届出ノ義務ヲ負ハシム

（届出）

二、検疫

場合ニヨリテハ届出ニ任セヲ検診スル権ヲ有スル、又船舶汽車ニ付検疫ヲ行ヒ必要ナル時間之ヲ停留シ得

預防ノ手段

傳染病発生ノ場合ニ於テ之ヲ防ク手段ハ(イ)病毒ヲ除クカ(ロ)其ノ病毒ノ傳播ヲ防クトニアリ、前者ハ清潔方法ト消毒方法トニシテ戸主又ハ之ニ相当スルモノハ責任アリ、後者ハ交通ノ制限ニヨルノ外ナシ

一、病毒ヲ除クノ

二、傳播ヲ防クノ

一、交通ノ制限

交通ヲ制限スルハ(イ)患者ヲ他ノ交通ナキ特ニ之ノ為ニ設ケタル場所ニ移スト(ロ)患者ノ発生セル場所ニ健康者ノ交通スルヲ禁スルトノ二方法ニヨルノ外ナシ、此ニ処分ハ共ニ人民ノ自由ニ大制限ヲ加フルモノニシテ殊ニ

(イ)患者ヲ移スノ

隔離ノ一ノ方法ハ家族ヲ分離セシムルモノナレハ預防ノ為メ要止ムナキ場合ニ於テ始テ此ノ如キ重大ナル処分ヲナスヘキモノニシテ、然シ尚必要ト認ムル時ハ官吏ノハ患者ヲ病院ニ入院セシムルヲ得又(ロ)健康者ヲモ隔離室ニ隔離スルヲ得

(ロ)交通遮断ノ

之等ノ設備ハ市町村負担スル義務アリ又一方ニ於テハ省訴吏員ハ(イ)一定時日間患者アリシ家及近隣ノ交通ヲ遮断スルヲ得又(ロ)地方長官ノ定ムル所ニヨリ村落ノ全部又ハ一部ノ交通ヲ遮断スルヲ得

此所分ハ遮断ノ区域外ニ居住スルモノニモ往々損害ヲ與フルヲ免レス殊ニ区域内ノ健康者ニ対シテハ非常ノ損害ヲ与ヘ或ハ為ニ生活ヲ失フモノヲモ生スルヲ以テ其生活費ハ公費ヲ以テ給与ス

二、集会ノ制限

病者ノ傳播ヲ防クノ一方法ハ傳染病流行地ニ於テ集会其他多数ノ者集ヲ禁止又ハ制限スルニアリ、傳染病ハ人ヨリ人ニ感染スルノミ

三、物品ノ交

通制限又ハ毀棄

ナラス又物品ニヨリ傳播スルヿアリ故ニ人ノ交通ニ対スル制限外ニ物品ノ交通ニ対シテモ制限ヲ加ルヲ要シ又時ニ物品ヲ毀棄スル必要アリ(改策上此場合ニハ賠償ヲ与フルヿモアリ)

上述ノ外傳染病ニ対スル防制手段ハ其流行ニ際シ平時保健ノ為行フ所分ヲ励行スルニアルヿ言ヲ待タス

預防処分ノ費用

傳染病預防ノ処分ハ市町村ニ於テ行フモノト府縣ニ於テ行フモノトアリ

前者ハ市町村費用ヲ負担シ後者ハ府縣之ヲ負担ス、市町村ノ費用ハ府縣ヨリ府縣ノ費用ハ國庫ヨリ之ヲ補助ス

代執行

傳染病預防ニ于シ私人又ハ市町村ニ属スル義務ヲ実行セサル時ハ(1)私人ニ対スル罰則ノ外代執行ノ方法アリ即(2)市町村又ハ私人為スヘキ事項ヲナサヽル時ハ府縣税又ハ市町村税ヲ以テ之ヲナシ租税滞納所分ノ例ニヨリ之ヲ義務者ヨリ徴収スヘシ

外口ニ発生セル傳染病ノ預防

上述ハ内國ニ於テ傳染病ノ発生セル場合ノ預防法方ナリ此他外國ニ於テ発生セル傳染病ノ預防ニ于シテハ殊ニ我國ノ如キ四面環海地ニテハ検疫停船ノ方法ニヨリ之ヲ達シ得

検疫停船ニ于スル規定ハ32年法19号海港検疫法アリ之ニヨレハ海外諸港及台湾ヨリ検疫ヲ施行スル港ニ来ル船舶ハ入港(コウ)前ニ(1)検疫ヲ受ケ許可証ヲ得サレハ入港シ又ハ陸地若クハ他船ト交通シ又ハ乗客乗組員ノ上陸又ハ物品ノ陸揚ヲナスヲ得ス(2)検疫官吏ハ法定ノ場合ニハ一定ノ期間停船ヲ命シ及消毒法ヲ施行シ並ニ船舶乗組員ヲ検疫所ニ移転セシメ得

種痘ノ義務

第二、種痘、傳染病中痘瘡ハ発生前種痘ニヨリ之ヲ防クヲ得種痘ノ義務ヲ設ルト否ハ私人ノ自由ヲ重ンスル程度ト種痘ノ効能ヲ重スル程度トニヨリテ定ム(1)國ニヨリテハ之ヲ強制スルアリ(2)又ハ奨励スルニ止ルアリ、我邦ニ於テハ強制ヲ設ク

(再三種)

種痘ノ義務ヲ設クル以上ハ再三種ヲ行フ義務ヲ設クルヲ要ス現行法ハ三種ヲ行フ義務ヲ設ク又天然痘流行ノ兆アル時ハ当該吏員ノ命ニヨリ之ヲ行フ義務アリ

口家ノ責任

種痘ヲ行フ義務ヲ設ル以上ハ國家ハ種痘ノ有効ナルヿヲ認確ル方法

ヲ設クルヲ要ス痘苗ヲ択ハサルトキハ此義務ヲ設ケシ目的ヲ達セサルノミナラス往々他ノ病毒ヲ傳播セシムル恐アレハ國家ハ強制シテ病毒ヲ種々ノ非難ヲ免レス

飲食物ニ対スル禁令

第三、飲食物警察 Nahrungs mittel polizei

凡テ飲食物ハ腐敗ノ恐アリ又他物ヲ混合シ偽造セルモノアリ是等ノ飲食物精良トシテ売買セラルヽトキハ財産上ノ損害外ニ公衆シユウノ衛生ニ損害ヲ及ス大ナルヘシ然レトモ各個ノ需用者ハ自之ヲ識別スル克ハサレハ國家ハ営業者ニ対スル取締ニヨリ公衆ヲ保護スルハ各國然リ

販売ニ対スル刑法規定

健康ヲ害スヘキ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販売スルカ又ハ不熟ノ果実腐敗ノ飲食物ヲ販売スルハ刑法ノ禁スル所ナリ

其他ノ禁令

然レトモ諸國ノ法ハ一層購買者ノ保護ヲナス為唯ニ之等ノ販売ヲ禁スルノミナラス(1)販売ノ目的ヲ以テ店舗ニ置クヿヲモ禁セリ(英独佛)更ニ一歩(2)ヲ進メ製造ヲ禁シ遠犯者ヲ所罰スルモノアリ(英)又(3)或邦ニテハ無害ノ類似品ハ名称ヲ呉ニセサレハ広告販売スルヲ禁ス(英墺)

所刑宣告ノ公告

上述諸種ノ禁令罰則ヲシテ一層有効ナラシムル為國ニヨリテハ官廳ニ所刑ノ宣告ヲ公告スル権ヲ与フヘ英國ニテモ此規定アリシモ営業者ノ反抗ニヨリ廃止セラレシモ仏独ニハ行ハル

営業者ノ監視

警察ハ上述禁令ヲ実行スル為常ニ営業者ヲ監視スルヲ要ス之レヲ便ニスル為國ニヨリテハ特別ノ規定ヲ設ク独乙ノ法ニヨレハ(1)警察官ハ営業時間内何時ニテモ店舗ニ立入ルヲ得且(2)店舗市場ニ販売スル物品ノ標本ヲ普通ノ売價ヲ下附シテ徴収スルヲ得又(3)飲食物警察法ニ于スル或種ノ罪ヲ犯セル者ニ対シテハ一層監視ヲ厳ニシ店舗ノミナラス物品貯蔵又ハ製造ノ場所ニモ立入ルヲ許セリ

技術上ノ知識

飲食物ノ警察ハ技術上ノ知識ヲ要スレハ警察官吏外ニ其知識アルモノニシテ参予セシムル必要アリ故ニ英ニアリテハ地方警察官廳ハ地方ノ費用ヲ以テ専門技術家ヲ任命シ得又独乙法ハ衛生試験所ノ設立ヲ奨励スル為飲食物警察法遠犯ノ為課セラレタル罰金ハ市町村ニ試験所ノ設アルトキハ其費用ヲ負担スル困体

ノ収入トス

獣肉ニ干スル特別規定

獣肉ノ販売ハ需要ノ広キト危険大ナルトニヨリ外國ニテハ特ニ監督ヲ厳ニシ(1)屠殺ノ前後ニ獣医ノ検査ヲ要シ又(2)之ヲ容易ナラシムル為公設屠殺場アルトキハ私設ノモノヲ禁シ公設ノモノ外ニアリテ屠殺スルヲ禁ス(仏、独)

飲料水ニ干スル規定

飲料水ハ殊ニ大ナル市街ニテハ公衆衛生ノ尤大ナル要件ナリ又其供給ハ火災警察ニ大干係アリ故ニ國ニヨリテハ飲料水供給ニ干シ特別規定ヲナセルモノアリ例ヘハ英國ニテハ(1)地方廳ハ水ノ供給ナキ家屋ノ所有者ニ向ヒ施設ヲ強制スルヿアリ又(2)水ノ供給充分ナラサル土地ニ於テハ主務大臣ハ地方官廳ニ施設ヲ命シ得

地方官廳ハ私設会社ト契約シ水道ヲ設ケシメ又自之ヲ設クルヲ得

我國ニテハ水道ニ干スル規定ハ23年法9号水道条例ノ定ムル所ナリ之ニヨレハ市町村住民ノ需要ニ応シ給水ノ目的ヲ以テ布設スル水道ハ市町村内務大臣ノ認可ヲ経テ公費ヲ以テスル外施設スルヲ得ス是住民全般ノ生命健康ニ干係スル事業ヲ私人ノ独占ニ帰セシムル危険ヲ防ケルモノナリ

三目的

第四、墓地埋葬ニ干スル警察、ハ一ハ屍骸ノ腐敗ヨリ病毒ノ傳播スルヲ防キ一ハ仮死者ノ誤テ埋葬セラルヽヿナキヲ目的トシ又兼テ変死者アリシトキ埋葬ニヨリ罪跡ノ消滅スルヿヲ防クナリ

(之ヲ達スル方法)

(一)病毒ノ傳播ヲ防ク目的ヲ達スルニハ傳染病豫防ニ干スル規定ヲ除ク外主トシテ(イ)墓地ニ干スル制限(ロ)埋葬時間ノ制限及(ハ)死屍運搬ニ干スル制限ニヨル

(二)仮死者ノ埋葬セラルヽヲ防クニハ埋葬時間ノ制限(ニ)及検屍ノ制ニヨリ

(三)罪跡ノ消滅ヲ防クハ主トシテ屍検屍ノ制ニヨル

Bayern ノ制度

欧州諸國中墓地葬埋ニ干スル警察規則ノ尤整頓セルハ南独諸國ナリ

(検屍)

Bayern ノ制度ノ大要ヲ述ヘンニ、死屍ハ理(マイ)葬前検屍ヲ受ルヲ要ス市町村ヲ分割又ハ合併シ検屍区トシ毎区ニ検屍人及其代理人ヲ置ク死者アルトキハ直ニ検視人ニ申告シ一回又ハ二回ノ検屍ヲ受ク検

屍人検屍スルトキハ検屍証ヲ交附ス埋葬ヲ行フニハ之ト戸籍登録済ノ証ヲ得ルヲ要ス

（埋葬）埋葬ハ四十八時間以后七十二時間以前ニ行フヲ要ス但傳染病死者ハ此限ニアラス

死屍ノ運搬　埋葬地ニ運般スル外ニ死屍ヲ運搬スルニハ死屍通行券ヲ受クルヲ要ス

（墓地）墓地ハ認許ヲ得タル区域中ニ市町村ハ共仝墓地ヲ施設及維持スル義務ヲ有ス

墓地ノ施設ニ人家ヨリ一定巨离ヲ要スルハ各國皆然リ國ニヨリテハ墓地ヨリ一定巨离内ニ家屋ヲ建設スルヲ禁セリ

現行法　現行法ハ墓地火葬場ノ設置ハ地方官ノ許可ヲ必要トス、埋葬及火葬ハ市町村廠ノ認許証ヲ要ス又廿四時間前ニ之ヲ為スヲ禁ス

行旅死亡人ニ于シテハ特別規定アリ32年法93号行旅死亡人取扱法アリ之ニヨレハ行旅死亡人ハ市町村廠仮ニ埋葬シ費用ハ市町村仮ニ支弁シ義務者ヨリ追徴スルヲ得

第五、幼児ノ保護、ハ刑法ノ諸規定ノ外主トシテ(1)育児院ノ施設及(2)、育児者ニ対スル監督ニヨル

育児者ノ監督　育児者ノ監督ハ近時諸國立法ノ漸注目スル所ニシテ其目的ハ貧民ノ養育料ニヨリ利得ヲ受クル為他人ノ児ヲ養育シ虐待或ハ死ニ至ラシムルヲ防クニアリ例ヘハ英國ニテハ養育料ヲ受ケテ幼児ヲ養育スルニハ警察官廠ノ許可ヲ要ス此許可ハ性行良好養育ノ経験アリ且住所健康ナルモノニ限リ一年ヲ限リ之ヲ予フ何時ニテモ取消スヲ得若其幼児死亡スルトキハ医師ノ証明アルトキノ外凡テ検屍官ノ検屍ヲ要ス

第六、媒毒、ノ傳播ヲ防クハ検査ニアリ然レ民人ノ自由ヲ害セサルヿニ注意セサルヘカラス Prostitution ニ于シテハ諸國ノ大ニ苦慮スル所ナレ民私娼ヲ禁スルヿ克ハサルカ故ニ公娼ヲ許スノ止ヲ得サルニ至レリ又公娼ハ散娼トスヘキカ集娼トスヘキカニ付テモ種々ノ困難アリ

第四章　救貧行政

第一節　恤救行政

行政法各論

恤救ノ範囲及基ク所

人民ノ生活ハ独健康ヲ保全スルヲ要スルノミナラス又衣服ヲ得ル途アルヲ要ス生活ニ必要ナル衣食ノ資ヲ得進テ生活ノ程度ヲ高メ人生ノ快楽ヲ享クルハ私人ノ力ニ応シテ力ムヘキモノニシテ国家ハ唯各種ノ制度ニヨリ之ヲ保護スルヲ以テ足レリトス、然レ𪜈各個人ノ力自ラ生活ヲ営ムニ足ラサル時ハ之ヲ恤救シ之ヲ遂ケシムヘキハ国家ノ力ムヘキ所ナリ

故ニ国家窮民ヲ救助スルハ私人ノ力及ハサル時人民ノ幸福ヲ保護増進スル一般ノ国家ノ目的ニ出ツルモノニシテ或国ノ立法ノ本タル思想ノ如ク私人貧困ニ陥ルニ先チ其労力ニヨリ公共ノ利益ヲ増進シタルヲ報ユル主旨ニ出テタルニアラス現ニ癈疾者ノ如キ寧ロ公共ノ利益ヲ減殺スルモノハ恤救ノ尤必要ナルモノナリ

恤救ハ一方ニ於テハ貧民往々他人ノ身体財産ニ危害ヲ及ス恐アレハ保安警察ノ目的ヨリ見ルモ国家ハ之ヲ等閑ニ付スヘカラス然レ𪜈恤救ハ癈疾者ノ如キ公安ニ危険少キモノニモ及フモノニシテ保安ノ目的ハ恤救ノ唯一目的ニアラス

恤救ノ主体及客体

国家ノ恤救スル窮民ハ救助ヲ受クル外自存シ得サルモノニ限ル故ニ窮民ニ対シ扶養義務アルモノアル時ハ国家ハ之ヲ行フ必要ナシ

恤救ノ事ハ必スシモ国家ノ専ニスル所ニアラス(イ)私人之ヲ行フヲ得然レ𪜈(イ)窮民多ク費用大ナルヲ以テ之ヲ私人ニ任スヘカラス(ロ)且又私人ノ慈善ハ往々(殊ニ宗教家ノ慈善)方法宜シカラス乱民ヲ奨励スル恐アレハ(之)国家ハ公共ノ事業トシテ恤救ヲ行フ、各国然ラサルナシ

恤救ハ公共事業トシテ之ヲ行ヘ𪜈(1)国家自ラ其事業トシテ行フヲ得又(2)地方団体ヲシテ行ハシムルヲ得然レ𪜈恤救ノ事ハ救助ヲ受ケタルモノヽ状態ヲ詳ニスルヲ要シ而シテ之ヲ詳ニスルニハ市町村ノ如キ下流自治体ノ機テニ対シテノ外之ヲ望ムヘカラス殊ニ恤救ノ事ハ多数ノ吏員ヲ要スルレハ有給ノ国家官吏ヲシテ当ラシムルニハ巨費ヲ要ス又事務ノ性質モ特別ノ技術上ノ技倆ヲ要セサレハ自治体ノ吏員ヲシテ担任セシムルニ適ス加之国家ノ事業トシテ之ヲ行フ時ハ往々濫費ニ亘リ恤救ノ費用ヲ増加ス、故ニ欧諸国ハ此事業ハ概地方団体ニ委任ス(現行法ハ恤救規則アリ国費ヲ以テシ自治体吏員ヲ用ユ大ニ不

恤救支務委員任ニ付テノ二制度

權衡ヲ来ス弊アリ）然レ𪜈恤救支務ヲ地方団体ニ委任スルニハ二種制度アリ（1）英、独其他諸國ニテハ地方団体ニハ究民ヲ恤救スル一般ノ法律上ノ義務ヲ有ス（2）及之仏、伊等羅甸諸國ニテハ地方団体ハ此ノ如キ一般義務ナシ例ヘハ仏國ニ於テハ数多町村ハ慈恵院ヲ有シ救貧籍ヲ有スルモノハ恤救ヲ受クルヲ得然レ𪜈町村ハ慈恵院ノ費用ノ許ス限リ之ヲ行ヒ一般ニ救助ノ義務ナシ救貧籍ハ发生ト滞在トノ二原因ニヨリ生スルハ英独諸國ト異ルヲナシ

仏國ニテハ一般ノ恤救義務ナキモ孤児及瘋癲者ニ対シテハ縣ハ孤児院瘋癲院ヲ設置スル義務アリ町村ハ孤児等ヲ之ニ送ル義務ヲ有ス

（英、独）英独諸國ハ仏ト異リ地方団体ハ一般ニ救助ノ義務ヲ有スレ𪜈是地方団体ノ國家ニ対シ有スル義務ニシテ必スシモ貧民ニ対スルモノニアラス貧民ハ恤救ヲ受クルノ権利ヲ有スルニ非レハ訴訟ニヨリ請求スルヲ得ス只訴願ノ途アルノミ

恤救ヲ受クルモノニ付テノ二制度

地方団体恤救ノ義務ヲ有スル國ニ於テハ此義務ハ（1）滞在ニヨリ生スルモノアリ（英、独）（2）或ハ本籍ニヨリ生スルモノアリ（墺、Bagern）

（1）救貧籍ノ制ニヨレハ各個人ハ之ヲ有スル町村対シ親密ナル干係ヲ有セス町村又各個人ノ経済上ノ独立ヲ保護シ貧困ニ陥ルヲ預防スルニ親切ナラサル恐アリ然レ𪜈（2）本籍制度ニ於テモ交通ノ漸頻繁トナルヤ本籍ト住所ト支実ヲ異ニシ本籍ノ町村ハ人民ノ実体ノ状態ヲ詳セス又平時預防ノ所分ニヨリ貧困ニ陥ルヲ防ク手段ニ乏シキヿアリ要之二種ノ制各長短所アリ俄ニ得失ヲ断スヘカラサルモ歴史上ノ沿革ヨリスレハ本籍制ハ救貧籍制ヨリ古ク近時立法ノ一般ノ傾ハ居住移転ノ自由ヲ認ムルト仝時ニ救貧籍制ヲトルニアリ

1、本籍制ノ口

然レ𪜈本籍制度ハ今日ニ於テモ二三國ニ行ハルヽヿ前述ノ如シ例ヘハ Bagern ニテハ市町村ハ本籍ヲ有スルモノヲ恤救スル義務ヲ有ス

本籍ノ取得

本籍ハ（1）生来ノモノアリ又生後ノモノアリ、生来ノ本籍ハ父母ノ本籍ニヨリ定リ（2）生後ノ本籍ハ当然取得スルヿアリ又市町村ニヨリ賦予セラルヽモノアリ一定ノ資格アルモノヲ本籍賦予ヲ請求スル権ヲ有ス

(喪失) 本籍ハ他ノ市町村ニ本籍ヲ得タルトキハ当然喪失ス

(仮本籍) 無本籍ノ庶民ハ之ヲ得ル迄官廳仮ニ本籍ヲ定メ他市町村ニ本籍ヲ有スルモノハ救助ノ必要ヲ生ジタル市町村仮ニ之ヲ救助シ費用ハ本籍市町村ヨリ賠償セシムル仮本籍ヲ有スルモノハ仮本籍市町村ニ於テ救助ノ義務アリ費用ハ國庫ヨリ償ス

(壩) 壩ニ於テ全ク獨立ノ制度ヲ有スル只市町村ニ本籍賦与ノ義務ヲ有セサルノミ

(英) 救貧籍制度ハ英獨兩國ニ行ハル然レ共英國ニ於テハ(一九〇一)ノ救貧法ニ已ニ救貧籍制ノ原則ヲ定メタルニ係ラス後本籍制ヲトリ寺区ニ貧民ヲ退去セシムル権ヲ与ヘ為ニ労働者ニ大困難ヲ与ヘシカハ本后寺区ノ退去ヲ命スル権ヲ漸次制限シ、現今ハ退去ヲ命シ得ル場合極メテ多ク殊ニ一個年間救助ヲ得スシテ一区ニ滞在スルトキハ其区ニ於テ救助ノ義務ヲ有スルニ至ルヲ以テ英國ハ法律上ハ全ク本籍制ヲ捨テサルモ実際上ハ猶ト貧籍制ト異ルナシ

(独) 法律上並ニ実際上救貧籍制ノ完全ニ行ハルヽハ独リ故ニ其例ヲ挙ケ此制ヲ説カン

(救貧籍ノ取得) 救貧籍ハ独立ニ取得スルトキハ滞在ニヨルノ滞在ハ年齢満廿四歳ヲ以テ終局上全独立ニ得心セシトキヨリ起算ス

(2)滞在ハ又自己ノ自由意思ニヨルヲ要ス、入営監禁等ノ國ハ救貧籍ヲ得ヘキ滞在ニアラス反之官吏等戦務地ニ滞在スルハ自由意思ヲ妨ケサルヘハ年限中ニ算入ス

(3)救貧籍ハ二年間ノ間断ナキ平常ノ滞在ニヨリ取得スト雖モ一時ノ旅行ノ如キ平常ノ滞在地ヲ変更スル意思明ナルトキハ期限ヲ中断スルモノト認メス反之期限中貧民救助ヲ受ケタルトキハ其間ハ二年ノ期限ニ算入セス、妻ハ夫ト救貧籍ヲ共ニスルモ子ハ父若クハ母ト救貧籍ヲ共ニスルヲ得タルトキハ他ノ救貧籍ヲ得タルトキハ消滅シ又(2)救貧籍所在地ヲ去リ二年間間断ナク其地ニアラサリシ事実ヨリ消滅スル一時ノ復帰ハ此ニ算入セス

(喪失) 救貧籍ハ(1)他ノ救貧籍ヲ得タルトキ(2)救貧籍所在地ヲ去リ二年間間断ナク其地ニアラサリシ事実ヨリ消滅スル一時ノ復帰ハ此喪失ノ期限ヲ中断セス

妻子ハ独立ノ救貧籍ヲ得ヘキ資格アル場合ノ外夫又ハ父ノ救貧

地方公共団体ト救貧民

救貧籍ヲ有スル貧民ハ之ヲ地方貧民（Gemeindearmen）ト云ヒ何レノ市町村ニモ之ヲ有セサルハ國ノ貧民ト云フ此区別ニヨリ救貧費用ノ負担ヲ異ニス（独）

恤救義務恤救義務ノ主体

恤救義務ハ原則上之ヲ義務ト認メタル國ニ於テモ地方団体ニ委任シタルノ前述ノ如キ例（ハ英）アリテハ救貧義務ハ寺区ノ業ナリシモ其有効ナル恤救行政ヲ行フ資力ナキニヨリ今ハ数多ノ寺区ヲ合シ救貧組合ヲ組織スル寺区ハ救貧税徴収ノ区畫タルニ過キス独乙ニ於テハ救貧区ヲ分チ二種トス（Armenbezirk）

恤救義務ノ二種

(イ)、地方貧民ノ救貧区ハ國ノ貧民ノ救貧区トス地方貧民ノ救貧区ハ(イ)市町村又ハ(ロ)其組合ヲ以テセルアリ普ハ最上級地方団体タル州（Kreis）ヲ國ノ救貧区トセリ

(ロ)國ノ救貧区ハ独、諸國中ノ國自ラ救助義務ヲ分チ二トス(イ)一時救助義務（国自ラ救助義務ヲ拒セルアリ又ハ(ロ)上級地方団体ヲ以テセルアリ普ハ最上級地方団体タル州（Kreis）ヲ國ノ救貧区トセリ

(英)

ハ救貧籍ノ有無ニ係ハラス永要ノ生シタル地ノ救貧区ニ属ス其費用ハ他日之ヲ終局ノ救助義務アル団体ニ追徴スルヲ得

(ロ)終局ノ救助義務ハ救貧籍アル地方救貧区ニ属スト雖モ之ヲナキ時ハ國ノ貧民ノ救貧区ノ負担トス終局ノ救助義務ハ二種ノ義務ヨリ成ル(イ)弁償ノ義務是アリ弁償ノ義務ハ一時救助ヲナシタル団体ニ対シ費用ヲ弁償スル義務ヲ云フ(ロ)引受ノ義務トハ救助ノ必要継続スル間ハ一時ノ救助義務ヲ有スル団体ノ請求ニヨリ引受ヲナス義務ヲ云フ

口ノ救助ノ義務ヲ有スル場合

是等二種ノ団体ノ外國ヲ直接ニ救貧ヲナス義務ヲ有スルコトアリ即(イ)外國ノ請求ニヨリ本國ニ引受ケタル人民及(ロ)外國人ニシテ一時救助ヲ要スル場合是ナリ

恤救ノ費用

恤救ノ費用ハ独乙ニ於テハ一般団体ノ支弁ト全方便ニヨリ支弁ス然レ共(イ)地方救貧区負担ヲ支弁スル資力ナキ時ハ國ノ救貧区ニ補助ノ義務アリ又(ロ)癈疾盲唖等特ニ費用ヲ要スルモノハ國ノ救貧区ニテ負担スルモノアリ

（英）英國ニ於テハ救貧ノ費用ハ特ニ寺区ニ於テ不動産ニ附課スル救貧税ヲ以テ充ツ、(1)國庫ハ或種ノ費用ニ対シ一定分合ノ補助ヲ予ス(2)其他労役所 Workhouse ノ設立等ニ付テハ特ニ公債ヲ発スルヿヲ許ス

恤救事務ノ機子

恤救ノ事務ヲ司ル機子ハ独ニアリテハ救貧区ノ一般ノ地方制度ニヨリ有スル機子ニシテ吏員ノ外特別機子アルヿナシ各何ノ場合ニ救助ヲ予フルハ是等機子ノ認定ニヨルカ又ハ警察官廳若クハ監督官廳ノ命令ニヨリ一定ノ手続ナシ

（英）英ニ於テハ各救貧組合ニ公撰ニヨリ組織セル救貧委員会アリ委員会ハ救貧吏及書記ヲ置ク救助ヲ要スルモノハ救貧吏ニ申立テ此者事情ヲ調査シ次ノ委員会ニ通常本人ヲ召喚シテ之ヲ決シ救貧吏之ヲ執行ス、緊急ノ場合ニハ治安判事ノ命ニヨリ又ハ救貧吏ノ意思ニヨリ仮ニ救助ヲ予ヘ次ノ委員会ニ終局ノ決定ヲナスヿアリ

救助ノ方法

救助ノ方法ニ于シテハ独ニハ一定規定ナシ英國ハ恤救制度ノ模範國トシテ名アリ故ニ救助方法ニ付テモ数百年ノ経験ニヨリ改良ヲ加ヘシモノナレハ之ニ付少シク述フル所アラン

恤救方法ノ二種

英國ニテハ恤救方法ヲ二種ニ分ツ(1)屋内救助(2)屋外救助（[illegible]）or, outdoor relief）屋内救助ハ Workhouse 又ハ貧民病院又ハ貧民学校ニテ救助ヲ予フルモノニシテ其他ハ屋外救助トス

英國ノ制ハ屋内救助ヲ本則トシ例外ノ場合ニ屋外救助ヲ許セリ一時慈善主義ノ勢力ニヨリ広ク労働者ニ労銀ノ不足ヲ補助スル方法ヲ用ヒ労働者ハ恰國家ノ年金ヲ受クルノ感ヲナシ独立自助ノ心ヲ失ヒ遊惰ノ民ヲ生シ大ニ救貧費ノ負担ヲ増セシカハ一般モノ改革ニヨリ成ヘク金銭ヲ以テスル救助ヲ避ケ労役所ニ労役ニ服セシメ僅ニ生活ニ必要ナル供給ヲ予ヘ一方ニ於テハ厳格ノ検束ヲ加ヘ自由ナル労働ノ尚ムヘキヿヲ感セシメ止ナキ場合ノ外國家ノ救助ヲ仰ク念ヲ生セシメサル方針ヲトレリ之ニヨリ救助方法ヲ改良セシカハ大ニ貧民及救貧費ヲ減セリ故ニ現今ニテハ屋外救助ヲ許スハ救助ノ必要緊急ナルカ疾病等ニヨルトキカ其他一二特別ノ場合ニ限リテ許セリ

ロンドン其他大市ニ於テハ屋外救助ノ制限ヲ寛ニセルモ猶男ニ対シテハ他ニ労銀ヲ得ル時ハ不足ヲ補助スルヲ得ス又労働ナキモノニ対シテハ委員会ハ一定労役ヲ指定シ得

屋内救助ノ効力

上述ノ如ク屋内救助ハ必スシモ絶対的ニ必要ナラサルモ(1)一方ニ於テハ救貧組合ハ此以上ニ於テ救助ヲ予フル義務ナシ故ニ何レノ場合ニ於テモ労役場ニ於テ救助ヲ予フル時ハ貧民ハ他ノ救助ヲ求ムルヲ得ス若貧民労役所ニ入ルヲ拒マハ救貧組合ニ救助ノ義務ナシ(2)又屋外救助ヲ受クルモノ其額等ニ于シ不服アル時ハ組合ハ屋内救助ヲ予フルヲ以テ足レリトス

労役所ノ組織

労役所ニ於テハ生存ニ必要ナル供給ヲ予フルニ止リ其余ノ義務ナシ労役所ニ於テハ小児労働ニ耐ヘサル貧民之ニ耐ユル貧民ヲ撰ハス入レ得ルモ(1)小児ニ付テハ別ニ貧民学校ヲ設ケ単ニ生活ヲ助クルノミナラス之ヲ教育シ将来貧民ノ境遇ヲ脱スルヲ得セシムルニ重ヲ置ク(2)又貧究ノ病者ニ対シテモ漸次他ノ貧民ト区別シ別ニ営造物ヲ設クルカ又ハ労役所内ニ於テ病室ヲ設ク(3)又一時限ノ救助ヲ要スルモノハ為ニハ別ニ一部ヲ区畫シ之等ニ対シテハ他ノ貧民ヨリモ監督ヲ厳ニスルヿアリ、要之漸次屋外救助ヲ減シ屋内救助トスルハ英國恤救行政ノ傾ナリ

恤救吏務ノ監督

恤救吏務ノ監督ニ于シテハ独ハ一般ノ地方官廳ノ監督官廳一般ノ監督方法ニヨリ監督スルニ止ル英ハ救貧委員会ニ各種貧民ノ為委員ヲ設ケ常ニ之ヲ監視ス、救貧組合ニ対スル監督ハ地方吏務省之ヲ行ヒ其機干ニハ(1)監督官 inspector (2)会計監督官 auditor アリ此二者ハ各区域ヲ定メ一ハ恤救行政ノ監督ヲ行ヒ一ハ恤救費ノ経済ニ于スル監督ヲ行フ

第二節　防貧警察

防貧警察ノ目的

國家ハ単ニ貧民ニ衣食住ヲ供給シ生活ヲ遂ケシムルノミナラス(1)人民ノ貧究ニ陥ルヲ豫防シ及(2)貧民ヲシテ貧究ノ境涯ヲ脱スルヲ得セシムルヲ要ス此目的ヲ有スル行政ハ通常防貧警察ト云フ

防貧警察ニ于シテハ(1)小児(2)老病療疾者ト(3)労働ニ耐ユル貧民トノ三ニ区別シ観察スルヲ要ス

小児ニ対スル防貧警察

小児ニ対シテハ(1)其貧困ニ陥ルヲ預防スル為施ス手段ナシ唯養ノ義務アルモノヽ貧困ニ陥ルヲ防ク外ナシ

(2)小児貧困ノ境涯ヲ脱スルヲ得セシムル方法ハ英ノ恤救制ニ付述ヘシ如ク

(イ)貧民学校等ノ設備ニヨリ将来独立生活ヲ営ハニ必要ナル教育ヲ予フルニヨル(ロ)、性行不良ノ少年ニ対シテハ感化ノ為必要ナル設備ヲ設クル外ナシ

老衰疾病療疾者ニ対スル警察

老衰疾病療疾等ノ為労働ニ耐ヘサル貧民ニ対スル防貧警察ノ手段ハ(1)主トシテ各個人ヲシテ預メ之等ノ場合ニ備ヘシムルヲ奨励スルニアリ即官私貯蓄銀行ノ如キ専此目的ニ出テタルニ非レ此下級人民ノ貯蓄心ヲ奨励シ他日ニ備フル機会ヲ予フルヿ疑ナシ

(2)又労働者ノ如キ一旦疾病老衰等ノ為メ職業ヲ失ハヽ直チニ公私ノ救助ヲ要スヘキ人民ニハ疾病保険災害保険養老保険等ノ制ヲ設ケ自活ノ途ヲ預メ具フルハ防貧警察ノ手段ナリ

労働ニ耐ユル貧民ニ対スル警察

労働ニ耐ユル貧民ハ貧困ノ原因(1)自己ノ責ニ帰スルモノアリ又(2)不可抗力ニヨルモノアリ、前者ニ対シテハ防貧警察ノ手段ハ此原因ヲ除クニアリ

ノ、自己ノ責ニ帰スヘキ原因ニヨル貧民

是等ノ原因ノ一ハ家族ヲ養育スル力ナクシテ結婚スルニアリ故ニ諸國往々結婚ニ対シ救貧団体ノ承認ヲ要スルヲ防貧警察ノ手段トセシモ何人ノ独立ニ干渉スルヿ甚シケレハ現今概瘁止ニ帰セリ

(1)結婚ヲ制限スルヿ

(2)飲酒賭博ヲ制限スルヿ

他ノ主ナル原因ハ飲酒賭博ニ耽ルニアリ是等ノ原因ヲ除キ又ハ制限スルハ防貧警察ノ一手段ナリ

(3)労働ヲ怠ルヿヲ匡正スルヿ

貧民ノ貧困ニ陥ル尤大ナル原因ハ労働ヲ怠ルニアリ而シテ此事ハ労働ニヨラス他人ノ救助ニヨリ生活ヲナシ得ルヲ以テナリ

防貧警察ノ作用

故ニ防貧警察ノ尤主ナル作用ハ労働ニ耐ユルモノ他人ノ救助ニヨリ生活スル途ヲ塞キ労働ノ必要ヲ感セシムルニアリ故ニ一定ノ産業ナク乞丐其他浮浪徒ハ諸國刑法ノ罰スル所ナリ是一ハ保安警察ノ目的ニ出ツルモ又多数ノ惰民ヲ生シ一國経済上ノ発達ヲ妨クルヲ防クヿノ主ナル目的ナル疑フ一カラス二三ノ國ニ於テハ是等ノ犯罪ニヨリ所罰セラレシモノハ強制シテ労役ニ服セシメ労役ノ慣習ヲ得セシムルモノアリ例ヘハ独乙ニ於テハ賭博飲酒ニヨリ所罰セラレシモノ又ハ乞丐ノ為数回所得セラレシモノ又ハ脅迫ニヨリ若クハ兇器ヲ携ヘ乞丐セシモノニ対

(1)浮浪ヲ禁スルヿ

行政法各論

シテハ戊判官ハ刑期ノ滿チタル後警察官廳ノ所分ニ付スルヿヲ宣告シ得此場合ニ警察官廳ハ二ヶ年以内労役所ニ労役ニ服セシメ又ハ公共ノ事業ニ使役シ得

2、慈善ノ濫用ヲ防クヿ

防貧警察ハ一方ニ浮浪ヲ禁スルト共ニ一方ニ慈善ノ濫用ニヨリ遊民ヲ生スルヲ防クヲ要ス故ニ(1)欧諸國ニハ乞丐ヲ罰スト共ニ濫ニ惠ヲナスヲ罰スルモノアリ独乙ノ一二國ニハ猶其期規定アリ然シ慈善ノ事業ヲ禁スルノミナラス之ヲ罰スルハ正理ナル思想ニ反スレハ此罰則ハ何レノ時ニモ厳ニ行ハレシヿナシト云ヘリ然レ氏(2)他人ノ為義捐ヲ募ルハ独乙諸國ニテハ往々官廳ノ許可ヲ要ス(3)又公費ノ救助ト私費ノ救助ト重複シ貧民ニ不相当ノ生活ヲナサシムル恐アレハ独諸國ハ往々官廳ニ私ノ慈善事業ノ実況ヲ知タルノ手段ヲ予フ例ヘハ普ニアリテハ団体其他慈善事業ヲナスモノニ対シ市町村ノ要求ニヨリ救助ノ実況ヲ報告スル義務ヲ負ハシム他ノ一二ノ國ニテハ毎年救助ヲ受クル人名ヲ報告スル義務ヲ負ハシム数多ノ市ニ於テハ恤救事務ノ報告所ヲ設ケ公私ノ救助ヲ受クル貧民ノ名簿ヲ調製シ関係官廳及ヒ

私費ノ救助ヲ受クルモノニ対シ

団体ノ閲覧ニ供スルモノアリ

公費ノ救助ヲ受クルモノニ対シ

公費ノ救助ヲ受クルモノニ対シテモ右ニ述ヘタルト仝目的ニヨリ諸種制限ヲ加フ殊ニ屋外救助ヲ受クルモノニハ深ク注意スル必要アリ例ヘハ Dachoerz ニテハ救助ヲ受クル貧民ハ常ニ官廳ノ監督ヲ受ケ生活ノ状態異ニ于シ訊問ヲ受クルトキハ答弁ノ義務アリ若シ公費ノ被服其他物品ヲ売却シ又ハ必要品以外ニ救助金ヲ濫費スルモノハ警察規則ニヨリ罰シ得又酒舗等ニテ救助ヲ受クルモノニ酒炎ヲ販売シタルモノハ所罰ス其他ノ諸國モ往々炎似規定ヲ設ク公費ノ救助ヲ受クルモノニ撰挙被撰挙等ノ公権ヲ有セシメサルハ一ハ仝目的ニ出ツ

2、不可分抗力ニヨル貧民

貧民中自己ノ力ヲ以テ左右シ得サル原因ニヨリ労働ヲ得ル能ハサルモノニ于シテハ防貧警察ノ活動スル範囲ハ極メテ狭少ナリ、一般ニ人民ノ経済上ノ状態ヲ進ムルヲ目的トスル行政ハ皆貧民ノ発生ヲ預防スル方法タル言ヲ待タサルモ是特ニ茲ニ説クヘキニアラス又貯畜銀行ノ制ノ如キモ旁防貧警察ノ目的ヲ達スルモノナリ然

レた自己ノ過失ニヨラス労働ヲ得ル支ハサル貧民ニ対スル国家ノ所
分ハ主トシテ之ニ労働ヲ授クルニアリ此目的ヲ達スル為所謂労働力
者殖民 Colonisation 等ノ方法アレた法規トシテ論スヘキ
ナシ

第五章　教育ニ関スル行政

第一節　国家ト教育トノ干係

国家ノ学術又教育ニ対スル態度ノ変遷

学問ヲ保護シ教育ヲ普及セシムルハ国家ノ尤力ムヘキ所ナレた是近世
国家ノ力メタリ故ニ為メニ安寧秩序ヲ害スル苟ノ国家ノ動力ナリ
学問ノ進歩ノ源改革ノ原動力ヲ阻嫌シ又教会ヲ利用シ宗教ノ教義ヲシテ
家ハ等之ヲ敵視シ発達ヲ阻害セシ事モ亦尠カラス然レた近世国家ノ定ム
ヘキ所ニアラス又実理恐クハ将来モ亦然ラサルヲ暁リ曲学邪説ハ到底
国家ノ力ニヨリ抑壓スヘカラス唯学術ノ発達ト真理ノ闡明トヲ
期スル之ヲ制スルノ外途ナシト認ム学術ノ保護奨励ヲ国家ノ義務
トセリ

教育ニ対スル国家ノ三主義

教育亦昔ノ国家ハ之ヲ私人殊ニ宗教家ニ放任シ国家ハ寧ロ
愚民ノ御シ易キヲ悦ヒタルモアリシモ近世ノ国家ハ国家ノ発達ト人
民ノ知識ノ程度ト相比例スルヲ認メ且私人ノ力ハ完全ナル教育ヲ
施スニ耐ヘサルヲ暁リタレハ多少教育ニ其力ヲ用ユルニ至レリ
然レた国家ノ教育ニ対スル干係ハ一ナラス時ト処又教育ノ段階ニヨ
リ学簿ノ差アリ之ニヨリ三種ノ主義ヲ生ス

（自由主義）其一ハ教育ヲ以テ私人ノ支業トシ自由ノ発達ニ任セントスルモノナリ

（国家主義）其二ハ国家教育支業ヲ独占シ自己ノ直接ノ行政トシ又其機関ヲ
ル公共団体ノ行政トスルモノナリ

（公私併行主義）第三ハ教育ノ区域ニ於テ私人ノ支業ヲ全自由トセルモ国家モ亦時ニ
自己ノ学校ヲ設立維持スルモノナリ
是等三主義ハ時代ヲ異ニシ全国ニ行ハレシアリ又ハ国家人情ノ異
ルニ従ヒ国ヲ異ニシ全時ニ行ハルルアリ又各主義ハ単純ニ行ハルルアリ
混合シテ行ハルルアリ現今欧洲諸国ニ自由主義ノ模範トスヘキハ英ナリ
国家主義ノ模範トスヘキハ仏ナリ公私併行主義ノ模範トスヘキハ仏

ナリ故ニ三主義ハ之ヲ英独仏主義ト称シ得ヘシ

（三主義ノ不否）是等ノ三主義ハ皆各國ノ歴史及人情ト発達ノ程度等ニヨリ呉レハ利害ヲ速断スヘカラス又初等教育中等教育及高等教育ノ区別ニヨリ得失ヲ呉ニスレハ一般ニ利害ヲ定ムヘカラス然レ𪜈之ヲ概言スレハ現今ノ社会ニ於テハ國家ハ全ク教育ヲ私人ニ放任シ得サルヿ明ナリ或ル程度ノ教育ハ一般人民ヲシテ普ク受ケシムルハ現今國家ノ等ク必要ヲ認ムル所ナリ之ト仝時ニ國家ハ自之ニ応スル設備ヲナスヲ要ス然レ𪜈他ノ極端ニ走リ國家自ラ一般ノ教育事務ヲ專占スルハ必要ナキノミナラス或ハ大弊害ノ源タルヿアルヘシ

抑教育ハ性質上反テ私人ノ事業ニ適シタル点ナシトセス、教育ハ知識ノ作用ヲ要スルノミナラス又心情ノ作用ヲ要ス、國家ノ行政ハ機于ノ活動ニヨリ機関ノ活動ハ動モスレハ形式ニ流ルヽ恐アリ且ツ教育ノ目的及基礎ハ学術ナリ学術ノ目的ハ進歩ニシテ國家ノ欲スル所ハ秩序ナレハ國家ハ必スシモ常ニ学術ノ良友タラサルナリ、故或ハ之ヲ検束シ一定ノ軌道ニ遵ク為教育ノ機于ヲ利用スルヿナシト保スヘカラス、此ノ如ク教育形式ニ流シ学者一定ノ軌道ニ陥ルノ危険ニ際シ之ヲ匡正スルハ私人ノ経営ニ係ル学校ノ外ナキナリ故ニ極端ノ放任主義ト國家主義ハ共ニ國家人民ノ発達ヲ妨クルモノナリ

（初等教育ニ付テ）今教育ノ各段階ニ付何レノ主義カ適スルカヲ知ルニ(イ)初等教育ハ授業簡単ナルヿハ家庭又ハ私立学校ニ之ヲ受クル便ニ乏シカラス父兄之等ヨリ教育ヲ予ヘントセハ國家ハ強テ公立学校ニ入ラシムルヲ要セス故ニ國家主義ヲトレル國ニテモ家庭又ハ私立学校ノ教育ヲ以テ公立学校ノモノニ代ユルヿヲ許サルナシ(ロ)、又一方ニ於テハ教育ヲ普及セシムル必要ハ尤モ初等教育ニ多ク貧民ノ子弟ノ如キハ私立ノ学校ニ之ヲ受クルヿ困難ナリ又之ノミヲ以テ一般ノ需要ニ応シ得ラレサレハ國家ハ自必要ノ設備ヲナスヲ要ス故ニ両極端主義ノ國ニ於テモ実行ニ当テハ勢中間ナル仏國主義ニ赴クヲ要ス

（中等教育）中等教育ニ于シテハ私人ノ事業ニ放任スルハ英ノ如キ財源多キ國ニテハ教育ノ自由ナル発達ヲ助ケシヿ大ナルモ(イ)一方ニ於テハ公設ノ学

校ナキ時ハ中等教育ハ実際富豪ノ子弟ノ占ムル所トナリ資産ニ乏シモノハ之ニ入ルノ機会ヲ失フ恐ナシトセス(2)一方ニ於テハ國家中等ノ教育ヲ独占スル必要ナシ中等教育ハ初等教育ヨリ一層畫一スル必要少ケレハ私人ノ自由ニ任スル余地一層広キナリ故ニ中等教育ハ初等教育ヨリモ一層公私併行主義ニヨルノ必要ヲ感ス

(高等教育ニ付テ)

高等教育ハ(1)中等教育ヨリモ一層自由ニスヘキ性質ヲ有ス学術ハ本来強制又ハ独占ヲ許サヽルモノナリ(2)、然レ𪜈実際ニ於テハ尤大ナル設備ヲ要スレハ國家自之ヲ経営スル必要多シ併シ一方ニ於テハ國家実際上又ハ原則上高等教育ヲ独占セル國ニ於テハ広キ自主ヲ許シ学術ノ自由ナル発達ヲ妨ケサルヲ要ス若曲学邪説ノ生スルヲ恐ルレハ他説ニヨリ匡正スヘク國家ノ規則ニヨリ之ヲ検束スルハ学術ノ発達ヲ妨クルモノナリ

第二節　初等教育

(修学義務)

小学教育ノ第一ノ基礎ハ修学ノ義務ナリ國家ハ(1)、父兄ニシテ児童ヲ教育スル義務ヲ怠ルモノニ対シ児童ヲ保護スルヲ要ス(2)、然レ𪜈國家父兄ニ対シ修学セシムル義務ヲ負ハシムルハ単ニ児童ヲ保護スルノミナラス一般人民ヲシテ少クトモ最少限度ノ教育ヲ得セシムルハ國家ノ自存及発達ノ為欠クヘカラサル要件ナルナリ

(其性質)

修学義務ハ父兄子弟ニ対スル義務ニアラス國家児童ニ代リ父兄ノ此ノ如キ義務ヲ強制スルニアラス國家自己ノ目的ノ為父兄ニ負ハシムル公法上ノ義務ナリ

(之ニ対スル障害)

修学義務ハ諸國法ノ認ムル所ナリ然レ𪜈之ニ対シテハ種々ノ障害アリ(1)教育ノ普及ハ人民ノ知識ノ程度ヲ高メ多数ノ不平者ヲ生シ(2)又國家ハ設備ノ為重大ナル負担ヲ負フヘシ(3)父兄ハ為ニ児童ヲシテ職業ニ就カシメ又其他生活ノ助トスル利益ヲ失フ此点ハ殊ニ工業地ニ就学ヲ強制スルニ付テノ一大障碍ナリ又(4)、欧諸國ニ於テハ教育ノ普及ハ社会ノ上級ト下級トノ間ニ知識ノ程度ヲ均一ニスル傾アレハ一方ニハ貴族社会ノ反対ヲ受ケ一方ニハ僧俗間ノ知識ノ差ヲ減スレハ宗教家殊ニローマ教ノ反対アリ

要スルニ就学義務ハ人ノ自由ニ大制限ヲ加フルモノナレハ何人ノ自由

ヲ尊重スル國ニアリテハ実行ニ対スル障碍ノ一層大ナリ之等障碍ノ
ルニ係ラス人民ヲシテ普ク一定ノ実限度以上ノ教育ヲ受ケシムルハ一國
ノ生存発達ノ条件ト認メラルルニ至リ英ノ如キ個人ノ自由ヲ制限スル
ニ於テモ修学ノ義務ヲ設クルニ至レリ

(其範囲) 然レ共此義務ハ元来ト児童ノ利益ヲ保護スル目的ニ出テタル
家ノ元素タル人民ノ程度ヲ高ムル必要ニ出テタレハ在留外人ニ対シ
テハ之ヲ及ス要ナク故ニ例ヘハ独諸國ノ如キ条約ニ特別規定ナキ
以上ハ修学ノ強制ヲ在留外人ニ及スヲナシレ

(其限界) 修学義務ハ小学校ノ教育ヲ受ケシムル義務ナリ幼稚園ハ勿論補
習学校等ニモ之ナキヲ例トス南独諸國ニハ一定年限間補習学校
又ハ実業補習学校ニ入学セシムル義務ヲ負ハシムルモノアリ

(其制文) 修学義務ニ背クモノハ之ヲ(1)督促シ或ハ(2)告示シ(3)罰金又ハ(4)禁
錮ニ処ス

(其実施) (1)公立学校ニ修学セシメス(2)、私立学校又ハ(3)家庭ニ教育ヲ施スモノ
ニハ時々試験ヲ行フヲ得(仏、独)英國ニテハ単ニ児童カ如何ニ教育

ヲ施サレツヽアルカヲ証明スルニ止ル

(其継続期間) 修学義務ノ継続期間ハ(1)年齢ニヨリ定ムルヲ例トシ通常ハ一
歳ヨリ英ハ五ヶ年ノ歳ヨリ然シ仏ハ六ヶ歳ヨリ
従ヒテ充分ノ知識ヲ有スルモ学校ニ止ル必要アレハ仏ハ八ヶ歳以上
(2)修学免除ノ試験ヲ受ケ
通過セルモノハ修学ヲ免除スヘク然シ此制ヲ多少ノ緩アリ試験ハ実際
有用ノ知識ト皮層上ノモノトヲ混スルノ故ニ独諸國ノ如キ単
ニ年齢ニヨリ期間ヲ定ムルモノ

(現行法) 現行法ニヨレハ修学義務継続期間ハ学齢児童普通小学ノ教
科ヲ終ルニ迄ヨリ(三年又ハ四年)、然シ此修学義務者ハ市町村廃ノ
許可ヲ得家庭又ハ私立小学校ニ児童ヲ教育スルヲ得、
修学義務ヲ有スルモノハ学齢児童ヲ保護スヘキモノナリ学齢児
童ヲ保護スヘキモノト認ムル要件ハ文部大臣之ヲ定ム

(授業料) 修学ノ強制ハ又スレモ授業料ノ全廃ヲ意味スルモノニアラス小学
校ニ之ヲ徴収スルヤ否ハ実際ノ利害ニヨリ決スヘキ問題ナリ然レトモ

授業料ヲ徴収スルハ教育普及ノ妨害ニシテ小学教育ヲ普ク施ス
ハ私人ノ利益ヨリモ寧ロ国家ノ公益ヲ主トスルモノナレハ私人ヨリ授業
料ヲ徴収セス公費ヲ以テ之ヲ支弁スルハ理由サレトセス
外国ノ例ニ徴スルニ仏ニテハ授業料ノ廃止ハ革命ノ一[illegible]
ニシテ帰三共和政ニ至リ之ヲ実行セリ英ニアリテモ一八七〇以降
国家ハ生徒ノ数ニ応シ学校ニ補助ヲ与ヘ其金額ニ相当スル丈授業
ノ授業料ヲ減額又ハ廃止セシメタレハ実際ハ概ネ之ヲ徴収セサルニ至
レリ普ニアリテモ一八九〇以後国家ノ補助ト従前ノ授業料ノ収入トヲ
相殺スル法ヲ設ケ今日ハ授業料ハ収入ノ一小部分ニスキス

(存置説) 然レ共授業料ヲ全廃セハ父兄ハ子弟ノ教育ニ対スル責任ヲ感スルノ
薄ク又学校ノ子弟ノ利益ヲ重スルノ少ナキ為ニ子弟ノ奨励ヲ怠リ
又ハ学校ノ利害ニ注意スルノ少ナキニ至ル虞アレトセス故ニ独リ
諸国ニ於テハ尚授業料ノ[illegible]廃止ヲ許ササルカ又ハ[illegible]
[illegible]租税ヲ課セスシテ費用ヲ支弁シ得ル場合ニ限リ之ヲ
許ス

貧民ニ対スル免除

授業料ヲ徴収スル国ニ於テハ貧民ニ対シテハ特ニ免除スルヲ要ス
然レ共是等ノ国ニ於テハ授業料ノ原則上各個人ノ負担スヘキ各自ノ
需要ニ対スル費用ナルヲ以テ国家ハ無資力ナル為之ヲ特ニ徴収セサル
ヘカラサルノ義務ヲ負フニ過キス(英ニアリテハ全部又ハ半額ノ)
ナレハ恤救費用ノ一部トシテ其[illegible]

(現行法) 現行法ニヨレハ小学校ハ一般ニ授業料ヲ徴収スヘキ原則トシ唯貧
者貧困ナルニ至リ全額又ハ一部ヲ免除スルノミ(戦地ニアルモノニモ免除
スル勅令)

設備ノ義務

小学校ノ授業料ハ父兄ノ負担ニ属スルヲ以テ国家ハ一方ニ於テ修学義務ヲ定メルト共ニ一方ニ於テ修学
ヲ容易ナラシムル為メ学校ノ設備ヲナスヲ要スル此義務ヲ設備ノ義務ト云フ

設備ノ義務ノ負担者

設備ノ義務ハ國家自之ニ任シ得又公共団体ヲシテ之ニ任セシムルヲ得

小学校ハ(1)本来主トシテ一区域内ノ児童ヲ教育スル営造物ナレハ其区域ノ住民ヲシテ負担セシムルヿ条理ニ適セルノミナラス(2)之ヲシテ学校ノ利害ニ注意シ之ノ為ニ尽スノ精神ヲ養フ利益アレハ設備ノ義務ハ何レノ國ニテモ地方団体ヲシテ負担セシム

是等ノ団体ハ(1)或ハ普ノ如ク学校ノ区域内ニ住所ヲ有スル独立人民ヲ以テ組織セル学校組合 Schulgemeinde ナルヿアリ又(2)、南独諸國及仏ノ如ク市町村ナルヿアリ仏ニハ各町村ハ少クモ一小学ヲ設立スル義務アリ人口500以上ノ町村ハ一男子小学一女子小学ノ設立ノ義務アリ(3)、美ハ一種特別ノ制ヲ有シ此邦ノ小学ハ元全ク私人ノ事業ニヨリ起リ今日モ公共ノ学校ノ多数ハ私設ニ係ル國家ハ之等私設学校ニ対シ生徒ノ人頭ニ応シ補助ヲ予フ及視学官ノ施行スル試験ニ及第セル生徒ノ頭数ニヨリ之ヲ予フ

(Payment by result system) 此制ハ有用ノ知識ヲ予フルヲ主トセス試験ヲ受クルヲ主トシテ生徒ヲ養フ弊ヲ生スル恐アレ𪜈現今行ハルヽ所ナリ然レ𪜈或区域ニ於テ学校ノ設備児童ニ応スルニ足ラサル𪜈ハ学務委員ハ学校税ヲ徴収シ公立学校設置ノ義務アリ此ノ如ク設備ノ義務ハ公共団体ニ負担セシムルモ小学教育ハ全國ノ利害ニ于スル大ナレハ上級団体ハ費用ヲ補助シ事務ヲ監督シ事項ニヨリテハ國家自ラ之ヲ行フ

(現行法)

現行法ニヨレハ設備ノ義務ハ市町村又ハ之ニ代ルヘキ団体ノ負担ニ属ス然シ小学ノ教育事務ハ國ノ事務ニ属スルモノト市町村ノ事務ニ属スルモノトアリ小学校令ハ此区別ニ付一般原則ヲ明定セサルモ概シテ云ヘハ小学校ノ設備ヲナシ及其費用ヲ支弁スルハ市町村ノ事務ニシテ其他ノ教育事務ハ通則トシテハ國ノ事務ト認メテ可ナルカ如シ

此原則ハ小学校令カ市町村ノ機于ニ事務ヲ分配スルニ当リ其ノ國家事務ノ機于タル市町村長ニ委任セル場合ト市町村ノ固有事務ヲ司トル機于ニ委任セル場合トヲ比較スル𪜈ハ自ラ明瞭ナリ故

ニ現行法ニヨレハ市町村立小学ハ市町村ニ設備ノ義務アルニ係ラス性質上ハ國家ノ営造物ト認ムヘキナリ

設備ノ義務ハ市町村ニ属スル上述ノ如キモ場合ニヨリテハ之代ハヘキ団体之ヲ負担スルヿアリ是等ノ団体ハ町村組合ト学校組合ナリ、町村組合ニシテ一切ノ町村事務ヲ共仝シテ所弁スルモノハ当然市町村ニ代リ設備義務者ナリ学校組合ハ強制ニヨリ設ケテルヽアリ又数町村ノ協議ニヨリ成シルアリ即一町村ノ資力設備ノ義務ヲ負担スルニ耐ヘサルトキ又ハ児童ノ数少キトキハ郡長ハ手係団体ノ意見ヲキヽ其他相当ノ手続ヲ経テ之ヲ設ケシムルヲ得又数町村設備ノ完全又ハ経費ノ節減ヲ計ル為協議シテ之ヲ設クルヿアリ

設備ノ義務ノ内容

設備ノ義務ノ内容ハ当該官廳相当ノ手続ヲ経テ定メタル数ノ尋常小学校ヲ指定ノ場処ニ設置シ及維持スルヿナリ

此義務ハ場合ニヨリ他ノ義務ニ変形スルヿアリ即市町村ハ場合ニヨリ其区域内ノ児童ヲ他ノ団体ニ委托スルヲ得又市町村内ニ私立小学校アルトキハ当該官廳ハ市町村ノ設備義務ノ全部又ハ一部ヲ猶豫シ私立小学ヲ以テ之ニ代用セシムルヿアリ

設備ノ義務ノ限界

設備ノ義務ハ修学義務ト相対スル一方ニ修学義務ヲ定ムルトキハ一方ニ修学義務アル児童ヲ収容スルニ足ル学校ヲ設置セサルヘカラサル必要ニ本ツクモノナレハ設備ノ義務ハ尋常小学ヲ以テ限度トス反之高等小学校徒弟学校実業補習学校ハ市町村又ハ町村組合ノ任意ニ設置スル所ニシテ設備ノ義務ナシ

設備ノ費用

小学校設立維持ノ費用ハ学校ヲ設立スルモノヽ負担ナリ故ニ設備ノ義務アル団体ハ当然尋常小学校設備ノ費用ヲ負担ス

(1)然レトモ費用ヲ負担スル義務アル団体ハ授業料ヲ徴収シテ収入ニ充ルヲ得現行法ニヨレハ授業料ハ徴収セサルモ団体ノ負担ヲ加重スル恐ナキ場合ニ限リ免除スルヲ得

(2)小学校殊ニ尋常小学校ノ設置ハ修学義務ヲ定メタル必然ノ結果トシテ必要アルモノナレハ市町村ニ設備ノ資力ナキ場合ニモ國家ハ之ヲ猶豫スルヲ得ス故ニ現行法ハ団体ニ対シ補助ヲ予フルノ方ヲ

設ケ即市町村ノ必要ナル数ノ小学校ヲ設立維持及ビ其ノ府縣費又ハ郡費ヲ以テ費ヤシテ君ニ補助ヲ與フ

小学校教員（資格）小学校ノ教員トナルニハ諸國皆一定ノ資格ヲ必要トス独仏ニ於テハ一面ノ学術試験及一面ノ実務試験ヲ経タルモノヨリ國家ノ官廳之ヲ任命スルニ於テハ小学生徒ニシテ一定ノ程度ノ試験ヲ受ケタルモノハ一定ノ年期ヲ限リ教員トシテ用ユルヲ得（Certificat d'aptitude pédagogique）之等ノ教員ハ他ノ志願者ト共ニ試験ヲ受ケ及第者ハ準教員ノ資格ヲ得優等者ハ官費生徒トシテ師範学校ニ入学スルヲ得是等ノ官費生徒ハ一年後其他ノ準教員ハ女歳ニ達シタル後及一年間教員ノ職務ニ従事セハ後一面ノ試験ヲ受ケ又一年ノ後ニ亦同ノ試験ヲ受ケ正教員トナルヲ得（Certificat d'aptitude pédagogique）國家ハ学校教員ノ養成ニ注意スルヲ以テ為ニ試験ニ及ヒ其ノ準教員ノ数ニ応シ金額ヲ下附スル現行法ニヨルハ小学校教員ハ小学教員トシテ知事之ヲ命ス

（地位）小学校ノ教員ハ判任ノ待遇ヲ受ケル國ノ官吏ナリ其俸給ニ于（俸給）シテハ外國ノ例ハ英及普ニ仏ハ教員ノ俸給及金額ハ法律ノ定ムル所ナリ教員ノ俸給ハ(1)独諸國ハ國庫ヨリ定額ノ補助ヲ給シ年功加俸ハ國庫ノ負担トス其他ノ独諸國モ概ネ(2)仏ニ於テハ俸給ハ全ク國庫ノ負担トシ町村ハ唯在勤俸ヲ給スルノ外ハ負担セスル教授ヲ担任スル教員ノ俸給及教員俸給ハ管理團体ノ負担トシテ世年勅令現行法ニヨレハ小学校教員ノ定数トニヨリ團体ハ支出ス二号ニヨリ其平均額ヲ定メタル上教員ノ定数ヲ定ムルヤ否ヤハ此等義務ノ範囲内ニ於テノミ教員ノ俸給ヲ定ムル一定年限間全ク一学校ニ勤続スルモノハ廿九年法律十四号ニヨリ年功加俸ヲ給ス

（生徒ニ対スル懲戒）小学校々長及教員ハ生徒ニ対シ懲戒ノ権ヲ有ス此権ハ学校ニ入学スルニヨリ生スル特別ノ服従ヲ係ニ基クモノニシテ官吏ノ懲戒ト基礎及ヒ性質ヲ全クス然レ共生徒ニ対スル懲戒ノ所分ハ生トシテ本人ノ利益ノ

為ニ行フモノナレハ程度ニ一定ノ限アリ現行法ハ体罰ヲ加フルヲ得サルヲ定ム

（懲戒）小学ノ校長及教員ハ官廳ノ監督ヲ受クルモノニシテ職務上ノ義務ニ違背セルモノハ懲戒ヲ受ク懲戒ハ(1)譴責(2)罰俸(3)免職及(4)免許状褫奪ノ四種ニシテ後二所分ニ対シテハ訴願ヲ許セリ

（地位ノ保障）其他小学校々長教員ノ休職退職及転職ニ于シテハ現行法ハ其地位ヲ牢クスル為一定規定ヲ設ク即之等ニ(1)休職（キユウ）又ハ退職ヲ命シ得ヘキ場合ハ法令ヲ以テ必一定ス又(2)転任ニ付テハ特別事情アル場合ノ外本人ノ意思ニ反シ正教員ヲ准教員トシ又ハ俸給ヲ減セラルヘキ地位ニ転任スルヲ得ス

（退隠料扶助料等）(1)小学校々長及教員ノ退隠料並退職ノ時給与スヘキ一時賜金及(2)、遺族ニ給与スヘキ扶助料並一時扶助金ニ付テハ法律ヲ以テ特ニ規定ス此規定ハ大体文官ノ恩給及遺族扶助法ノ規定ト差ナシ恩給及遺族扶助料ニ充ル為別ニ基金ヲ設ク此基金ハ府縣ニ設ケ市町村ノ納付金ト教育員ノ納附金及国庫ノ賦予金ヲ以テ組織シ補足ハ府縣ノ負担トス

（小学教育ト宗教トノ干係）小学教育ト宗教トノ干係ニ付テハ教育ヲシテ全ク宗教ヨリ分離セシムルハ修学ノ義務授業料ノ廃止ノ二事ト共ニ仏国革命時代ノ教育ニ于スル三大方針ノ一ニシテ仏ニ於テハ第三共和国ニ至リ始テ実行セラレシ所アリ現今仏ニハ道徳教育ヲ以テ宗教々育ニ代ヘ教員ハ将来僧侶ヲ以テ充ツヘカラス又学校ノ建物ハ宗教々育ニ用ユルヲ得ス然レ氏父兄ヲシテ宗教々育ヲ予フル機会ヲ有セシムル為学校ハ日曜日及他ノ一日ノ間授業ヲナスヲ得ス私立学校ニ於テハ宗教々育ヲ予フルヲ妨ケス、英国ニ於テモ公共ノ学校ニ于シテハ畧教育宗教分離主義ニ近ク教員ハ僧侶ヲ以テ任スヘカラス且公立学校ニ於テハ特別ノ宗派ニ属スル教義ヲ教ユルヲ得ス、此範囲内ニ於テ宗教々育ノ方法ヲ定ムルハ管理者ノ自由ナレハ実際区々タルモ数多ノ学校ハ宗教々育ヲ全科程ヨリ除ケリ又一方ニ於テハ英国及殖民地ニ於テハ盛ニ日曜学校ヲ設ケ宗教々育ノ欠乏ヲ補ヘリ

（独）上述ノ如ク英仏等ノ無宗学校ノ外学校ニ於テ宗教々育ヲ予フル

モノニ二種アリ(1)単宗学校 Konfessionelle Schule、前者ハ一宗派ノ宗教々育ヲ予(2)複宗学校 Simultan Schule、前者ハ一宗派ノ宗教々育ヲ予ヘ教育モ之ニ属スルモノヨリ任命ス後者ニ於テハ区域内ニ尤広ク行ハル二派以上ノ宗教々育ヲ父兄ノ撰ム所ニヨリ予ヘ其以外ノ科目ハ全ク宗教ト離レ教授スルモノナリ、何レノ学校ニ於テモ宗派ニ属セサル子弟ニ宗教々育ヲ強制シ得サルハ信教自由ノ当然ノ結果ナリ

独諸國ニ於テハ単宗学校並複宗学校ノ二制並存セルモ多数ヲ占ムルハ前者ナリ

(我制度)我國ニ於テハ道徳教育ハ勅語ヲ基礎トシ公立ノ小学校ニハ宗教々育ヲ授ルヲ得ス

私立小学校

私立小学校ノ地位ニ于シテハ前述三主義ニヨリ差アリ、英ニ於テハ私立小学校ニ二種アリ一ハ(我代用学校)公共学校 Public Schule ト認メラレ一ハ純然タル私ノ学校ナリ前者ハ一方ニ於テ國庫ノ補助ヲ受ケ一方ニ於テ種々ノ点ニ付制限並監督ヲ受ク反之純然タル私学校ハ全ク國家ノ制限監督ヲ受クルヿナシ必竟私立学校ニ対スル監督権ハ國権ノ作用ニアラス補助ノ条件ト認メラルヽナリ

(仏)仏ニ於テハ私立小学校ヲ設置セントセハ先之ヲ市町村長ニ届出テ市町村長ハ教員ニ必要ナル資格ナキカ又ハ不全完ト認ムル時ハ之ヲ拒否スルヲ得大体仏ニテハ私立小学校ニ対スル監督ハ衛生道徳ニ害ヲ及スヿナク又憲法々律ニ違反スルヿナカラシムルヲ主眼トス

(独)独諸國ニ於テハ(1)公立小学ニ修学スル義務ヲ免除スヘキ学校ヲ設置スルニハ凡テ認可ヲ要ス其他ノ学校モ多クハ許可ヲ要ス、(2)設立者ハ学校ノ管理ニ必要ナル学術上及道徳上ノ資格ヲ証明スルヲ要ス、(3)、且國家ノ監督ヲ受ケ其定ムル諸規則ヲ守ルヲ要ス若之ニ違背スル時ハ許可ヲ取消スヲ得、学校ヲ設ケスシテ各個人ニ教育ヲ予フルモノ亦普ニハ許可ヲ要ス(Privat ニ od. Haus lehrer)

教会ノ設立ニ係ル学校ハ僧侶養成ノ目的タルト否ヲ問ハス一般ノ規定ニ支配セラルヽハ勿論往々外ニ特別ノ制限ヲ設ク例ヘハ Baden Hessen 等ニハ将来僧侶トスルヲ目的トシ児童ヲ養成スル学校ハ之ヲ禁セリ又 Baden 及 Sachsen ハ Orden 宗教団体若クハ或種ノ

行政法合論

宗教団体ハ特別ノ法律ニヨル外学校ヲ設立スルヲ得ス

第三節　中学教育

中学教育ノ意義

中学教育ハ小学ノ教育ト大学ノ教育ノ中間ニ立ツモノナリ狭義ニ於テハ高等教育ノ預備タルト高等ノ実業ニ就クノ預備タルトヲ問ハス児童ニ普通教育ヲ与フルモノヽミシテ各種ノ技藝学校及師範学校ヲ含マス又高等女学校モ独乙ニ於テハ小学教育ニ近キヲ以テ之ヲ中学ト認メス

（独乙ノ中学ハ Gymnasium ト Realschule トアリ年限ハ共ニ九年ニスレトモ教授スル所ヲ異ニス前者ハ精神教育ヲ主トシ古学ニ力ヲ用ユ後者ハ近世語及科学ヲ専ラミス中間ニ Realgymnasium アリ又目的ヲ異ニス前者ハ大学入学ノ資格ヲ得後者ハ高等技藝学校ニ入学スル資格ヲ得ルナリ又 Progymnasium 或 Pädagogie 或 Lateinische Schule 及 Realprogymnasium 或 Reallateinische Schule ナル変則ノモノアリ、維持ハ地方団体及国之ヲナシ主ニ地方団体之ヲ維持ス、私立中学ニハ設立者教師等ニ制限アリ

高等女学校ハ私立多キモ後公衆共団体之ヲ設立スルニ至レリ国家ハ之ニ補助ヲ予フルノミ

仏亦独乙ニ類シリセーナル国ノ中学アリ又コレーヂコンミノーナル市町村ノ中学アリ二者目的科程ハ概全一ナリ其年限ハ九年ニシテ最後三年ハ修辞哲学及数学ニ科ヲ分テリ、後ニ至リリセーニ並行セル分科ヲ設ケ又独立ノ学校トナレルモノアリテ独ノ Realschule ニ当レリ、独乙ト異ナレルハ生徒ノ寄宿スルヲ普通トセルヿナリ、私立中学ハ自由ニ設立スルヲ得唯設立者ニ一二ノ資格制限アルノミ

英国ハ独仏ト全ク異リ公立ノ学校ナシ Public School ナルモノハ又 Grammar School、Endowed School ト云ヒテ戦団ノ維持スル所ナリ Eton 等ノ学校ハ精神教育ヲ主トシ数百年来ノ組織ヲ襲陥セルモノニシテ寄宿制度ニシテ貴族富者ニ専占セラル之ニ対スル Proprietary School ニシテ会社或ハ公益法人ニヨリ設立セラル然レ凡 Endowed school 等ト変スル恐アリ永存スルモ

ノ少レト云フ

又 Private 又 Lehranstalt Proprie Schule ニ
女子ノ教育ノ Private Schule ニ
限ル

國家ハ Staatliche Schule 設備者
又ハ宗教家等ノ管理又ハ所有ニ対シ寄附行為ノ
ヲ修正セリ然レ共行政ニ対シテハ國家ハ何等ノ法規ヲ設ケス)

設備者ノ義務(設備義務アリ又文部大臣必要ト認ムルトキハ増設ヲ命ス)

又、其他ノ設備者

高等女学校ハ府縣ニ設備ノ義務アリ其他中学教育ノ設備ハ
國家(2)其他ノ団体又ハ(3)私人ノ設備ヲ待ツ
小学教育ノ施設ニ妨ナキ場合ノ外中学ヲ設クルヲ得ス

設置ノ条件

中学ノ設置ハ文部大臣ノ認可ヲ要ス

費用ノ負担

学校ノ費用ハ設立者ノ負フヘキモノトス私人ノ負担ナリ唯学校ヲ設立維持スルニ足ル金額ヲ寄附シ管理ヲ願ヒ出タル時ノ学校ノ性質

設立維持ノ金額ヲ寄附シテ管理ヲ願ヒ出タル時ノ学校ノ性質

理ヲ願ヒ出ヘキモノアルトキハ官立又ハ府縣立ト仝一ノモノト認メ得ルハ諸学校通則ノ定ムル所ナリ然レ共寄附ノ金額ハ國又ハ公共団体ノ一部ニシテ尊ニ共用途ヲ指定セラレタルノミ故ニ之等ノ学校ハ別種財団ニアラス又私設学校ニアラス純然ノ官公立学校ナリ、官公立ト仝一ニ認メラルヘキモノニアラス、実業学校ニ対シテハ國庫補助ヲ給ス

(実業学校)

中学校々長及教員ハ皆官吏ニシテ官吏法ノ支配ヲ受クヘキモノナリ公立諸学校ノ校長及教員ハ検定ヲ受ケ免状ヲ有スルモノヽ内ヨリ任命ス

校長及教員

(地位)

(資格)

公立諸学校ノ職員ノ退隠料ハ別ニ法律ヲ以テ規定ヲ設ケ其費用ハ國庫ノ負担トス然レ共本人及団体ニ納付金ヲナス義務アルトキハ小学教員ニ付述ヘレト仝シ

(退隠料)

第四節 大学教育

各大学ニ通スル一般規定ナリ皆別段ノ勅令ニヨリ細織セラレ國ノ営造物ナリ

仏独英三國ニ較スルニ仏ノ大学ハ元ヨリ規則ヲ要シ英ノ大学ハ元モ自由

ナリ

仏ハ各 Faculté ヲ本体トシ各分科ハ必スシモ一ヶ所ニ集レルヿナシ、各分科ニハ教授ヨリ択ヒ大統領ノ任命スル大学長アリ教授ハ各大学ニ推撰シテ大統領任命ス学年ハ三年ニシテリサンシエートナリ官職ニ就クヲ得一個年後試験ヲ受ケドクツールトナル

私立大学ニ付テハ他ノ邦ト異ル Napoleon 目時代ニハ之ヲ認メサリシモノ1879 以后之ヲ許セリ設立ニハ簡易ナル制限アルノミ

私立大学ニシテ尤モ小ナル Faculté ト全数ノドクトルノ教授ヲ有スルモノハ Faculté ト称シ得三 Faculté 集ルトキハ大学ト称スルヲ得

私立大学ト官立大学トノ教授ヨリナル試験委員ノ試験ヲ経テ学位ヲ得、私立大学ヲ設クルニ尽力シタルハローマ教ナリ國家其勢力ヲ恐レ Faculté、Université ナル名ヲ棄ヒ又学位ヲモ之ヲ許サヽルヿトセリ

独乙ノ大学ハ自治ノ方針ニ基キテ設立セラル凡テ國立ナリ命令及訓令ニヨリ支配セラル組織ハ各大学ニ Rector アリ正教員ヨリ大学ノ推撰ニヨリ國王一年ノ任期ヲ以テ任命ス Universität ハ神学、法科、哲学、理科、医科ノ分科アリ

分科大学長ハ正教授ヨリ順次ニ就任ス大学ニ評議会アリ各分科ニ教授会アリ、正教授ハ大学ノ推撰ニヨリ任命セラル外ニ員外ノ教授アリ又 Privatdocent アリ員外教授ハ正教授ト全方法ニヨリ任命セラレタルト Privatdocent ト全一ナルモノト二種アリ Privatdocent ハ Doctor ニシテ更ニ試験ヲ経タルヿヲ要ス Doctor ノ学位ハ官職ニ就クノ資格ヲ生スルモノニアラス

大学ニハ文部大臣ノ監督ノ機干タル Kurator アリ、学生ハ必スシモ学校ニ出席スルヲ要セス唯一学期ニ少クトモ一ノ学科ヲ聴クヲ要シ三年ニシテ始メテ試験ヲ受クルヲ得、教授員外教授ハ講義ヲナスヲ要ス Privatdocent ハ之ヲナス義務ナシ (Lehrfreiheit 及 Lernfreiheit)

英ハ University ノ下ニ之ト離レテ College アリ概多クノ財産ヲ有ス其行政ハ Fellow 之ヲナス先任者後任者ヲ推撰ス Fellow

于文法令論

中行政ヲ司ルモノト然ラサルモノトアリ大学々生ハ何レカノ College ニ属ス Tutor ノ教授ヲ受ク tutor ハ fellow 中ヨリ出ツ University ニ於テハ教授時間少ク賊産ヲ有スルヿ少シ唯試験ヲ受クル場所タリ University ハ毎年試験ヲナシ三年后 Bachelor of Arts ヲ得二年后 master of arts ヲ得ルヿヲ得要スル ニ University ハ title ヲ予フル所ナルナリ

各分科ニハ別ニ各種ノ学校アリ

第五節　私立学校

設立ノ要件　校長及教員

私立学校ヲ設立スルニハ認可ヲ受クルヿヲ要ス又其校長トナリ若クハ学校ヲ代表スルモノハ(1)一定資格ヲ具ヘ(2)監督官廳ノ認可ヲ受クルヲ要ス

(校長)

(教員)

其教員トナルニハ(1)一定ノ条件ヲ具ヘ(2)且教員ノ免許状ヲ有セサルモノハ学力及一定ノ例外ヲ除ク外ハ國語ニ通達スルヿヲ証明シ認可ヲ受クルヿヲ要ス

校長又ハ教員ノ認可ヲ得タルモノト虽不相当ト認ムル時ハ既ニ与ヘタル認可ヲ取消スヿアリ

閉鎖ヲ命スル場合

私立学校法令ニ違反シ安寧秩序ヲ害シ其他法ノ規定セル場合ニ当ルトキハ閉鎖ヲ命シ得（私立学校令）

第六章　宗教ニ干スル行政

信教自由ノ原則及之ニ対スル制限ト其範囲

宗教ニ干スル行政ハ信教自由ノ原則ニ基クヲ要ス此原則ハ近来ノ憲法ノ認ムル所ナリ帝國憲法28ニハ(1)安寧秩序ヲ妨ケス及(2)、臣民タル義務ニ反カサル限リニ於テ其自由ヲ保障セリ所謂臣民タル義務トハ臣民臣民トシテ負担スル義務ニシテ臣民ノ義務ト云フニ

I、私憲法ニ於ケル制限

(臣民タル義務)

仝シ臣民ノ義務ハ憲法ノ明定セル兵役ノ義務及納税ノ義務ニ止ラサル云ハスシテ明ナリヘ國家ノ命スル所ハ凡テ之ニ反カス禁スル所ハ凡テ之ヲ犯サヽルハ臣民ノ一般ニ負担セル服従義務ノ結果ナリ故ニ國家一宗教ヲ禁スルトキハ臣民ハ之ヲ奉セサル義務ヲ有スヘク之ヲ國教ト定メ一般ニ信仰ヲ命スルトキハ臣民ハ之ヲ奉スル義務ヲ有ス、而シテ之等ノ義務ニ反カサル限ニ於テ信教ノ自由アリトセハ実ハ信教ノ自由アルニアラス加之若國家信教ノ自由ニ対シ如何ナル制限ヲ加

フルモ臣民ハ其範囲内ニ於テノミ信教ノ自由アリトセハ憲法カ公共ノ安寧秩序ヲ妨ケサルヿヲ以テ信教ノ自由ノ限界トセルハ無用ノ規定トナル

公共ノ安寧秩序ヲ妨ケサルモ國家ハ信教ノ自由ヲ制限シ得トセハ之ヲ妨クル場合ニ信教ノ自由ヲ制限シ得ルハ明言スルヲ要セス、此ノ如ク論スル片ハ憲法信教自由ノ一限界トセル臣民ノ義務トハ広ク臣民ノ服従義務ヲ包含スルニアラス信教ハ干係ヲ离レテ國家公益ノ為一般臣民ニ負ハシメタル義務ヲ云フナリ

而シテ國家特ニ信教上ノ干係ニ於テ臣民ノ自由ヲ制限スルハ安寧秩序ヲ妨害スルヲ防クノ目的ニ出ル場合ニ限ルナリ

II、信教自由ノ範囲

要之信教自由ノ二限界ハ(1)宗教ニ干セサル一般臣民ノ義務及(2)安寧秩序ヲ保持スル目的ヲ以テ特ニ信教ニ対シ加ヘタル制限トナリ此範囲内ニ信教ノ自由ハ存在シ得ルナリ

信教ノ自由ハ心裡ノ信仰ノ自由ニアラス(1)信仰ハ内部心識ノ作用ニシテ法ノ認識シ得ル所ニアラス是元ヨリ國家ノ権力ノ及ハサル所ナレハ特別ノ法文ヲ待タス始ヨリ自由ナリ

(2)又心裡ノ作用ハ元ヨリ安寧秩序ヲ害シ臣民ノ義務ニ反クノ理ナシ内部ノ信仰外部ノ行為不行為ニ現ルニ至リ始メテ安寧秩序ヲ害シ又ハ臣民タル義務ニ反クニ至ル故ニ憲法カ公共ノ安寧秩序ヲ害シ及臣民タルノ義務ニ反カサル限ニ於テ信教自由ヲ認メタルハ単ニ心裡ノ信仰ヲ保護スルニアラス之ヲ外部ノ行為不行為ニ表現スル自由ヲ保障シタルモノナリ

1、単独又ハ家族内ニ宗教上ノ儀式ヲ行フノ自由

信教ノ自由ハ第一ニ礼拝其他宗教上ノ儀式ヲ単独又ハ家族内ニ共仝シテ行フノ自由ヲ含ム之等ノ行為ハ私人ノ生活ノ範囲内ニ属スルモノニシテ公共ノ安寧秩序ヲ害スル恐少ナキモノナレハ全之ヲ自由トスルヲ便トス

2、宗教ノ自由

然レ𪜈信仰教ノ自由ハ(1)又共仝シテ礼拝其他宗教上ノ儀式ヲ行ヒ(2)及仝一ノ宗教ヲ奉スルモノ集テ結社ヲ組織スルノ自由ヲモ包含ス此自由ハ信仰ノ自由ニ対シ之ヲ宗教ノ自由ト称スルヿアリ(Glaubens-und Freiheit ト Religionsfreiheit)

宗教ノ自由ハ常ニ一般ノ集会結社ノ自由中ニ含マレ法律ノ規定ニヨル外之ヲ制限スルヲ得ス然レ𪜈宗教上ノ集会結社ニ対シテハ憲法28ニヨリ臣民タルノ義分ニ反カス安寧秩序ヲ妨ケサル限ハ法律ヲ以テシテモ之ヲ制限スルヲ得ス

3、直接又ハ間接ニ信教ヲ強制セラレサル自由

(3)信教ノ自由ハ直接又ハ間接ニ信教ヲ強制セラレサル自由ヲ云フ(イ)故ニ信教ヲ有セサルモノニ対シ一宗教ヲ奉スルヿヲ強制シ又ハ一宗教ヲ奉スルモノニ対シ他ニ転宗スルヿヲ強制シ若クハ之ヲ拒絶スル如キ直接ノ強制ヲ受ケサルハ勿論(ロ)一宗教ヲ以テ公私ノ権利ヲ請求スル要件トシ又ハ結婚埋葬等自由ノ行為ヲナスノ要件トスル如キ間接ノ制限ニヨリ強制セラルヽヿナシ然シ信教ノ自由ハ必シモ国家国家ノ各教会ニ対スル関係ノ一途ニ出ルヲ要トセス国家ト教会トノ干係ニ付テハ古来歳多ノ制度アリ之等ノ制度中信教自由ノ原則ニ抵触スルモノモ少カラサルモ之ト並行シ得ヘキモノモ一ニ止マラス

口家対宗教ノ干係

国家ノ宗教ニ対スル干係ニヨリ宗教ノ制度ヲ大別スレハ(1)政教一致制(2)政教分離制及(3)教会公認制ノ三トナル

オ一 政教一致制

政教一致制ニ於テハ政治ト宗教ハ機子ヲ呉ニスルモ共全ノ最高機子ヲ有シ共ニ共統轄ヲ受ク此制度ハ二ノ全ク反対セル制度ヲ含ム一ハ教国主義 Kirchenstaat ト称スヘク一ハ国教主義 Staat ト

Kirchenstaat ト称スヘシ歴日史上尤風ヲ発達セシハ国教制度ナレ𪜈此制ハ近来ノ政体ト容レサレハ今日ノ立憲国ニ存セス教国制度ハ独近来ノ政体ト容レサルノミナラス国家ノ最高権ヲ傷クルヲ以テ現今国家ハ之ヲ承認セサレ𪜈宗派中猶固ク之ヲトリ近代ノ国家ニモ実行スルヲ目的ノ一トスルアリローマ教是ナリ

一、口教主義

国教制度ナルモノハ信教ヲ以国家ハ政務ノ一部ト認ムルモノナリ之ヲ認ムル理由ハ(イ)或ハ国家ハ真正ノ教義ヲ拡ムル天職ヲ有ストノ考ニ基キ(ロ)或ハ宗教ヲ以テ人民ヲ教育スル方便ト認メタルニヨルモノアリ其他如何ナル主義ニ本ツクヲ問ハス国家ハ宗教ヲ以テ目的ノ一部トシ其為ニ特別ノ組織及機子ヲ設クルモ之ヲ国家ノ組織及機子ノ一部トス

此ノ如ク国教制ハ宗教ノ正邪ヲ認メ正教ヲ普及セシムルヲ以テ

一、國二三ノ信教ヲ有スルハ純然タル國教主義ニ反スルモノニシテ歴史上一二外教ヲ黙認セル実例アレ𪜈此原則ニ対スル例外タリ故ニ國教制ハ信教ノ自由ヲ認ムル近代立憲國ノ主義ト相容レサルモノアリ

二、教口主義

國教主義ハ教会ニ以テ國家ノ営造物ト認ムルニ反シ教國主義ハ國家ヲ教会ノ営造物ト認ムルナリ ローマ教会ノ主義ニ従ヘハ Church

1、直接主権主義

ハ神ノ創造ニ係リ全世界ヲ統一スル國家ナリ此國家ハ原則上精神界及俗界ノ一切ノ権力ヲ占メ其主長タルモノハローマ法王ナリ唯俗界ノ権力ハ法王自行ハス之ヲ俗界ノ國権ニ委セルノミ然レ𪜈俗界ノ権力ハ元神聖ナルモノニアラサレハ罪ニ陥ルヲ免レントセハ教会ニ従属シ其利益ノ進捗ヲ計ルヲ要ス而シテ教会ハ國家上ニ立ツモノナレハ國家ノ立法其他ノ行為ハ凡テ教会ノ規則ニ従フヘク特ニ國家ハ権力ヲ以テ吳教者ヲ禁スル義務ヲ有ス又君主ト雖𪜈吳教ヲ奉セル𪜈ハ臣民之ニ服従スル義務ナシト是中世ノ教國主義ニシテ所謂直接主権ノ主義ナリ (potestas Directa)

2、間接主権主義

間接主権ノ主義ハ少シク形ヲ変シ俗界ノ権力ハ体用共ニ國家ニスルヲ認ムレ𪜈猶教会ヲ以テ其上ニ立ツモノトシ國家ノ権力教会ノ目的ヲ妨クル𪜈ハ教会ニ強制ノ権アリト主張スルヲ以テ結果ニ於テハ一ナリ

3、政教并行主義

教國主義ハ直接間接何レノ主義ヲトルモ(1)信教ノ自由ト容レサルノミナラス(2)國家ノ最高権ヲ害スルモノタル言ヲ待タス此第二ノ結果ヲ避ケ仝時ニローマ教会ノ地位ヲ維持スル為所謂政教並行主義 Coordinatio Theoriae ヲ唱フルモノアリ其旨趣ハ國家ハ俗分ニ教会ハ宗教ニ于シ各特別ノ区域ヲ有ス其内ニ於テ各最高権ヲ有ス國家ハ宗教ノ事務ニ于シ教会ノ権限ヲ犯スヲ得ス教会ハ政務ニ于シ國家ノ権限ヲ犯スヲ得スト云フニアリ然レ𪜈是最高権ノ不可分ナル性質ニ反スルモノニシテ今日ノ國家ノ認ムヘカラサルヿ明ナリ要スルニ教國主義ハ何レノ形ヲ以テスルモ近時ノ政体ニ反スルモノナレ𪜈欧州諸國ハ今日ニ於テモ猶此主権ニ対シ自己ノ最高権ヲ防衛セサルヘカラサル地位ニアリ教会ノ

目的如何ニ拘ハラス外形上一結社タルニ過キサル故ニ他ノ結社ト全ク同一ニ論ヲ要セス而シテ國家内ニ於ケル教会ノ地位ハ一ニ國家ノ定ムル所如何ニアリ而シテ國教主義及教國主義ハ近来ノ國家ノ主義ト容レサルヲ以テ今日ノ國家ニ於テハ政教分離制ヲ採ルカ宗教公認ノ制ヲ採ルカ又ハ其中間ノ制ヲ採ルカ等ハ一ニ其國ノ歴史上ノ事情ニ基ク外ナシ

第二、政教分離制

(米國) 合衆國ニ於テハ信教ノ自由ハ本来ノ人権ニ属スルモノニアラスト雖モ國家ハ始ヨリ宗教ニ対シ正邪ノ判断ヲ下スヘキモノニアラサレハ一ノ宗教ヲ保護シテ公認ノ宗教トシ他ノ宗教ハ単ニ認容スルニ止マハ憲法ノ主義ニ反スルモノニアラス

此一般原則ニ本キ米國ニ於テハ第一ニ人民ノ権利ハ全ク教如何ニ関セス第二ニ如何ナル信教ニ対シテモ國家之ニ特権ヲ予ヘス又ハ公認セサルモノトスルヲ得ス第三ニ何人モ信教ノ為ニ罰セラルヽコトナシ

第四ニ何人モ他ノ宗教ノ為ニ税ヲ徴収セラルヽコトナシ此ノ如ク原則トシテ政教分離制ヲ用ユルモ絶対完全ニ此主義ヲ貫ケルニアラス

(白耳義) 白モ亦政教分離主義ヲトリ曰ク何人モ之ヲ守ルノ義務ナキモ一方ニ於テ僧侶ニ國庫ヨリ俸給ヲ給セリ伊太利モ此主義ヲ以テ統一ノ綱領トセレモ特別ノ友情ニヨリ之ヲ貫ク克ハス現行制度ハ寧ロ政教並行制ニ近シ

第三、宗教公認制

此ノ如ク欧米諸國ハ政教分離主義ヲトラントスルモノアルニ係ラス歴史上教会ト國家間ニ不可分ノ干係アル為何レニ於テモ厳ニ之ヲ貫ク克ハス多数ノ諸國ハ今日猶宗教公認制ヲ有ス(独、英、佛、等)

(独乙) 独乙諸國ニ於テハ宗教上ノ結社ハ皆全一ノ地位ヲ有セス之ヲ分テ

三種ノ宗教上ノ結社

三種トス

第一ハ國家公認セル宗教上ノ結社 Anerkannte Religions-Gesellschaften ニシテ所謂公法上ハ団体ト認メラルヽモノナリ此ノ種ノ結社ハ数多ノ特権ヲ有スルト共ニ國家ノ特別ノ監督ヲ受ク

第二ハ公認セラレタルモノヽ外ニ宗教上ノ結社中法人タル資格ヲ有スルモノナリ

第三ハ公認セラレサル教会中法人資格ヲ有セサルモノナリ

公認教会

公認教会ハ Roma 教ト Evangelik 教ト我邦ニ於テハ猶太数 (Baden, Würtenberg) ナリ

I、特権

公認教会ノ特権ノ主タルハ左ノ如シ

一、教会ハ教会トシテ一ニ特権ヲ有ス例ヘハ(イ)教会ノ費用ニ充ツル為メ補助ヲ受ケ又(ロ)数多ノ國ニ於テ公認教会ハ議会ニ議員ヲ出スノ类ナリ

二、國家ハ公認教会ノ宗教ニ于スル制度ヲ以テ國家ノ制度ハ一部トスルト往々アリ例ヘハ(イ)國会ノ開会ニ其儀式ニヨリ礼拝ヲ行ヒ或ハ(ロ)兵営救貧院監獄等ニ其礼拝堂ヲ設ケ又(ハ)其祝祭日ハ刑法ノ規定ニヨリ其遵守ヲ命ス其他諸種法制ニ参酌ス(ニ)又小学校ニ於テ其教義ヲ課目ニ加ヘ教会ハ宗教ノ教育ニ参与ス又(ホ)大学ニ於テハ公認教会ノ僧侶ヲ養成スル為神学科ヲ設ク

三、國家ハ公認教会ノ為ニ其権力ヲ用ユ例ヘハ(イ)教会ノ課セル租税ヲ強制シテ徴収シ(ロ)其他権力ヲ以テ教会ノ命令ヲ執行スルヿアリ

四、公認教会ノ僧侶ハ國家ノ官吏ニ準ジテ待遇シ其他数多ノ特権ヲ有ス例ヘハ兵役免除証人陪審義务ノ免除僧侶及教会ノ所有地ノ租税ノ免除ノ如シ

II 國家ノ監督

公認教会ハ以上ノ特種権ヲ有スルモ一方ニ於テハ特別ノ監督ヲ受ク其方法及程度ハローマ教ト新教間ニ大ニ異ナル所アリ而シテ國家ノ宗教トノ于係ヲ定ムル尤困難セルハ前者ナリ

イ 対ローマ教

ローマ教会ニ対スル于係ヲ定ムルニハ或ハ(イ)約束ニヨル下アリ或ハ(ロ)

ロ 制限ノ形式

國家ハ立法ニヨル下アリ

約束ノ性質

約束ハ國家ト教会トノ于係ニ付國家トローマ法王間ニ結ブル約

于文法令論　十三

束ニシテローマ教会ニ於テハ之ヲ教会カ國家ニ与フル特許ナリト認ム（Privilegiumtheorie）、所謂政教並行説ヲ主張スルモノハ一種ノ条約ト見ナス然レ𪜈今日ノ國家ハ教会上ニ立ツ之ト対等ノ地位ヲ立ツニアラサレハ特許説ハ勿論条約説（Verbragstheorie）亦今日ニ認ムヘカラサル明ナリ故ニ國家ト法王トノ約束ハ外形上条約ニ类スルモ実ハ条約ノ性質ヲ有セス単ニ國法トシテ効力ヲ有スルノミ故ニ其性質ニ付テハ國法説（Legaltheorie）ニヨリ説明スルノ外ナシ故ニ此約束ハ法律上國家ヲ羈束スル効力ナク國家ハ立法ニヨリ之ヲ変更スルヲ得（キモノニシテ又其実例少カラス此ノ如ク國家ト法王トノ約束ハ実際國家ヲ羈束スル効ナキノミナラス國家ノ上ニ立ツモノナリト自信セル教会ト教会ヲ以テ國家内ノ一結社ト認ムル國家トノ間ニ一致ヲ生スルノ難キハ言ヲ待タス故ニ近時諸國ハ傾向ハ此手段ニヨラス專ラ各國ノ立法ニヨリ其干係ヲ定ムルニアリ

三、制限ノ内容

國家ローマ教会ニ対シ加ヘタル制限主トシテ左ノ如シ

ノ命令ヲ認可スル権（Placet）ハ教会ノ発スル命令ヲ審査シ其ノ発布ヲ認可スル権ヲ云フ、認可ハ教会ノ命令國家ノ法ニ背反シ又ハ公害益ヲ害スルヿナキヤヲ審査スルヲ目的トスルモノニシテ此ノ制ハ今日尚（Baden）ニ行ハル然レ𪜈教会ノ命令ハ本来宗教ノ教義ニ干スヘク國家之ヲ認可不認可スルハ教義ニ干渉スル嫌アルノミナラス実際ノ効果少ナキヲ以テ近時ノ立法ハ此権ヲ認メサルモノヲ多シ現ニ（Preussen）ハ全此制ヲ廃セリ然レ𪜈多数國ハ折衷主義ヲトリ教会ノ命令ハ凡テ政府ニ報告スルヲ要スルモ其認可ヲ要スルニハ命令ノ実質俗叟ニ干係スル場合ニ限ルトス

2、僧職ノ設置及任免ニ干スル権、(1)僧職ヲ設置変更スルハ國家ノ認可ヲ要ス(2)僧職ハ任命ニ干シテハ國家ハ(イ)第一ニ其一般ノ要件ヲ定ムルヲ得之等ノ要件ハ独乙ニ國籍ヲ有スルヿ（普、Wirtemberg、Baden、Hessen等）及相当ノ教育ヲ受ケタルヿ、(ロ)國家ハ又或種ノ人ニ対シ任命ニ故障ヲ申立ツル権ヲ有ス、(C)又教会ヲ其任命ヲ國家ニ報告スル義务ヲ有ス、就中僧正ノ如キ重要ノ僧職ハ政府之ヲ任命シ若クハ其非認セサルモノニ限リ撰挙スルヲ得ト定ムルモノアリ七十年

代ノ立法ニヨレハ國家ハ國法ヲ犯シタルモノニ対シ僧職ヲ剥奪シ又ハ将来之ニ就クヲ禁スルヲ得トノ規定ヲ設ケシヿアルモ今ハ之ヲ廢シ只タ公権喪先者ニハ僧職喪失アルヿトス

3、國家ハ教会ノ行政ニ対シ監督権ヲ有ス例ヘハ教会ノ懲戒権ニ対スル監督僧侶養成所ニ対スルモノ教会ノ経済ニ于スルモノ等ナリ

4、教会ノ所分ニ対スル訴願 Rekurans of abusus 各何人教会ノ所分ニ不服アルトキハ國家ニ訴願スルヲ得 Sachsen Bayern Wirtenberg 等ハ元首又ハ高等ノ官廳此訴願ヲ文決ス Evangerik 教会ハ之ト異リ元首ヲ首長トスレハ其関係自ラ異レリ

2、対新教

(1)教会ノ発スル教則ニシテ元首ノ発スルモノニ付テハ Placet ナキモ教会ノ行政ニ付テハ往々國家機子ノ参与ヲ要ス(例ヘハ僧職ノ任命ハ大臣ノ副署ヲ要シ寺則ノ裁可前ニ内閣ノ吳議ヲ確ムル等)

(2)元首ハ親文ニ属セサル教会ノ行政ニ付テハ國家ノ之ニ対スル干係ハローマ教会トノ干係ト畧仝シ

(非公認教会)

公認教会以外ノ宗教上ノ結社ハ(イ)國ニヨリ全自由ナルアリ又(ロ)今日ニ於テモ猶設立ニ認可ヲ要スルモノアリ之等ノ宗教上ノ結社ハ一般ノ結社ト仝一ノ法規ニヨリ支配セラルヽモ唯其特ニ法人権ヲ予ヘタルモノハ独リ財産上ノ干係ニ付テノミナラス刑法規定ニヨリ特別ノ保護ヲ受ケ其他一二ノ特権ヲ有ス

(仏口)

仏國ニ於テモ(1)公認教会ト(2)他ノ教会ヲ区別シ公認教会ノ外ハ一般ノ集会結社ニ于スル法ヲ適用ス

公認教会ハ多少ノ特権ヲ有シ又特別ノ監督ヲ受ク其干係ハ独乙ノ公認教会ノ國家ニ対スル干係ニ类ス(1)殊ニ國家ハ教会ノ命令ヲ認可スル権ヲ有ス又(2)僧職ノ任命ニ付認可ノ権ヲ有ス又(3)新旧二教ノ増職ニアルモノヲ仏國人ニ限ルハ独乙ト仝シ然レ𪜈仏ニアリテハ公認教会ハ全体トシテ法人ノ資格ヲ有セス只之ニ属スル或社団又ハ財団ニ限リ之ヲ有ス(例ヘハローマ教ノ最下級ノ寺区ヲ維持スル為ノ財団新教ハ最下級及中等ノ団体)

仏國ノ制度ニ特ニ発達セルハ職権濫用訴願ノ制度ナリ、此訴願ハ刑

法ノ規定ノ外公認教会ニ対シ國家ノ監督権ヲ実行スル手段ニシテ
(ハ)僧侶職権ヲ濫用シ國家ノ行政ノ区域ヲ犯シ或ハ法令又ハ教則ヲ
破リ又ハ教会ノ儀式ヲ行フニ当リ人民ノ忿怒ヲ害シ其信仰ヲ乱シ又
ハ公衆ノ嫌悪厭悪ヲ起スヘキ所為アリタルトキ授起ニ係ル訴願ナリ又(ニ)
教会ノ儀式ノ執行ヲ妨ケ教旨ノ自由ヲ犯シタルトキハ教会ヨリ官
庁ニ対シ之ヲ起スヲ得
此訴願ハ干係者又ハ地方長官ヨリ枢密院ニ起スモノナルモ行政訴訟
ノ性質ヲ有セス枢密院ノ総会ニ議決シ大統領之ニ本キ命ヲ発
スル(猶公認教会ノ僧職ハ國家俸給ヲ給スルハ矣シサル矣ナリ)

(ロ)
美國モ亦宗教公認制ヲ有スルモ國家ノ教会ニ対スル干係ハ二層親
密ニシテ教会ノ制度ハ國家ノ制度ノ一部ナリトノ考今日ニモ存セリ
國王ハ教会ノ首長ニシテ僧職ノ主タルハ國王之ヲ任命シ教会ノ総会
ハ國王之ヲ招集ス
教会教則ヲ発スル場合ニ於テ其教則僧俗ニ対シ等シク及フヘキモノ
ナルトキハ國会ノ議決ヲ経法律トシテ発布スルカ又ハ教会ノ発布セン

教則ヲ國会ニ於テ承認スルヲ要ス
僧侶ニ対シテ効力ヲ有スヘキ教則ハ國会ノ全意ヲ要セサルモ國王ヨリ
制定ノ認可ヲ得ルヲ要ス又発布ノ認可ヲ要ス

(Sohm, Kirchenrecht, S. 88 Schoen, Staatsrecht des Deutschen Reiches, S. 88 Dicey, Law of the Constitution, 8th ed. p. 87 Burgess, Political Science and Comparative Constitutional Law, Vol. II, p. 307)

我現行制度

教会ノ処分ニ対スル不服ハ結局枢密院ノ司法委員之ヲ決ス

現行制度ニ付テ國家ト教会トノ干係ヲ見ルニ所謂宗教分離ノ制
度ニ近キカ如シ、現行法ハ極メテ不完全ニシテ概ネ違、不違ノ実
ヨリ九ハ主トシテ一八七七年太政官十九号布達ナリ之ニヨレハ神仏二教
ニ属スル各派各宗ノ内部ニ属スルモノハ宗派ノ自治ニ任シ各宗派若
シ又ハ數宗派連合シテ管長ヲ置ク國家ハ各宗派ニ対シテハ之ノ権力ヲ
有スル

改体監督

(イ)教規宗制並ノ規則ヲ認可スル権
(ロ)管長ヲ認可スル権
(ハ)僧侶教師ノ進退ハ管長ノ権ニ属スルモ其処分ニ不服アルモノハ内務
大臣ニ監督上ノ所分ヲ求ムルヲ得

各宗派ハ公法上ノ法人ニハアラス

(4) 宗派ノ分合ハ結局内務大臣ノ認可ヲ要ス

上述ハ國家ノ神仏ノ教派ニ対スル監督権行使ノ主タル方法ナリ此ノ如ク神仏二教ニ対シテハ國家ハ之ヲ公認シ特別法規ニヨリ特別ノ監督ヲ行フモ各宗派ヲ以テ公法上ノ法人ト見ナスハ誤ナリ、公法上ノ法人ハ國家ノ事務ヲ以テ生存ノ目的トスルモノナリ、宗派ノ目的ハ信教自由ノ今日ハ國家ノ政務ト認ムヘカラス故ニ國家教会ニ対シ特別ノ監督ヲ行フハ其社会ニ於ケル重要ノ勢力ニシテ一般ノ結社ト全視シカタキ理由アルタメニシテ決シテ國家ノ機干タル為ニアラス

(神社寺院ノ別)

社寺ノ性質ニ付テハ神社ト寺院ヲ区別スルヲ要ス、寺院ハ全宗教上ノ結社ニ属スルモノニシテ其干係ハ各宗派ノ宗制ニ定メラル反之神社ハ全宗教トノ干係ヲ離レ少ク比其一部ハ國家ノ営造物ト認ムヘキモノナリ

II、其他ノ宗教

法規ノ存スルモノナシ人民各自其信仰ニ従ヒ何々又ハ家族共全シ礼拝其他宗教上ノ儀式ヲ行フヿ自由ナリ、宗教上ノ集会及結社ニ于シテモ神仏二教ノ外ハ集会結社ノ一般規定ニ従フノミニシテ特別制限ヲ受ケス例ヘハ宗教ニ于スル集会ハ又ハ結社安寧秩序ニ妨碍アリト認ムル時ハ当該官ハ集会政社法ニヨリ其集会ヲ解散シ又ハ結社ヲ禁止スルヿヲ得

第七章　貨幣制度

貨幣ノ二様ノ意義

貨幣ハ二様ノ意義ヲ有ス経済上ノ意味ト法律上ノ味意トナリ

(1) 経済上ノ意味ニ於テハ貨幣ハ実際債務ヲ弁済スル方法トシテ通用スルモノヲ云フ

(2) 法律上ノ意味ニ於テハ法律上金銭債務ノ弁済ノ方法トシテ認メラルヽモノヲ云フ、法律上ノ貨幣ヲ提供セハ金銭ノ債務ハ弁済セラルヽナリ、法貨ニ非ル貨幣ヲ以テ弁済スル場合モ実際之ナシトセス此ノ如キ貨幣ハ実際広ク流通シ経済上ノ交通ノ媒介タレハ経済上ノ意味ニ於テハ貨幣ト云フヲ得故ニ法律上ノ貨幣ハ皆経済上ニ於テモ貨幣ナレ比経済上ニ於テハ貨幣ハ必スシモ皆法律上ノ貨幣ニアラス

法貨タルノ性質ハ法ノ金銭債務ノ弁済方法ニ認メタルヿニヨリ生ス故ニ國家自ラ貨幣ヲ製造スルヿハ必スシモ貨幣ノ観念ノ要素ニアラス

貨幣ニ対スル國権ノ発動

外國ノ貨幣ヲ以テ一國ノ貨幣ト認ムルモ可ナリ
貨幣ノ鑄造ハ純然タル技術的ノ働ニシテ國權ノ行動ニアラス反之貨幣
ニ法律上貨幣タル性質ヲ予フルハ法規ノ作用ニヨリ國權ノ発動ナリ國家

1、貨幣ニ法貨タル性質ヲ予フルコト

ノ外貨幣ニ法貨タル性質ヲ予フルモノナシ貨幣タル性質ハ國家自製造
スルコトヲ必要トセサルト仝シク國家自ラ製造セルモノト雖モ皆貨幣ニアラス
此事実ハ國家ノ製造シタル貨幣ノ通用ヲ廃止シタル場合ニ屢生ス

2、貨幣ノ廃止

國家ハ債務ノ弁済ノ方法ト認ムルニヨリ貨幣ノ性質ヲ予ヘ得ルト仝
ク将来其方法ト認メサルノ一事ニヨリ貨幣ノ性質ヲ奪フヲ得、是即チ

通用ノ禁止ト仝物ニアラス

貨幣ノ廃止ナリ然レ氏之ト通用ノ禁止トハ仝義ニアラス故ニ廃止セラレ
タル貨幣ハ法律上貨幣タル性質ヲ失フモ経済上ノ貨幣トシテハ依
然交通ノ媒介ヲナスヲ得、経済上ノ貨幣ハ國權ノ働ニヨラス単ニ交通ノ
媒介トシテ通用スルノ事実ニヨリ存在スルモノナリ然レ氏國家ハ或物品ノ
貨幣トシテ通用スルヲ禁スルヲ得而シテ通用ノ禁止ハ往々貨幣ノ
廃止ト仝時ニ之ヲ命スルコトアリ

貨幣ノ類別

貨幣ノ性質ハ法規ノ作用ニヨリ定ムルハ前述ノ如シ故ニ質ノ如何ハ

1、硬貨ト紙幣

貨幣タル性質ニテ係ナシ、然レ氏経済上ノ理由ニヨリ近来ノ諸國ノ貨
幣ハ硬貨紙幣ノ二種ナリ

2、本位貨幣ト補助貨幣

貨幣ヲ分テ二種トス本位貨幣ト補助貨幣ナリ
本位貨幣ハ無制限ニ法貨タル性質ヲ有ス補助貨幣ハ一定制限内ニ於
テノミ之ヲ有ス之ヲ越ヘテ交通ノ用ニ供スルコトハ敢テ法ノ禁スル所ニアラス
唯制限外ニ於テハ債權者之ヲ拒ミ得ルノミ

3、國家カ貨幣ヲ製造スル場合ノ二行為

國家カ貨幣ヲ製造スルハ貨幣ノ観念ニ必要ナキ前述ノ如シ係ニ近
代諸國殊ニ我國ニ於テハ貨幣ノ製造及発行ノ權ハ國家ニ属スルヲ例
トス國家自ラ之ヲ製造スルコトハ二種ノ行為ヲ含ム(1)ハ全ク技術的ノ作為
ニシテ少シモ國權ノ働ヲ要セス(2)ハ貨幣ノ真正ナルコトヲ公ニ証明スルモノナ
リ、技術的ノ作為ハ私人鑄造スルモ差ナシ反之真正ナルコトヲ証明スルハ國權
ノ働ナリ私人若國家ノ製造シタル貨幣ヲ模造セハ独他ノ私人ノ財産
上ノ利益ヲ害スルノミナラス國權ノ行動ヲ妨害スルモノナリ

公差

上述ノ如ク國家ハ貨幣カ真正ニシテ法規ノ定ムル所ニ適合セルコトヲ公
ニ証明スレ氏各個ノ貨幣カ少モ異ル所ナク完全ニ法ノ規定ニ適合スル

ハ技術上望ム可ラス故ニ成分ノ割合及重量ニ於テ法定ニ遠ア
技術上避ケカラサル変ト
又、此ノ如キ差違ニシテ法カ初ヨリ貨幣ノ真正ナルモノヲ
モノヲ公差ト云フ

通用最軽量目

貨幣ハ又流通ニ因リ磨損スルハ性質上不可免故ニ永久ニ法定ノ量ヲ保
ツヲ望ムヘカラス故ニ一定ノ限度ヲ
要ス此限度ヲ通用最軽量目ト
第八章　度量衡ノ制度

度量衡ノ制度ハ(ハ)度量衡ノ名称及其定義ニ
関スル規定ヨリナル部ハ(ロ)度量器ニ
度量器ニ関スル規定ヨリナル部ハ(ハ)
度量衡ノ名称及其定義ニ関スル規定ヨリナル部ハ(ロ)
度量器ニ関スル規定ヨリナル部ハ(ハ)

度量衡ノ名称及ヒ其定義ニ関スル規定ノ効果ト其効果

度量衡ノ名称及其定義ハ本来必シモ法規ヲ以テ定ムヘキモノニアラサレハ
国家法規ヲ以テ之ヲ定ムルヲ可トス此ノ如キ場合ニ於テハ又ハ私人ハ其法律行為ヲナスニ当リ度量
用ユヘキニアラス、然レハ国家ニ於テ一般ニ一制度ヲ公認スル以上ハ国家ヲ始メ公ノ行為
ニ於テハ其定ムル所ニヨルヲ要ス然シ尾他ノ法律ニ於テ度量衡法ト異
ヒルモノヲ用ユルヲ妨ケサルハ勿論ナリ

(ハ)他ノ法律其他ノ国家ノ行為又ハ私人ノ法律上ノ行為ヲナスニ当リ度量
衡ノ名称ヲ用ユルハ此名称ニ別段ノ意味ヲ附スルヲ明ナラサルハ度
量衡法ノ定ムル意ニ用ヒタリト定ムルヲスンハアラス故ニ度量衡ニ関スル

度量衡器ノ製造及検定

(ハ)度量衡器ノ製造ハ貨幣ノ製造ト全ク本来技術的ノ作為ニシ
テ国権ノ発動ニアラス故ニ必スシモ性質上之ヲ国家ノ支業トスル
必要ナシ現ニ我現行法モ其製作販売ハ私人ノ支業トセリ
(ロ)然シ度量衡器ハ必官厳ノ検定ヲ受クルヲ要ス、検定未了未支
実上ノ働力ナレモ検定ニ合格セルモノニハ証印ヲ付シ又ハ証書ヲ附ス此証
印又ハ証書ハ度量衡法ノ規定ニ合セルヲ公ニ証明スルモノニシテ恰モ
貨幣ノ鋳造ニ国家共奥正ナルヲ証明スルト全ク国権ノ発動ナリ

第九章　郵便及電信

郵便電信ノ支業ハ公共ノ営造物ニヨリ之ヲ行フヲ得此場合ニハ
郵便電信ノ営造物ヲ使用スルモノハ任意ニ特別ノ服従ノ義務ヲ負フ

郵便電信支業ノ主義

一、國家公共ノ營造物ニヨリテ行フ

モノニシテ私人ト營造物トハ干係ハ公法上ハ干係ナリ
郵便電信ニ干スル規則ハ此場合ニハ特別ノ權力干係ニ基ケル命令ハ性
質ヲ有ス私人カ此命令ニ服従スル義務ヲ有スルハ任意ニ營造物ヲ使
用スルノ事實ニ本ツクモノナリ此點ニ於テ郵便電信ニ干スル規則ハ一般法規

二、私人ノ經營ニ任ス

ト性質ヲ異ニス然レ氏此等ノ事業ハ本來必スシモ命令權ノ作用ヲ要スル
ニアラサレハ或ハ之ヲ私人ノ經營ニ任スモ可ナリ又今國家國家ノ事業

三、國家官業トシテ行フ

トシテ經營スルト私人ヲシテナスト全ク一種ノ營業トシテ經營スルモ亦タ性
質ニ反スルコトナシ
國家公共ノ營造物トシテ特別ノ權力ニヨリ此事業ヲ行フカ又ハ官業ト
シテ之ヲ經營スルカハ立法ノ問題ニ屬ス
官業トシテ經營スル場合ニ於テハ私人ト國家トノ干係ハ凡テ契約ニヨリ
テ定ルモノナリ私人郵便電便ヲ利用スル時ハ毎回國家ト契約ヲ締結
スルナリ此ノ如ク官業トシテ此事業ヲ行フ場合ニハ私人ト國家ノ干
係ハ私法上ノ干係ナレハ私人郵便電信ヲ利用スルニ當リ契約ノ條件
ヲ定ムルハ本來自由ナリ然レ氏毎回之ヲ定ルハ事實ノ許サヽル所ナレハ

預メ一般規定ヲ設ケ各何ノ場合ニ於テ契約ハ條件ヲ定ムルノ繁ヲ
避クルハ避ク可カラサル所ナリ然レ氏此種類ノ規定ハ本來臣民ニ對シ
命令スルモノニアラス契約ノ條件ヲ預定スルモノナレハ必スシモ法律
ヲ以テ定ルヲ要セス併シ是等ノ規定ハ官廳ニ對シテハ覊束ノ効力
アレハ各何ノ場合ニ反對ノ條件ヲ定ル權限ハ官廳ニ存在セス

郵便電信ニ干スル規定ノ三種

郵便電信ニ干スル規定ハ上述ノ如ク必スシモ法律ヲ以テスルヲ要セサ
レ氏法律ヲ以テ定ムル時ハ(1)契約ノ條件ヲ預定スル外(2)仝時ニ普通
ノ私法ト異レル特別法規ヲ設クルヲ得故ニ官業トシテ郵便電信
ノ事業ヲ營ム場合ニ於テモ之ニ干スル規定ハ必スシモ單ニ契約ノ條
件ヲ定ムルモノミナラス或ハ特別ノ私法タル性質ヲ有スルモノアリ或
ハ(3)純然タル公法上ノ規定ニ屬スルモノモアリ

現行法及其公法上ノ規定ヲ主ナルモノ

現行法ノ規定ニヨレハ郵便電信ノ事業ハ官業トシテ營メルモノヽ如シ然
レ氏現行法規定中契約ノ内容ヲ定メ又ハ普通ノ私法外ノ特別ノ法規
ヲ設クルモノハ茲ニ論スル必要ナシ唯公法上ノ規定ノ主ナルモノニ付少シ
ク説明セン

(ハ)郵便電信ノ施設ハ内國ニ於テハ國家ノ專ニスル所ニシテ一二ノ例外ヲ除ク外ハ信状ノ送達ヲ営業トスルハ勿論然ラサルモ郵便ニヨラス之ヲ送達スルハ法ノ禁ス所ナリ電信ニモ全様ナリ

(ニ)國家ハ郵便電信ノ事業ノ為公用徴収ニ類似スル一種ノ権利ヲ有ス即私有ノ船車ニ托シ郵便物ヲ送達スルヲ得ス電信ニ付テモ類似ノ規定アリ

(ホ)郵便電信ノ支務ヲ奉スルモノハ通信ノ秘密ヲ守ル義務ヲ有ス信書ノ秘密ニ付テハ二説アリ

(甲)多数説ニヨレハ唯ニ信書ノ実質ノミナラス通信ニ干スル一切ノ事実ハ皆秘密ノ範圍内ニ属ス故ニ何人ヨリ信書ヲ受ケシヤヲ他人ニ知ラシムルモ亦信書ノ秘密ヲ犯セルモノナリ

(乙)他ノ説ニヨレハ信書ノ秘密ハ單ニ信書ノ実質ニ干ス其他ノ事実ヲ漏ス

秘密ヲ守ル義務ノ結果ニシテ信書ノ現行ノ郵便条例モ已ニ属セサル郵便物ヲ開封シタル場合ニ罰則ヲ設ケリ電信条例ハ全様ノ場合及電信事務ニ干シ知リ得タル事実ヲ他ノ官庁ニ報告スル如キ是等ノ事実ヲ漏洩セルモノトスルヲ以テ是亦信書ノ秘密ヲ漏泄セルモノトスルヲ得スト雖モ法律ノ特別ノ規定アル場合ノ外ハ官吏ノ秘密ヲ漏泄スルモノトス(カラス)

第十章 鉄道

鉄道事業ノ主義

鉄道ノ支業ハ郵便電信ト全ク(1)國家公共ノ営造物ニヨリテ之ヲ行フヲ通例トス(2)又官業トシテ之ヲ経営スルヲ通例トス(3)又私人ノ経営ニ任スルモ亦之ヲ許サヽルヲ得ス

(現行法)

現行法ハ我カ國家ノ事業ハ現ニ國家ノ事業ニ属スルモノアリ又将来之ヲ属セシムヘキモノアリ而シテ郵便電信ノ事業ハ立法ノ問題トシテ悉ク國家ノ事業ニ属スルモノアリ又鉄道ハ官設ニ力ニルアリ私設ニ力ニルアリ私設ノ鉄道ハ線路ノ如キ特別ノ法律ニヨリ政府ニ権限ヲ与ヘタル場合ノ外私設鉄道ヲ許サヽルヲ得ス

鉄道ニ干スル法規

官設鉄道ノ布設ハ本来単ニ技術上ノ作為ニシテ法律上ノ干係ナキモノナリ鉄道布設法ノ規定ハ主トシテ鉄道ノ布設ニ干スル国家ノ将来ノ計画ヲ定メタルモノニシテ臣民ニ対シ効力ヲ有スル法規ニアラス

二、鉄道布設法

五、私設鉄道ト国家トノ干係

私設鉄道ノ(1)布設及営業ノ開始ハ国家ノ許可ヲ受クルヲ要ス(2)其他鉄道会社ハ国家ニ対シ諸種ノ義務ヲ負担ス(3)殊ニ一定ノ期限后ハ政府ハ鉄道及附属物件ヲ買上ケルヲ得

鉄道ト公衆トノ干係ニ付テハ郵便電信ニ付述ヘシト全ク国家カ公共ノ営造物トシテ之ヲ施設スル時ハ公法上ノ干係ニ属シ官業トシテ経営スル時ハ私法上ノ干係ニ属ス

四、鉄道警察ニ干スル規定

現行法ハ郵便電信ト全ク鉄道ノ事業モ官業トシテ経営セルモノハ如ク従テ鉄道ニ干スル規定ハ概特別ノ私法ノ性質ヲ有スルモノト認メスンハアラス、其他鉄道ニ干シテハ犯則者自身ニ対スル危険ヲ豫防シ又ハ他ノ乗客ヲ保護シ又ハ列車内ノ秩序ヲ保チ又ハ鉄道ニ対スル障害ヲ防ク等ノ目的ニヨリ鉄道警察ニ干スル諸種ノ規定アリ

軌道

馬車鉄道其他之ニ準スヘキ軌道ハ特別ノ法律ノ支配ヲ受ク鉄道ト軌道トハ、区別ハ動力ノ区別ニアラス二者ノ区別ハ公共道路上ニ布設スルト否トニヨリテ生ス軌道ハ之ヲ現在ノ公共道路上ニモ布設シ得又軌道布設ノ為新ニ其敷地ヲ設クル時ハ当然之ヲ道路ニ編入ス此ノ如ク軌道ト鉄道トハ道路トノ干係ニ付異ル所アレハ従テ官庁ノ権限ノ分配モ其性質ハ差違ヨリ軌道ハ公共道路ニ干スル行政ヲ司ル官庁ニ於テ之ヲ管掌ス

第十一章 道路

公道私道

道路ハ公道及私道ノ二種トス、公道ハ公衆ノ交通ノ目的ニ供セル道路ヲ云フ、私道ハ特ニ使用ノ権ヲ有スルモノニ限リ使用スルヲ得ヘキ道路ナリ、私道ノ干係ハ私法上ノ干係ナレハ茲ニ論スヘキモノニアラス

公道タルノ性質ハ必スシモ其地盤ノ所有権ニ干係ナシ国ニヨリテハ公道ハ他ノ公有物ト全ク私人ノ所有ニ属スルヲ得ストスル制ヲ採レリ(仏)、然レ氏独乙及我国現行法ニヨレハ官有地上ニモ私道存スルヿアリ公道ノ敷地ニモ私人ノ所有権ノ存スルヿアリ

公道ニ干スル行政行為

何レニセヨ公道タル性質ハ(1)公道ニ編入スル行政行為ニヨリ定ル、公道

公道ノ区別

ハ廃止モ亦(2)公道ヲ廃止スルノ行政行為ニヨリ定ル

現行法ハ公道ヲ分テ(1)國、(2)府縣、(3)里道ノ三種トス此区別ハ構造等ニ于スル差アルノミニテ法律上ノ差アルニアラス殊ニ此区別ハ費用ノ負担ト何等ノ干係ヲ有セス

道路ノ費用

道路ニ于スル費用ハ凡テ府縣以下ノ団体ニ属スレ𪜈是等ノ団体間ニ於ケル負担ノ分配如何ハ旧慣ニヨルモノニシテ一定ノ法規ナシ

本年提出ノ道路法案ノ大要ヲ説カンニ仝法ハ主トシテ公共道路ニ于ス、公共ノ用ニ供スルト云フ國家ノ意思ノ表示ニヨリ公共道路ヲ定ム、行政廳此意思ノ表示ヲナス即公共道路ノ認定ナリ、此認定ニ於テハ道路ノ区域如何ナル所ニ及フカノ認定ヲモ含ム

道路ノ種類ハ國道府縣道郡道市道及町村道ノ五種トス外ニ私設公道ヲ認ムルヤ否ハ問題ナリ是亦公共道路ノ一種ナリ然ラハ公ノ行政ノ目的ニ供セラルヽモノナレハ原則ヨリセハ國家又ハ其機干タル公共団体修築維持ヲ負担シテ之ヲ管理スヘキモノナリ然ルニ私人之ヲ修築管理セントス此ノ如キ道路ヲ設クル必要アリヤ之ヲ理論ヨリセハ私人ヲシテ之ヲナサシムルハ私人ヲ國家ノ機干トシテ用ルヿナリ私人私人トシテ自己ノ利益ノ為ニ國家ノ行行政ヲ行フハ変則ナリ此ノ如キ変則ヲ認ムル必要アリヤ否果シテ其目的ヲ達スヘキカ否独乙ニハ従来私人ノ道路アレ𪜈漸次減少シ今日ハ公共通路トシテ存スルモノ少シ我國ノ実況ハ如何私道ニシテ公衆之ヲ使用スルハ時ニ之ヲ見レ𪜈寧稀ナルモノナリ之ヲ私設公道ト認ムル必要アリヤ之ヲ認ムル時ハ所有者ノ自由ヲ制限スルヲ以テ勢賠償ヲ与フルヲ要ス之レ云フヿクシテ行フヘカラサルモノナリ且所有者ハ反テ公共ノ道路トメラレンヿヲ恐レテ之ヲ廃スルヿアルヘシ故ニ一切ノ私設道路ヲ悉公道ト認ムルハ不能ノ事ニ属ス然ラハ之ヲ認メントスルハ寧不必要ナルモノナリト信ス

如何ナル道路カ以上ノ五種ニ属スルカハ従来ノ慣習等ニヨリ一定ノ条件ヲ設ケテ行政廳ヲシテ認定セシム

公共道路ニシテ以上五種中國府縣道郡道ニ属セサルモノハ市道又ハ町村道ナリ

道路ノ築造ニ第一ニ必要ナルハ道路築造ノ義務ヲ國家又ハ公共団体カ

負フヘキナレヿ是経済ノ許サヽル所ナレハ其義務ヲ定メス、此法律カ
義務トシテ定メタルハ維持修繕ナリ国道府縣道ハ府縣行政廰郡
市町村道ハ各行政廰之ヲ維持ス而シテ何レノ行政廰之ヲ負フヤ管
轄区域ニヨリテ定ム而シテ此主義ハ之ヲ貫徹スルヲ得ルカ管外工事ヲナサ
シムル必要アルヿナキカノ問題アリ道路法案ハ之ヲ許サス然レヿ実際上
ハ道路設備上往々不便ナルヿアルヘシ然レヿ単ニ築造ハ管外工事ヲ許
サヽルモ修繕管理ニ付テハ之ヲ許サシムルトキハ紛乱ヲ生スルヿアルヘシ故ニ
少クモ管理ハ一般原則ニヨリテ行フヘキナリ然ラハ管外工事ハ之ヲ許スモ
実行アルヘカラス故ニ道路法ハ之ヲ許サス監督官廰ハ各団体ニ命令
シテ道路ヲ築造スルヿヲ命スルヲ得セシム費用ハ利益ヲ受クル団体之ヲ
負担ス慣例上又要アルハ道路工事ヲ私人カ之ヲ行フヿヲ許スニアリ之
原則上橋銭等ハ使用料ト全ク一ノ権力ニ干スルモノナレヿ経済上止
ムヲ得ス私人ニ之ヲ許ス道銭ハ之ヲ許サス
次ニ費用ノ負担ハ國道ハ國家之ヲ負担スヘキモノナランモ慣習上府
縣之ヲ負担シ國庫之ヲ補助ス之レ止ムヲ得サルニヨルナリ其他ハ各公共

団体之ヲ負担シ上級団体之ヲ補助ス
次ニ道路近接地ノ負担スル地役ニ類スル義務アリ且又敷地ヲ有スルモノ
ル義務ヲ有スルハ言ヲ待タサルナリ而シテ道路ノ敷地ニ私権ヲ認ムヘ
キカ否ハ問題ナリ仏民法ニヨレハ民法上ノ所有権ナシ独乙ノ制度墺太利
ノ制度ハ之ニ反シ所有権ヲ認ム之ヲ認メサルヘカラサル理由ハアルヿナシ所
有権ノ行使ヲ制限セハ可ナルニ所有権ヲ認メサルトキハ道路ノ敷地カ廃
セラレシトキハ如何其土地ハ無主物トナル故ニ國家ノ所有ニ帰ス公共団体ノ
費用ニヨリテ得ラレタル土地カ國家ニ移ルヘキ理由ハ之ヲ認ムルヲ得ス故
ニ河川法ノ如キハ敷地ノ所有権ハ命令ヲ以テ所分スルヿヲ規定シ民法規
定ノ例外ヲ設ケリ然レヿ此命令ニヨリ定メラルヽ、問ハ如何全所有権
ナキモノトナルトキハ何人カ之ヲ先占スルモ可ナルヿトナル故ニ止ムヲ得ス行
政廰ノ所分ニヨリ定メラレタル所有権ハ潮回ストスルノ外ナシ是条理
ニ反スルヿ多シ故ニ道路ハ公共ノ営造物ナレヿ敷地ノ所有権ニハ何
等ノ関係ナシトノ主義ヲ採レルナリ
次ニ監督等ノ細規定ヲナセリ又強制ノ方法アリ一般ノ強制法ナキヲ

以テ其規定ヲナセルナリ

第十二章　水路

水路ハ内國水路、海洋ノ二種トス

第一　内國水路

内國水路ニ于シテハ行政法ヲ以テ一切事項ヲ規定シ得ルモノナリ然レ𪜈湖水ニ付テハ現今別ニ規定ナシ河川ニハ河川法ノ規定アリ

河川法ノ目的及支配ノ範圍

（廿九年法七十一号）此法律ハ單ニ(1)河川通航ノ利便及安全ヲ計ルヲ目的トスルニ非ス其(2)引用其他ノ利用及(3)水害ノ預防モ主タル目的ノ一ナリ故ニ河川法ヲ以テ支配セル公共河川ハ必スシモ舟筏ノ通スルモノニ限ラス（ローマ法系ト異ル行政廳公共ノ利害ニ重大干係アリト認定セル河川ハ皆此法ニ從フ）

河川ノ管理、維持、工事及ビ其費用

河川ノ管理維持及之ニ干スル工事ハ地方行政廳之ヲ司ルヲ常トシ費用モ府縣負担スルヲ例トス然レ𪜈法律ハ他ノ行政廳其事務ヲ執行シ又ハ他ノ団体其費用ヲ負担スル場合ニ于シ詳密規定ヲナセリ

河川法ノ特点

河川法ハ公有物ノ性質ニ付特種ノ主義ヲトリ公共河川上ニ私権ノ存在ヲ認メストノ（仏主義）原則ヲトレリ勿論河川ノ占有又ハ使用ノ権利ヲ認ムルノミナラス之ヲ他人ニ移スヿヲモ許セリ然レ𪜈此権利ハ河川法ノ主義ニヨレハ一種ノ公権ナリ

其他河川法ハ司法文判所ノ権限ヲ定ムルニ付テモ仏制ト全主義ニヨリ行政処分又ハ行政法規ノ解釈ニ干スル争ハ民事訴訟法ニ際シテ起ルモ司法文判所之ヲ決スルヲ得ストノ原則ヲトレリ

河川法ニ特種ナル他ノ点ハ河川ニ干シ特ニ強制手段ハ規定ヲ設ケ外ルヿナリ其手段ハ代執行強制罰直接強制ノ三種ナリ

第二　海洋

海洋ハ概シテ万國共全ノ通路ニシテ特ニ一國ノ主権ニ属セサレハ其干係ハ概シテ行政法ノ規定ノ目的タルヲ得ス、行政法ノ規定ノ目的トナルハ主トシテ二ノ干係ニヨル

第一ハ領海内ノ通航ニ干シテハ行政法ヲ以テ規定ヲ設ケ得

第二ハ一國ニ船籍ヲ有スル船舶ニ関シテハ行政法ヲ以テ規定スルヲ得

1、領海内ノ通航ニ干スル法規

第一ノ干係ヨリ生スル規定ノ主ナルハ左ノ如シ

一、港津ハ分テ(イ)、開港、(ロ)、不開港トシ不開港ニハ外國貿易船ハ海難等ノ場合ノ外出入スルヲ得ス、其他開港ノ出入ハ脱税ヲ防ク為種々ノ

1、港津

制限ヲ受ク世二年六十一号法関税法之ヲ定ム

二、開港ノ区域並ニ港内ノ秩序航路ノ安全及港湾ノ維持ニ于シ船舶ニ対シ加フヘキ種々ノ制限ハ勅令世一年勅一〇九号開港々則之ヲ定ム

三、軍港要港ニ出入スル船舶ハ海軍大臣ノ定ムル港則ニ従フヲ要ス、二三年法第二号

ス、航路

航路ノ安全船舶ノ衝突ヲ避クル為海上衝突預防法（二三年）アリ船燈信号速力及航方等ニ付規定ヲ設ク

航路ノ安寧ヲ保護スル為政府ハ其費用ヲ以テ航路標識ヲ設ク（二三年航路標識条例）

ミ、水先入

世二年法六三号水先法ニヨリ（イ）水先人ハ帝國臣民ニシテ法律上ノ故障ナク試験ヲ経テ免状ヲ有シ名簿ニ登録セラレシモノニ限ル（ロ）水先人ハ要招ニ応スル義務アリ又水先案内料ヲ請求スル権アリ（ハ）水先人ハ海員審判所ノ懲戒ヲ受ク

ヤ、遭難船舶

遭難船舶（イ）救護ノ事務ハ國ノ事務トシ市町村長主トシテ之ヲ管掌シ警察官吏補助ス市町村長ハ救護ノ為人ヲ徴集シ物件ヲ徴発スル権アリ（ロ）救護ニ于係セルモノハ市町村長ノ定ムル救護費用請求ノ権アリ其費用ハ被救護者ノ負担トシ救護功ヲ奏セサリシ時ノ費用及被救護者費用ヲ支弁セサリシ時ハ國庫ノ負担トス三二年法九五号水難救護法（ハ）、水難救護法ハ又漂流物及沈没品ニ于スル規定ヲ設ク

ヨ、船舶ニ于スル法規

船舶ニ于スル法規ハ主トシテ第二ノ規定ヲ主ナルハ左ノ如シ（于係ニヨル）

イ、日本船舶

一、日本船舶ハ三二年法四六号船舶法ニヨリ日本ニ船籍港ヲ定メ積量ノ測度ヲ受ケ船籍原簿ニ登録シ國籍証書ヲ受ケ猶二九年法六七号船舶検査法ニヨリ航行者前検査ヲ受クルヲ要ス

二、日本船舶ノ外ハ日本ノ國旗ヲ掲ケ不開港場ニ寄港シ日本各港間ニ物品又ハ旅客ノ運搬ヲナスヲ得ス

三、日本臣民又ハ之ノミヲ以テ組織スル会社一定資格ヲ有スル造船所ヲ以テ造船規程ニ適合スル船舶ヲ造ル時ハ造船奨励金ヲ受ク（二九年一六号造船奨励法）

2、船舶ノ戦奐

日本船舶ノ戦奐ハ試験ニ合格シ海奐名簿ニ登録セラレ海奐免状ヲ有スルモノニ限ル二九年法六八号船舶戦奐法

其懲戒ハ海奐審判所之ヲ行フ二九年法六九号海奐懲戒法

其他船奐トナラント欲スルモノハ船奐手帖ノ交附ヲ受クルヲ要ス

海奐ノ雇入雇止等ハ管海官廳ノ公認ヲ受クルヲ要ス、海奐ハ船奐法ノ定ムル場合(三二年法四七号)ニハ船長ノ懲戒ヲ受ク其他船奐法ハ船長ノ戦务権ヲ定ム

3、航海奨励金

帝國臣民ノミヲ以テ組織セル会社又ハ帝國臣民ハ外國間ノ航海ニ対シ航海奨励金ヲ受クルヲ得之ヲ受クルモノハ仝時ニ数多ノ義务ヲ有ス二九年法一五航海奨励法

第十三章　農業ニ関スル法規

農業ニ于スル行政ハ助長ノ事务ヲ占メ法規トシテ述フヘキモノ少シ其主ナルモノハ(1)、農業ニ対スル危害ノ預防ヲ主タル目的トスルモノト(2)改良ヲ目的トセルモノトノ二種ナリ

第一、危害ノ預防ヲ主タル目的トスルモノ

第一種ニ属スル法規ノ主タルモノハ水害預防及害虫駆除預防ニ于スル法規ナリ

I、水害預防ニ于スル制度

水害防禦ニ于スル法規ハ種々アリ河川法モ一部ハ此目的ヲ有ス又三〇年法一九号

1、砂防法

砂防法ハ(1)、沿水ノ為ニ必要ナル砂防ノ事業ハ地方廳之ヲ管理シ府縣費用ヲ負担スヘキヿヲ規定シ其他他ノ行政廳砂防ノ事業ヲ執行シ又ハ他ノ団体若クハ私人費用ヲ負担スヘキ場合ニ于シ詳密ノ規定ヲナセリ、(2)、司法文判所ノ権限ヲ定ルニ付仏國ト仝一ノ主義ヲトルヿ(3)、並ニ砂防ノ事業ニ于シ特ニ強制方法ヲ設クルヿ河川法ト仝一ナリ

2、水利組合

水災防禦ニ于スル主ナル制度ハ水利組合ナリ、水利合組ノ事業ハ本来府縣郡市町村ノ事务ナルモ区域之等ノ団体ノ区域ト一致セサルトキハ特ニ之等ノ事業ノ為公共組合ヲ設置シ得是水理利組合ナリ故ニ其規定ハ大体地方団体ニ于スル法規ト仝シ

(水利組合ハ如何ナルモノソ)

(水利組合ノ二種)

水利組合ハ(1)堤防浚渫砂防等ノ水害預防ノ為設クルモノ如ノ外(2)用悪水ノ如キ主トシテ土地ノ利益ヲ目的トセル事業ノ為設クルモノ

アリ、前者ハ之ヲ水害預防組合後者ハ普通水利組合トス

(一)、水害預防組合ハ強制組合ナリ普通水利組合ハ反之隨意ノ組合ニシテ組合負タルヘキモノヽ議決ヲ経テ成立ス然シ議決成立セハ之ニ対シ異議アルモノモ組合ニ加入スルヲ要ス

(二)普通水利組合ハ土地ノ利益ヲ目的トセハ土地所有者ヲ以テ組合負トス反之水害預防組合ハ土地家屋ノ所有者ヲ以テ組合負トス

ハ、害虫駆除予防ニ干スル規法

害虫駆除預防ニ干スル規定ハ二九年法一七号害虫駆除預防法ノ定ムル所ナリ此法ハ(イ)害虫発生セハ作人ヲシテ駆除ヲ行ハシム且代執行ノ方法ヲ設ク(ロ)害虫蔓延セハ之ヲ駆除スルハ國ノ事務トシ費用ハ市町村ノ負担トス

ホ二、改良ヲ主タル目的トスルモノ

農業ノ利益ヲ増進スルヲ目的トスル主ナル法規ハ

蠶種検査法(三二年法二九)、耕地整理法(三二年法八二)

ヘ蠶種検査法

前者ハ蠶種ノ製造ヲ制限シ自用ニ供スルモノヽ外ハ検査ヲ要シ其証印アルモノヽ外ハ賣買譲渡ヲ禁ス検査ノ費用ハ府縣ノ負担トス

ヌ、耕地整理法

耕地整理法ニヨレハ耕地ノ利用ヲ増進スル為一地区内ノ土地ノ交換分合其他耕地ノ整理ヲナサントスル時ハ(1)面積、地價ノ三分二以上ヲ有スル、三分二以上ノ土地所者発起シ発起ノ認可ヲ得創業総会ヲ開キ設計及規約ヲ議決シ主務大臣ノ認可ヲ得ルヲ要ス(2)整理ノ工事ハ土地所有者互選ノ整理委員之ヲ行ヒ整理総会ヲ開キ換地等ノ所分ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受ク(3)整理ノ事務完了セハ総会ノ承認ヲ受ケ主務大臣ニ報告ス

第十四章　砿業

砿業トハ何ソ

(1)広意ニテハ砿業ハ凡テ坑業ニヨリ有用ナル砿物ヲ採堀スル業ヲ云フ然レ共(2)砿業條例ニ砿業トハ法定ノ砿物ヲ採堀スル業ヲ云フ、其他ノ砿物ヲ採堀スル土地所有権ノ働ナリ

砿物及採堀杵ノ法律上ノ性質

砿物ノ法律上ノ性質ニ于シテハ見解区々タリ或ハ以テ土地ノ一部トナシ或ハ以テ無主物トナシ或以テ國家ノ所有ト見ナス

砿物ノ性質ニ于スル見解ノ異ルニ従ヒ採堀権ノ性質ニ于スル見解亦大ニ異ル或ハ以テ砿床ニ対スル所有権ト見ナシ或ハ専ラ無主物ヲ

先占シテ所有権ヲ得ル権トミナシ或ハ砿物ヲ土地ノ一部ト認ムルモノハ往々之ヲ一種特別ノ権ト認メ他人ノ所有地ニ対シ地役権ニ类スル性質ヲ有シ自己ノ所有地ニ対シテハ所有権ニ附加セル権利ト認ム

砿業条例ハ未採堀セサル砿物ハ國ノ所有トスト明定セリ故ニ採堀権ハ砿床ニ対スル所有権ト認ムルヲ得ス其他砿物ヲ以テ土地ノ一部ト見ナス見解ヨリ出テタル説ハ之ヲ我法ノ解釈ニ用ユルヲ得ス、又我國ニ於テハ砿物ハ國ノ所有ナレハ無主物ヲ先占スル権ト認ムル克ハサル如キモ國ノ所有トストハ國家砿物ニ対シ私法上ノ所有権ヲ有スルノ意ニ非ル明ナレハ、私法上ノ意味ニ於テハ砿物ハ無主物ト云フテ妨ナシ、要スルニ砿物ハ採堀ニヨリ始メテ私法上ノ所有権ノ目的トナルモノナレハ採堀権ハ専ラ砿物ニ占有シ其所有権ヲ得ルハ権ナリト認メテ可ナラン、要スルニ採堀権ノ私法上ノ性質ハ議論ノ分ルヽ点ナレ𪜈其一ハ私権タルヿハ疑ヲ容レス而シテ其私権ハ特許ナル行政行為ニヨリテ生ス

砿業警察ニ干スル法規

砿業警察ニ干スル規定ハ(1)抗内及建築物ノ保安(2)抗夫ノ生命及健康ノ保護及(3)地表ノ安全及(4)公益ノ保護ヲ目的トス殊ニ砿業条例ハ抗夫ノ保護ノ為諸種ノ規定ヲ設ク

砂砿鉱ノ採取

砂鉱ノ採取ニハ砂鉱採法(二六年)ヲ以テ特別ノ規定ヲナセリ

(1)土地所有者自採取スル時ハ他ニ先チ許可ヲ受ル権ヲ有ス(2)他人ノ所有地ニ於テスルニハ其承諾ヲ得且採取料ヲ支払フヲ要ス之等ノ点ヨリシテ見レハ此法ハ寧ロ砂鉱ノ採取ヲ所有権ハ作用ト認メ唯公益ノ為制限ヲ加ヘタル如シ従テ採取ハ許可ハ特別許ニ非ス警察上ハ許可ハ性質ヲ有ス其他ノ規定ハ概ネ砿業ニ干スル規定ト仝シ

第十五章　森林ニ関スル行政

森林ニ干スル法規ハ三〇年法四六号森林法アリ

森林ヲ分テ(1)御料林(2)國有林(3)部分林(4)公有林(5)社寺林及ヒ私有林ノ六種トス、終リノ三種ニ対シテハ主务大臣ハ(イ)造林ノ方法ヲ指定シ及(ロ)之ニ反セル伐木ヲ禁止シ且(ハ)造林ヲ命スルヲ得(ニ)造林ヲ怠ルモノアラハ政府自ヲ行ヒ費用ヲ徴収スルヲ得又(ホ)之ヲ部分林ト

ナスヲ得

森林ノ開墾

森林ヲ開墾スルニハ許可ヲ要ス、行政廳ハ國土保安ニ害アリト認ムルトキハ開墾ヲ禁スルヲ得

保安林

森林中國土保安ニ干係アルモノハ保安林ニ編入スルヲ得法律ニ場合ヲ列記ス、保安林ハ(1)皆伐開墾ヲナスヲ得ス又(2)主務大臣ハ伐木ヲ禁止シ及営林ノ方法ヲ指定シ得其他保安林ニ対シテハ法ハ猶二三制限ヲ設ク

編入解除

保安林ハ(1)地方森林会ノ議決ヲ経主務大臣之ヲ定ム(2)直接ノ利害干係者ハ意見書ヲ出スヲ得又(3)編入解除ニ不服アルトキハ行政文判所ニ出訴スルヲ得

損害賠償

保安林ノ伐木禁止ヨリ生スル直接ノ損害ハ之ヲ補償ス

警察上ノ規定

森林法ハ又(1)森林ノ盗伐及(2)森林ノ火災並(3)虫害ヲ防ク為警察上ノ規定ヲ設ク(國有林野ニハ國有林野法アレトモ会計法ニ干ス)

第十六章　牧畜ニ干スル行政

牧畜ニ干スル行政法規ハ牧畜ニ関スル家畜ノ改良ヲ目的トスルト家畜ノ衛政生ニ干スル規定トノ二種ナリ

第一、家畜ノ改良ヲ目的トスル法規

家畜ノ改良ニ干スル規定ノ主ナルハ種牡馬検査法(三〇年法一二号)ナリ

(1)検査ニ合格シ証明ヲ得タルモノニ非レハ種付ニ供スルヲ得ス(2)検査ノ費用ハ國庫ノ負担ナリ

第二、家畜ノ衛生ニ干スル法規

家畜ノ衛生ニ干スル法規ハ(1)獣疫ハ預防ヲ目的トスルモノト(2)医療ヲ目的トスルモノトノ二アリ

獣疫予防ニ干スルモノ

預防ニ干スル法規ノ主ナルハ獣疫預防法(二九年法六〇号)ナリ、其規定ハ傳染病豫防ノ規定ト類似セル所多ク預防ノ所分ハ主トシテ病獣ノ隔離並ニ獣類及物品ノ交通ノ停止又屠畜等ノ営業ノ停止又外國ヨリ輸入スル獣類及物品ノ検疫並ニ輸入ノ停止等ナリ

撲殺場合

又獣疫ニカヽレルモノニシテ不治又ハ治不治ノモノハ之ヲ撲殺スルヲ要ス又病性ノ鑑定其他必要アルトキハ撲殺スルヲ得此撲殺ノ所分ハ公用

性質

撲殺者

徴収ニ非ス警察上ノ所分ナリ、獣類ハ國家ノ所有ニ移ルニアラス依

然私人ノ所有ニアルナレハ撲殺ハ警察官廳ノ命ニヨリ(1)私人自ラ行フモノトス(2)警察官廳自ラ撲殺アルハ所有者賣ラサルカ又ハ官廳ノ命ヲ履行セサル場合ニ于ス

(賠償)

上述ノ如ク家畜ノ撲殺ハ公用徴収ニ非ス警察上ノ所分ナレハ本来賠償ヲ与フルヲ要セサルモ(1)私人ノ財産ノ一大部分ヲ減スル結果ヲ生スルノミナラス(2)全ク賠償ヲ与ヘサルトキハ隠匿スル弊アレハ法ハ特ニ補償ヲ与フルノ規定ヲ設ク

然レ𪜈(1)病毒ニ感染セル家畜ハ全ク價格ヲ失ヒ又ハ之ヲ減少セルヿ勿論ニシテ又(2)賠償ハ國家ノ恩惠ニ属シ(3)且全部ノ賠償ヲ与フルトキハ反テ私人ヲシテ獣疫預防ノ注意ヲ怠ラシムル恐アレハ評價額ノ全部ヲ給セサルヿトス

撲殺ニ対スル補償ハ上述ノ性質ヲ有スレハ司法文判所ニテ請求スルヲ得ス

三、家畜ノ医療ニ于スルモノ

家畜ノ医療ニ于シテハ主ナル法規ハ二三年法七六号ナリ之ニヨレハ(1)免状ヲ有スルモノヽ外獣医タルヲ得ス、(2)蹄鉄工モ又免状ヲ有スルモノニ限ル

第十七章　狩獵

狩獵法ノ狩獵

狩獵ハ野生ノ鳥獣ノ捕獲ナリ然レ𪜈現行狩獵法(二八年法二〇号)ノ狩獵トス(1)銃器其他(2)法律ノ特ニ指定セル方法ニヨルカ又ハ(3)主務大臣指定セル方法ニヨリテ鳥獣ヲ捕獲スルモノニ限ル

狩獵杵ト土地所有杵ノ干係

現行ノ狩獵法ハ狩獵権ヲ以テ土地所有権ニ附属スルモノト認ムル主義ヲトラス狩獵ヲ以テ原則上自由トシ何人ノ地上ニ於テナスモ妨ケス(改正案ニハ獵区ヲ設ケントスルモノヽ如シ)

所有杵ノ保護規定

唯所有権ノ保護ハ一二ノ干係ニ付表ル即(1)囲障又ハ作物ノ植付ケアル土地ニハ所有者自身又ハ其承諾ヲ得タルモノニアラサレハ不可ナリ又(2)囲障アル所有地ニテハ所有者ハ銃器ヲ用ヒサル限リハ自由ニ狩獵スルヲ得(3)又所有者ハ禁獵ノ制札ヲ立ツルヿヲ地方長官ニ願出ルヲ得(4)又共仝狩獵地ヲ設タルニハ所有者ノ承諾ヲ要ス

狩獵杵ノ性質

狩獵ハ許可ヲ要ス然レ𪜈(1)此許可ハ警察上ノ許可ニシテ私権ヲ生セス(2)只共仝狩獵地ニ於ケル狩獵権ハ之ヲ一種ノ私権ト認メスン

警察上ノ規定

ハアラス

狩獵法ハ一ハ公衆ニ対スル危険ヲ防ノ為又一ハ鳥獣ノ繁殖ヲ助ケル為狩獵ニ干シ警察上ノ諸種ノ制限ヲ加フ

第十八章　漁業

公有水面ニ於ケル漁業

漁業ニ干シテハ目下一般ノ法規ナシ然レ共公有水面ニ於ケル漁業ハ免許ヲ要ス其免許ハ公有水面ニ対スル一種ノ使用権ヲ生スルモノナリ

遠洋漁業ノ奨励

遠洋漁業ニ干シテハ遠洋漁業奨励法（三〇年法四五号）ニヨリ奨励金ヲ下附ス奨励金ヲ受ケタル漁船ニ対シテハ法ハ多少ノ義務ヲ負ハシム（調査練習生ノ登載）

第十九章　営業

広意ノ営業及其分類

広意ノ営業トハ(イ)収入ヲ目的トスル(ロ)私ノ行為ニシテ(ハ)法律上禁セラレサルモノヲ云フ此意味ニ於テハ行為ノ実体ハ営業ノレハ均シク営利ノ支業タルモ数種ノ区別アリ先ハ其一ハ農業林業砿業等ノ如ク原品ノ生産ヲ目的トス

其二ハ原料ニ製作ヲ加ヘ新物品ヲ製作スルカ又ハ已ニ存在セル物品ヲ精製スル支業ナリ

狭意ノ営業

其三ハ製作セル物品ヲ運転セル支業ナリ

其四ハ身体上ノ労力ヲ供スル支業ナリ

其五ハ精神上ノ労務ヲ供スル支業ナリ

之等ノ五支業ハ凡テ広意ノ営業ニ含マル此意味ニ於テハ医師弁護士モ営業ナリ農業砿業等モ営業ナリ

此広意ノ営業中ノ原品ノ生産ニ干スル支業ト及(ロ)精神的ノ労務ヲ供スル支業ヲ除ケル残モノヲ狭意ノ営業トス

営業法

営業ヲ支配スル法規ハ主トシテ私法ノ法規ナリ然レ共営業ニ属スル行為ノ自由ハ公益ノ為制限スヘキコトアリ此制限ハ広ク私人ノ行為ニ対シテ加ヘ又ハ特ニ営業ノミニ干シテ加ヘタルコトアリ上述狭意ノ営業ニ干シ公益上ノ必要ニヨリ自由ヲ制限スル法規ヲ営業法トス

現行営業法

営業ノ自由ハ我邦ニ於テハ明文ノ保障ナキモ法規之ヲ禁止シ又制

限セサル限ハ全然自由ナル言ヲ待タス営業法ニ于シテハ目下一般ノ規定ナシ（立法ハ経済学ニ属ス）

企業組合

唯特種ノ場合ニ対スル特種ノ法規アルノミ。年法四七号、重要輸出品企業組合法ノミハ企業ニ于スル一般ノ規定ヲ設ケ此法ハ主トシテ重要輸出品ノ生産製造又ハ販売ニ于スルモノヲ他ノ物品ニ于スル営業ニ準用スルヲ得（全法改正案ハ重要物産企業組合法ナリ）

学理上ノ性質

企業組合ハ営業上ノ弊害ヲ匡正シ信用ヲ保持スルヲ目的トスル法人ニシテ元企業者ノ協議ニヨリ組織スルモ定数ノ企業者ノ合意アルキハ成立シ他ノ企業者ハ全意ヲ要セスシテ之ニ加入スル義務ヲ有ス

現行法ハ如何

営業組合ノ性質ニ于シテハ学説一定セス（一）数多ノ学者ハ之ヲ公共組合ト認ム（Rossi, Rodin, Gierke, Pierre, Berglé）（二）反之或学者殊ニ Brunnemann, Affolter, Thöl, Endemann, Wagner, Goerg, Meyer, Laband, Hänel, Stobbe, Loening, Schmitthenner, Rehm, Preuss 等ハ私法上ノ団体ト認ム

現行法ニヨレハ亦公共組合ト認ム根拠充分ナラサル如シ（一）組合ニ加入ノ義務アル上述ノ如キモ公共組合タル性質ハ加入ノ義務ノ有無ニヨリテ定ムヘカラス又仍企業組合ニ対シテハ定款及役員ノ認可役員ノ改選ヲ命スル等種々ノ監督方法ヲ設ケルモ是等ハ私ノ団体ニ対シテモ行ヒ得ルモノナリ又（二）組合ハ主務官庁ノ溶剤ヲ設ケ又ハ主務官庁ノ調査ニテ報告ヲナスノ一ニ義務ナキニ非ル点組合ノ生存ノ目的ガ公心ニ業ヲ執行スル義務ヲ国家ニ対シテ負フヲ認ムヘキ証拠充分ナラス其ニ業ハ国家ノ義務ノ一部ナリト断言スヘカラス要之企業組合ハ現行法ニ於テハ未公共組合ノ性質ヲ具セストスルヲ至当トス企業組合、組合員ニ対シ権力ヲ有セサルハ自然ノ結果ナリ

第廿章　特許及意匠

特許ニヨリ生スル権利ノ性質如何ハ極メテ吴論多キ問題ナレハ茲ニ論セス、茲ニ述ルハ其権利ヲ賦与又ハ取消ス行政行為ニ于スル法規ナリ

特許ハ（三二年法三六号特許法之ヲ定ム）（一）工業上ノ物品及方法ニ于シ（二）最先ノ（三）発明ニ対シテ予アルモノナリ

特許ヲ受クル条件

(1)特許ヲ受クルモノハ発明ナルヲ要ス詳言セハ(A)新規ノ物品ヲ製作スルカ(B)又ハ已存ノ物品ニ新ナル実用ヲ予フルカ(C)又ハ新ナル方法ニヨリ製造セシムルヿヲ得セシムルモノタルヲ要ス、反之現ニ存在セルモノニシテ従来世ニ知ラレサリシ物品ノ存在ヲ明ニスル発見ハ之ヲ発明ト称スルヲ得ス

(2)特許ヲ受クヘキ発明ハ最先ナルヲ要ス故ニ文昏ニヨリ又ハ其他世ニ知ラレタル物ニ対シ之ヲ受ルヲ得サル明ナリ唯試験ノ為世ニ知ラレ二年以内ノモノハ特許ヲ得ルヲ得

(3)特許ヲ受クヘキ発明ハ工業上ノ発明ナルヲ要ス故ニ農業其他原品ノ生産ニ于スル発明及学藝美術上ノ著作物ハ特許ヲ受クヘキモノニアラス(Patent ト Autor recht ノ区別)其他学術上ノ理論ニ止リ工業ニ応用スルヲ得サル発明ハ特許ヲ受クルヲ得ス

(4)是等ノ要件ヲ見ルモ飲食物薬品等ハ特別明文ニヨリ特許ヲ受クルヲ得ス

上述各種ノ条件ヲ充セル件ハ特許法ニヨリ特許ヲ受ルヲ得、官廳ニヨリテ定ムヘカラス又(2)仝業組合ニ対シテハ定款及役員ノ認可役員ノ改選ヲ命スルヿ等種々ノ監督方法ヲ設クルモ是等ハ私ノ団体ニ対シテモ行ヒ得ルモノナリ又(3)組合ハ主務大臣ノ命ニヨリ検査規定ヲ設ケ又ハ主務官廳ノ諮問アル件ハ調査シテ報告ヲナスノ一二義務ナキニ非レ氏組合ノ生存ハ目的タル事業ヲ執行スル義務ヲ国家ニ対シテ負ヘルヿヲ認ムヘキ証拠充分ナラス其事業ハ国家ノ事務ノ一部ナリト断言スヘカラス要之仝業組合ハ現行法ニ於テハ未公共組合ノ性質ヲ具セストスルヲ至当トス、仝業組合、組合員ニ対シ権力ヲ有セサルヿハ自然ノ結果ナリ

第廿章　特許及意匠

特許ニヨリ生スル権利ノ性質如何ハ極メテ吳論多キ問題ナレ氏私法ノ問題ナレハ茲ニ論セス、茲ニ述ルハ其権利ヲ賦予シ又ハ取消ス行政行為ニ于スル法規ナリ

特許ハ(三二年法三六号特許法之ヲ定ム)(1)工業上ノ物品及方法ニ于シ(2)最先ノ(3)発明ニ対シテ予フルモノナリ

特許ヲ受クルノ条件

(1)特許ヲ受クルモノハ発明ナルヲ要ス洋言セハ(A)新規ノ物品ヲ製作スルカ(B)又ハ已存ノ物品ニ新ナル実用ヲ予フルカ(C)又ハ新ナル方法ヨリ製造セラルルモノタルヲ要ス、又之現ニ存在セルモノタルヲ要セス、従来普ク知ラレサリシ物品ノ存在ヲ明ニスル発見ハ之ヲ発明ト称スルヲ得ス

(2)特許ヲ受クヘキ発明ハ最先ナルヲ要ス故ニ之昏ヨリ又ハ其他普ク知ラレタル物ニ対シ之ヲ受クルヲ得サル明ナリ唯試験ノ為普ク知ラレ二年以内ノモノハ特許ヲ得ルヲ得

(3)特許ヲ受クヘキ発明ハ工業上ノ発明ナルヲ要ス故ニ農業其他原品ノ生産ニ干スル発明及学芸美術上ノ著作物ハ特許ヲ受クヘキモノニアラス(Patent と Copyright ノ区別)其他学術上ノ理論ニ止リ工業ニ応用スルヲ得サル発明ハ特ニ許ヲ受クルヲ得ス

(4)是等ノ要件ヲ具ルモ飲食物薬品等ハ特別明文ニヨリ特許ヲ受クルヲ得ス

上述各種ノ条件ヲ充セル件ハ特許法ニヨリ特許ヲ受クルヲ得、官庁ハ之ヲ予フルヲ得ルノミナラス必ス之ヲ予フルヲ要ス、官庁ハ審査ヲナスニ之ヲ予フルヲ拒否ノ理由ナシ

特許ノ性質

特許ヲ予フル国家ノ作為ノ立法行為ト認ムルヲ得ルカ或ハ一種ノ支判ト認ムヘキカ或ハ一種ノ契約ト認ムルヲ得ルカ是亦甚タ異論ヲ容ル、所ナリ然レトモ特許ハ一般ノ法規ノ適用ニアラスシテ特別ノ立法ニアラス又(2)特許ハ単ニ権利ヲ予フルノミニシテ私人ニ義務ヲ負ハシムルモノニ非レハ国家ノ単独ノ意思ニヨリテ予フルヲ得又(3)特許ハ法ヲ適用スルモノナルヤ明ナレトモ其目的トスル所ハ発明ノ報酬タル利益ヲ発明者ニ予フルヲ奨励スルニ一端トスルニアリ要スルニ特許ハ立法ニアラス契約ニアラス又支判ニアラス、行政庁ノ所分ナリ

特許ノ効力

此所分ノ効果如何モ亦極メテ異論多キ或ハ新ニ権利ヲ設定スル行為トシ或ハ発明ニヨリ已ニ存在セル権利ヲ完全ナル権利ヲ完成セシムル行為ナリトス明ノ時ヨリ存在セハ不完全ナル権利ヲ有シ死亡セル時特許ヲ受ル前ニモ発明人ハ発明ニ干シ一種ノ権利ヲ有シ死亡セル時ハ承継人ニ移レトモ此権利ハ特許ヲ受ルハ権利ニシテ即一種ノ公権

ナリ、特許権ノ内容タル発明ノ利益ヲ専占スル権ハ特許ニヨリ始テ生ス故ニ特許ハ既存ノ権利ヲ公証スルニアラス新ニ私権ヲ設定スル所以ナリ

数人ノ発願アル場合

上述ノ如ク特許件ハ特許ニヨリ生ズルモ特許ヲ求ムル権ハ発明ニヨリテ生シ特許ノ発願ハ此公権ヲ実行スルモノナレハ各ノ発明ニ対シ数人ノ発願アル片ハ出願ノ前後ニヨラス発明ノ前后ニヨリテ決ス（砿業条例ト異ル）

特許ノ主義

特許ニ干シテハ三制度アリ即左ノ如シ

(1) 届出主義ニヨレハ官庁ハ発願ニヨリ形式ニ干スル審査ヲナスノミニテ実質上ノ審査ヲナサス特許ヲ得タルモノニ対シ民支訴訟ヲ起スヲ得（Anmeldesystem）

審査主義

(2) 発明ノ実質ヲ審査スル審査主義（Prüfungssystem）

公示催告主義

(3) 上二制度ノ折衷主義ニシテ官庁ハ進テ審査セス発願アル片ハ之ヲ公告シ異議ノ申立アル片始テ審査ヲナスモノニシテ公示催告主義ト云フヘシ

特許ノ手続

我邦ハ制度ハ審査主義ヲトリ審査制度ニ於テモ(1)審査ノ目的ヲ発明ノ新ナリヤ否ヤニ限リ又ハ(2)其有益ナリヤ否ヤノ点ニ及スヤ否ヤニ及ハス唯秩序又ハ風俗ヲ乱ル恐アルモノニ特許ヲ予ヘス（三年勅八四号特許条例ト異ル）

審査ノ結果特許ヲ予ヘキモノト決セハ(ロ)査定昏ヲ交付ス査定ニ服セサルモノハ(ハ)再査定ヲ求ムル之ニ不服ナルモノハ(ニ)特許局ノ審判ヲ求ムルヲ得又特許無効ノ場合ニ之ヲ発見セルモノハ特許局ノ審判ヲ求ムルヲ得

私人間ノ争ニ対スル特許局ノ審判法律ノ適用ヲ誤リ又ハ之ヲ適用セサル片ハ大審院ニ発許スルヲ得

特許ノ取消

特許権ヲ有スルモノ特許ヲ利用セサルトキハ行政廳ハ特許ヲ取消スヲ得

意匠登録

特許ト法律上ノ性質ヲ全クシ且殆全一主義ニ本ケル法規ノ支配ヲ受ルハ意匠登録ナリ（三二年法三七意匠法）

工業上ノ物品ニ応用スヘキ意匠ヲ案出セルモノハ登録ヲ受ルヲ得（特許ノ一種ナリ故ニ新ナルヿヲ要シ又工業上ノモノタルヲ要ス）

登録ヲ受ル権ハ意匠ノ案出ニヨリ生シ又承継人ニ移転スルヲ得ルモ意匠ヲ専用スル権ゆゆハ登録ニヨリ生ス故ニ意匠ノ登録ハ私権ヲ設定スル所分ナリ意匠ノ登録ニハ現行法ハ特許ト全ク審査主義ヲトル而シテ審査ハ意匠ノ有益ナリヤ否ノ点ニ及サルモ特許ト全シ夏ノ性質ニヨリ論スレハ全時ノ出願者アルトキハ登録ハ案出ノ前后ニヨリ決スヘキ如キモ意匠法ハ之カ順序ニヨラス出願ノ順序ニヨルヘシトセルハ思フニ特許ト異リ案出ノ前后ノ識別難キヲ以テナラン

商標ノ登録

商標ノ登録モ特許及意匠登録ト殆全一ノ主義ニ本ケル法規ノ支配ヲ受ク然レトモ其目的ニ至テハ全特許及意匠ノ登録ト異ナリ寧商号ノ登記ト全目的ヲ有ス故ニ案外出ノ前后ニヨラス出願ノ前后ニヨルハ夏物ノ性質ノ然ラシムル所ナリ（是私法ニ属ス行政法ノ問題ニアラス）

著作物ノ登録

(1)文藝(2)学術若クハ(3)美術上ノ著作物ニ対スル著作権モ特許権意匠専用権ト権利ノ性質ヲ一トス然レトモ現行法ノ主義ハ彼此大ニ異ル（三二年法三九著作権法）

著作権ノ性質ハ私法ノ問題ナリ、著作権ハ著作ト全時ニ当然著作者ニ属シ其登録ハ特許ト全性質ヲ異ニシ権利ヲ設定スルニアラス単ニ公証ノ性質ヲ有ス登録ノ効果ハ権利ノ発生ニ何等ノ手係ナシ唯之ヲナサヽレハ(1)偽作者ニ対シ民事訴訟ヲ起スヲ得ス及(2)譲渡並質入ハ登録ヲ受ケサレハ第三者ニ対シ効力ヲ生セサルノ効果アルノミ

登録ニ于スル主義モ全特許ト異リ審査主義ヲトラス届出主義ヲトル之ヲ乞フモノアラハ官廳ハ単ニ形式ヲ審査スルノミニテ実質ヲ審査スルヿナシ故ニ仮令安寧秩序又ハ風俗ヲ害スルモノアルモ出版警

察ニ于スル法規ニヨリテ禁スルヲ得ルモ其登録ヲ拒ムヲ得ス
又登録スヘキ著作物果シテ新ナル著作物ナリヤ又ハ他人ノ著作物ヲ
偽作セルモノナリヤ否ヤヲモ審査スルヿナシ若其点ニ付争アル時ハ司法
文判所ニ於テ決スヘキナリ

近日発布セラルヘキ行政法規ハ治安警察法以下多クアリ

(1) 治安警察法ハ集会政社法ニ新各項ヲ加ヘ不用ノモノヲ削レル
モノナリ其主ナルハ政社ノ名簿ヲ備置クヿヲ廃シ集会届出ノ時間ヲ
縮メ、政治上ノ結社及公吏ニ于スル結社并ヲ分チ公吏ニ于スル結社ヲ
加ヘタリ又秘密結社ヲ禁スルヿトセリ是旧法安条例ニ本ク又往来ノ読
売及掲示 Plakat, Corportage ノ規定ヲ設ケタルニアリ

(2) 次ニ行政執行法ハ第一ニ警察権ノ根拠ヲ定メ次ニ執行ヲ定メリ
是憲法上法律ヲ要スル事項ヲ明定セルモノナリ即警察権ノ根拠
ヲ明確ニシ制限セルナリ又執行ノ部ハ強制法ノ方ヲ定メタルモノナ
ナリ代執行強制罰及直接強制ヲ定メリ強制罰ハ独主義ニヨ
リ刑法ノ規定ニヨラサルヿトセリ

又性質ノ異レル一規定ヲ含メリ私人ノ所有ニ帰スヘカラサル物品ニ
関ス

(3) 次ニ土地収用法ノ改正ノ要領ハ理論上ハ大差ナシ
第一章ハ総則トシ少シク詳細ナリ而シテ
一、収用法適用ノ範囲拡メラレタリ即工事ナキ場合ヲモ含ムトセリ例
ヘハ練兵場水遊地等是ナリ、故ニ事業ナル文字ニ改メタリ
二、事業ノ種類ハ前ト全ク列記法ヲトル列記事項少ク異レリ
三、土地ノ上ニ存スル所有権以外ノ支分権ノミノ収用ヲ許スヿトセリ
四、企業者ノ権義事業ト共ニ承継人ニ移ルヿ及企業者又ハ所有
者ノ承継人ニ対シテ従来ノ手続カ効力ヲ有スルヿヲ定メリ、其他干係
人ノ範囲通知ノ方法等ヲ命令ニ譲レリ
第二章ハ新章ナリ手続ニ于ス
第三章モ新章ニシテ事業ノ認定ヲ定ム、内閣之ヲ認定スルヿ前ト
全シ而シテ
一、郡市長ノ認定ハ六ヶ月以内ノ使用ニ限ルトシ

二、又内閣ノ認定効ヲ失フ場合ヲ定メリ即三年以内ニ第四章以下ノ手続ヲナスヲ要セルナリ

第四章収用ノ手続ハ徴細ノ点ニ改正ヲ加シ其明ニセラレタルハ(イ)協議ノ性質ナリ協議ニヨル売買ナリヤ売買ナリヤノ学説ノ争アルハ前述ニ述ベシカ今回ノ収用法ハ収用協議会ノ如キ強制的ノ制度ヲ廃シ凡テ私人ノ自由ニ委スルコトセリ(ロ)収用ノ手続ノ終局ヲ早クセリ

第五章ハ収用審査会ヲ規定ス

一、理論上ノ問題ノ決セラレシハ其文決ノ性質ナリ此文決ハ補償ノ問題ニ止ラス収用ノ働ハ之ニヨリテ生スルヲ定メタリ故ニ第一土地ノ区域ノ時期ヲ決スルハ

二、又其組織モ変セラレタリ

三、又其文決ハ双方ノ申立ヲ越ルヲ許サストノ規定ヲナセリ

第六章損失ノ補償ハ現行法ノ不完全ナル点ヲ補ヘリ且現行法ハ普國収用法ヲ採レハ結果ハノ如キ解シ難キモノアリ改正案ニヨレハ損失ハ凡テ之ヲ補償スノ原則ヲ掲ケ各條ニ詳細ノ規定ヲナセリ

残地ニ付テハ損失ヲ生セルトキハ之ヲ補償スト雖一部相殺ノ方法ニヨレリ、収用地上ノ物件ニ付テハ現行法ニ之ヲ第七章収用ノ効果ハ数条ヨリナリ補償金ノ供托払渡及危険ノ移転ニヨル収用ノ目的ハ土地ニ限レルノミナラス実際上補償金ヲ貪ラントスル弊アルヲ以テ改正案ハ移転セシムルヲ原則トセリ、損失ノ補償ニハ収用セラルヽヲ知リ故ラニ工夫ヲナセルモノハ補償セス然レトモ現行法ニ於テハ故意如何ヲ問ハス公告後ノ工夫ニハ行政廳ノ許可ヲ要シ之ヲナキトキハ補償セストセリ

第七章収用ノ効果ハ数条ヨリナリ補償金ノ供托払渡及危険ノ負担ニ付テハ収用ノ時期ニヨル即チ収用ノ時期ヲ定メ其時期ニ消滅スヘキ明ニセリ、此他補償ハ干係者各別ニ払フヲ定メリ又収用セラレシ土地ニ対シ物権ヲ有スルモノハ補償金ニ対シ差押ヲナスヲ得トセリ

又尤著シキハ買受ノ権ニアリ買戻ノ場合ハ収用ハ売買ニ非レハ用ヒス

現行法ニハ買受ノ権ノ消滅スル時期ヲ定メス本法第八牧用后廿年ヲ経過セハ消滅スト定メリ

第八章ハ費用ノ負担

第九章ハ監督強制罰則ヲ定メリ是実際ニ鑑テ規定セル所ナリ

第十章ハ訴願及訴訟ニシテ理論上不可トセサルモ行政ノ便ヲ許スノトセリ、又訴願アルモ原案ニハ別ニ大差ナカリシモ貴族院ハ牧用審査会ノ文決ニ対シ行政訴訟ヲ許スノトセリ是一新例ニシテ受業津梅ノ為ニナセシ損失ハ之カ求ムル事ヲ許スノトセリ、又訴願アルモ支業ノ停止ヲナサヽルノトセリ其他ニ於テス独乗等ト雖民牧用審査会ノ文決ニ対テ行政訴訟ヲ許サス訴願ヲ許セルノミ仏ハ司法裁判所ニ於テ訴スルヲ許セリ

次ハ附則ニシテ衆議院ノ修正ニヨレハ公用土地買上規則（明治八年）ニヨリ牧用セラレタル土地ニ付テ買受ノ権アリヤ改正法ハ其施行ノ時ヨリ廿年間ニ現行法ニヨレル牧用土地買戻権ハ消滅ストセリ故ニ公用土地買上規則ニハ適用ナク従テ買戻権ナシ衆議院ノ修正ニヨレハ現ニ国有ニ属スルモノ中命令ノ規定ニヨリ買戻権ヲ予フルヲ得トセリ、衛生ニ干シテハ精神病者看護法下水法ハ其適用ヲ受ケサルモ支業ヲ市ノ支業トシ町村ニモ適用シ得トスル之ニヨレハ計畫ヲ立テ土務大臣ノ認可ヲ受クルヲ要スト雖モ命令ノ規定ニヨリ買戻権ヲ予フルヲ得ル、汚物掃除法ハ汚物ノ掃除ハ土地ノ所有者占有者使用者ノ負担トシ之ヲ命令ニテ定ムル汚物ヲ集ノ市ノ支務トス此法モ其詳細ハ命令ニ譲リ

ノ、精神病者看護法ハ完全ノモノト云フヲ得ス牧容スヘキ病院等ノ設備ニ付規定ナケレハナリ唯看護ノ義務者ヲ定メタルニスキス、此法ニヨレハ(イ)精神病者ニ非ルモノ故意過失ニヨリ精神病者トミナサヽルノ防キ(ロ)精神病者ヲ公衆ニ危害ヲ及スヲ防クノ二矣ニ付規定セルナリ故ニ看護ノ義務者ヲ定ムル後見人配偶者親権者等ノ順位ニヨル費用ノ負担ハ本人又ハ扶養義務者ニアリトス

精神病者ノ危害ヲ及ス恐アル時ハ順位ニ干セス又ハ市町村自ラ看護スルコトアリ（第五條ノ二）

精神病者ニ非ルモノヲ誤リテ監置シタル場合ニ於テ監置ノ為監置人又ハ認可ヲ受ケタル病院ノ規定アリ（第四條）

仍、精神上ノ保護及発達ヲ干スル行政ニ付テハ感化法アリ感化法ハ不良少年ヲ感化スル設備ナリ本法ニヨレハ府縣ハ之ヲ設ケサル可カラス私立ノモノヲ以テ代ユルヲ得、感化院ニ入レヘキモノハ（一）刑法ノ地方長官親権ヲ行フモノ（二）民法規定ニヨリ懲戒場ニ入ルヽ許可ヲ得タルモノ（三）地方長官親権ヲ適当ニ行フヲ得サル不良少年ヲ入ルヽヲ得、感化院ハ廿歳未満ノモノニ限ル

又、経済上ノ行政ニ付テハ郵便法並ニ電信法ノ改正アリ大体之ニヨレハ電信郵便事業ノ性質明ニセラルタリ即之ヲ官ノ専業トシ私人之ヲナスヲ得サルハ旧ノ如シ唯旧法ニヨレハ営業的ニナセルカ公共ノ営造物トシテナセルカハ不明瞭ナリシヲ新法ニヨレハ全明瞭ニハアラサレ共賠償ノ問題ハ民事ヲ判所ニ決スル又無銭力者郵便官署ニナセシ行為ハ銭力者之ヲナセルモノヽ如キモ然リ之レ他ノ一方ニ郵便ニ干スル未納ノ金ハ國税滞納ニ准ストシ一種ノ手数料ト見ラスモノヽ如ク其他集配人他人ノ土地ヲ通行スルヲ得ル故アル時ハ私人ノ助力ヲ求ルヲ得橋銭等ヲ払フヲ要セス等ノ規定アリ（第廿五條）

営造物ト見ナセルモノハ、如シ

猶郵便ニ干スル規定ナリ旧法ニヨレハ信書ノ秘密ニ干スル侵犯ニ対シ刑法ニ規定アルニ過キサリシカ新法ハ猶他ニ郵便官署ノ取扱ニ干スル信書ノ秘密ヲ犯セルモノハ之ヲ罰スト云ヘルヲ以テ信書ノ秘密ハ広意ニ解スヘキカ如シ、電信法ニ於テモ全シ

タ、鉄道ニ干スル法案ハ私設鉄道法ト鉄道営業法トアリ、前者ハ私設鉄道条例ノ改正ニシテ主義ニハ異レルハ所ナキカ如シ

ロ、鉄道営業法ニヨレハ官設鉄道ノ営業ノ営業的ナルヤ明ナラカ如シ

ハ、産業組合法ハ信用組合生産組合販売組合購買組合ノ四ヲ規定シ任意的組合ニシテ強制ナシ唯設立定款ノ変更等ニ付認可ヲ要ス

其他一人ノ持分ハ十口ヲ越ユルヲ得ストセリ其他監督権ノ規定アレ共
範囲ハ大ナルモノニアラス

第五編　軍事行政

第一章　軍事上ノ負擔

第一節　徴発

徴発トハ國権ノ行動ニヨリ必要ナル軍需ヲ徴収スルヲ云フ
軍需ヲ供給スルハ金銭経済ノ行ハルヽ今日ニアリテハ普通ノ私法上ノ
法律行為ニヨルヲ例トスルモ他ニ軍需ヲ供給スル方法ナヰク又ハ他ノ方
法ニヨルヲ不便トスルトキハ強制シテ軍需ヲ徴収セスンハアラス

徴発ノ性質

徴発ハ命令権ノ作用ニヨリ軍事上ノ需用ヲ充スモノナレハ此点ニ於テハ

ノ、兵役ト異ナル

兵役ト性質ヲ全クス然レ共兵役ノ義務ハ身上ノ義務ニシテ徴発ニ応ス
ル義務ハ財産上ノ義務ナリ
徴発ノ目的タル物ハ金銭ニ見積ルヲ得ルモノナリ而シテ其多数ハ物件ナ
リ時ニ人文其他労力ヲ徴収スルヿアレ共皆金銭ニ見積ルヲ得ル物ナリ
反之兵役ハ國家ニ対シ忠実ノ義務ヲ尽シ全身ヲ挙ケテ公ニ奉セシム
ルモノニシテ金銭上ノ價格ナキモノナリ故ニ徴発ニ対シテハ賠償ヲ予
フルモ兵役ニ対シテハ之ヲ予フルヲ得ス
上述ノ如ク兵役ハ一身ヲ挙テ國家ニ奉スル義務ニシテ徴発ニ応スル
ノ義務ハ財産上ノ義務ナレハ兵役ノ義務ハ國民一般之ヲ負担シ外國人
ハ國内ニ現住スルモ之ヲ負担セス反之徴発ニ応スルノ義務ハ外國人ト雖
國内ニ現住スルカ又ハ徴収セラルヘキ物件ヲ有スル時ハ臣民ト均シク之ヲ
負担セシムルヲ得
兵役ハ國民一般ニ負担スル義務ナルニ反シ徴発ハ普ク國民ニ及フモノニ
アラス一定ノ時一定ノ所ニ於テ軍事上ノ必要ヲ生セル場合ニ之ヲ負担セ
シムルモノナレハ其負担ハ偶然ノ事実ニカヽルモノト云ハスンハアラス故ニ
國家之ニ賠償ヲ予ヘサル時ハ義務者ハ偶然ノ事実ニヨリ不均一ノ負
担ヲ負フモノニシテ極メテ不公平ナル結果ヲ生スレハ徴発ニ対シテハ賠
償ヲ予ルヲ例トス

ニ、租税ト異ル

徴発ニヨリテ臣民ノ負担スル義務ハ國家ノ命令権ノ活動ニ本ヅク
公法上ノ義務ニシテ又財産上ノ義務ナリトノ点ニ於テハ租税ト性質

ヲ一ニス然レ共租税ハ臣民ノ一般ニ負担スル義務ナルニ反シ兵役ト全ク又租税ハ通常軍事其他特別ノ目的ノ為ニスル徴収ニアラスシテ専ラ国費ノ為ニスル徴収ニアルモ徴収セラルル財産ヲ原形ノマヽ直接ニ公用ニ供スルモノニアラス故ニ徴発ニ対シテハ賠償ヲ予ルヲ得ス

3、公用徴収ト異ナル

徴発ハ徴収シタル物件ヲ其形ノマヽ直接ニ公用ニ供スル点ニ於テハ公用徴収ト性質ヲ同クスルモ賠償ヲ予ルヲ原則トセサルヲ以テ彼此相全シカラス

(1)、然レ共公用徴収ハ特定ノ物件ヲ強制シテ徴収スルニ反シ徴発ハ通常一定ノ種類ノ物件ヲ提供スル義務ヲ負ハシメ必スシモ特定ノ物件ヲ徴収スルヲ要セス

(2)、公用徴収ハ通常不動産ニ対シテノミ行ハルヽニ反シ徴発ハ通常動産ニ対シテモ之ヲ行ヒ上述ノ差異ニ生スル当然ノ結果ナリ

(3)、徴発ハ又独物件ニ止ラス往々労力ヲ徴収スルコトアリ此場合ニ於テモ徴発ハ敗産上ノ義務ナルニ反シ学術及高尚ナル技芸ヲ要スル労力ヲ徴収スルヲ得ス

4、賦役及現品ト異ナル

上述ノ諸点ニ於テハ徴発ハ往々公用徴収ト異ナルヲ以テ主ナル点ト為スト雖モ尚ホ左ノ如キ異点アリ

公用徴収ハ労力ヲ徴収スルヲ得ルモ其目的ハ常ニ物件ニアリ是ヲ以テ徴発ト公用徴収トハ異ナル主ナル点ナリ

(1)、徴発ハ往々今尚地方団体等ノ徴収スル賦役及現品ト性質ヲ全クスルヲ以テ徴発ハ所アリテハ之ヲ二者ハ共ニ命令権ノ作用ニ基ク敗産上ノ義務ニシテ又主トシテ人民ノ負担ヲ軽スル為金銭ヲ以テ徴収セラルヽ一般ノ租税ト全ク人民ノ一般ノ義務ニシテ労力又ハ物品ヲ以テ徴収スルナレハ其性質ハ通常租税ノ代用ナリ故ニ賦役現品ヲ以テ代納スルヲ許スヲ例トスル反之徴発ハ代納ヲ許サス必ス一定種類ノ物件又ハ労力ヲ提供スルヲ要ス

上述ニヨレハ徴発ハ国家ノ需用ヲ充スル一方法ニシテ必シモ軍支行政ノ区域ニ限ルモノト認ムルヲ要セス現ニ賦役現品中ニテモ急迫ノ場合ニ徴収スルモノハ必シモ納税義務ヲ標準トセス偶現場ニアル物品及人夫ヲ使用スルモノニシテ金銭ヲ以テ代用スルヲ許サス此ノ如キ場合ニハ賦役及現品モ広義ニ於テハ徴発ノ一種ト認メスンハアラス然レ

現行法ノ規定

現行法ノ徴発ト称スルハ軍吏行政ノ目的ノ為軍需ヲ充スル目的ヲ以テ徴収スルモノニ限ル、現行法ニヨレハ戦時若クハ変ニ際シ陸海軍ノ全部若クハ一部ヲ動スニ当リ又ハ平時演習及行軍ヲナスニ当リ必要ナル軍需ハ之ヲ徴発スルヲ得、仍布告47号徴発令、仝太布達16号徴発更令条例

徴発ノ目的

徴発ノ目的タルモノハ平、時及戦時共ニ徴発シ得ルモノアリ又ハ戦時ニ限ルアリ而シテ其数ハ物件ナリ

是等ノ物件ヲ徴発スルニハ其所有権ヲ全ク國家ニ移スモノアリ又ハ単ニ使用スルニ止ルモノアリ

徴発ノ材ヲ有スルモノ及義務者

徴発ノ目的ハ又労力ナルトアリ

徴発ノ権ヲ有スルモノハ國家ナリ実際ノ手続ニヨレハ陸海軍ノ官庁ハ徴発区ノ長ニ徴発官ヲ交付シ此者ハ人民ニ賦課シタル人民ハ徴発区ニ対シ義務ヲ負フ故ニアラス國家ニ対シテ之ヲ負担スルナリ

徴発義務者ハ物件ノ所有者其他徴発ノ賦課ヲ受ケタル者ナリ

徴発区ハ徴発義務者ニアラス

徴発ヲ行フニ当テハ上述ノ如ク其目的物ノ種類ニヨリ府縣郡市又ハ町村ヲ以テ徴発区トシ知事郡長市町村長ニ対シ徴発官ヲ発シタル是等ノ官庁ハ國家ノ機関トシテ負担ヲ分配シ供給ヲ全カラシムルニアラス故ニ是等ノ徴発区ニ於テ供給ヲ全ラシムル克ハサル時ハ之ヲ報告スルニ止リ其他ノ義務ヲ負フコトナシ、唯会社所有ノ汽車船舶ノ徴発ニ付テハ会社ヲ以テ徴発区ニ準ストセハヲ以テ此場合ニハ徴発区トハ徴発義務者ト仝一物ナリト云フヲ得

徴発ノ強制方法

徴発義務者義務ヲ履行セサル時ハ之ヲ制強スルニ二方法アリ(イ)即他ノ方法ニヨリテ調達シ費用ヲ義務者ヨリ徴収スルト及(ロ)直接ニ其物ヲ使用スルコトナリ

徴発区ノ負担ノ性質

徴発区ハ上述ノ如ク徴発義務ノ負担者ニテアリ仍テ徴発物件ヲ差出、場所ニ輸送スルハ徴発区ノ義務トシ費用ハ之ヲ賠償セサレハ人民ヨリ徴収シテ之ニ充ルヲ要ス費用ノ滞納者ハ國税滞納処分ニヨリ之ヲ徴収スルヲ得ハ然レ共現行法ノ主旨ニヨレハ徴発区ハ徴発区トシ

テ必シモ法人ニアラス必竟國政ノ一タル徴発事務ヲ行フノ区畫タルニスキス而シテ輸送費ヲ負担スルヿハ別ニ之ヲ区内ノ人民ヨリ徴収スルノ意味ニスキス

徴発ニ対シテハ賠償ヲ予ルヲ原則トスルハ上述ノ如シ此賠償ハ徴発区ノ長ヨリ一括シテ請求スルヿトセリ然レ𪜈是國家ト義務者トノ間ヲ徴発区ノ長タル行政廳カ媒妁スルモノニシテ國家徴発区ニ賠償シ之ヨリ更ニ義務者ニ賠償スルニハアラス

徴発区ノ性質ニハ争アレ𪜈法人トシテ規定セルモノニアラス故ニ徴発ノ義務ヲ負ヘルヿナシ徴発ノ義務ハ人民直接ニ之ヲ負フヿリ故ニ徴発区ハ傳達ノ機于タルニ過キス

第二節　要塞地帯ノ制限

三二年法百〇五号

要塞地帯及其制限

國防上ノ設営ノ周囲ノ区域ヲ要塞地帯トシ区域内ノ土地ハ諸種ノ制限ヲ受ク

要塞地帯ヲ分テ三区トシ区内ノ土地ニ於テハ或ハ全ク或種ノ建設ヲ禁シ或ハ建設其他ノ行為ニ付要塞司令官又ハ陸軍大臣官廳ノ許可ヲ要ス

基線ヲ設ケ二百五十間以内ヲ第一区七百五十間以内ヲ第二区二千二百五十間以内ヲ第三区トス

制限ノ性質

是等ノ制限ハ警察上ノ制限ニ类セル処アレ𪜈稍性質ヲ異ニセル点アリ、土地ニ於ケル建設其他ノ為公益ヲ害スルニヨリ制限スルニアラス

1、警察上ノ制限ト異ナル

國防上ノ設営ヲシテ効用ヲ全カラシムル為私人ノ土地ニ公法上ノ地役トモ称スヘキ一種ノ権利ヲ設定スルモノニシテ此点ニ於テハ公用徴収ト性質ヲ全クス、故ニ警察上ノ制限ニ対シテハ賠償ヲ予フルヿナキニ反シ此場合ノ制限ニハ賠償ヲ予フルハ吏ノ性質ニ反セサルノミナラス之ヲ予フルノ立法例モアリ（独逸）

2、公用徴収ト異ナル

然レ𪜈此制限ハ一方ニ於テ公用徴収トモ稍性質ヲ異ニス、公用徴収ハ行政処分ナルハ已ニ説ケリ反之要塞地帯ノ制限ハ法律上ノ制限ナリ、要塞ヨリ一定ノ巨离以内ノ地ハ法律ニヨリ当然制限ヲ受クルナリ陸軍大臣又ハ場合ニヨリ陸海軍両大臣カ要塞地帯ノ幅員ヲ定メ

及告示スルハ一ノ行政処分ニシテ此処分ニヨリ初テ私人ノ義務確定スルナリ故ニ其処分ニ対シテハ訴願ヲモ許セリ、又其処分ノ当時ニ已ニ新設開築等ニ着手セル家屋其他ノ築造物ニ于シテハ要塞地帯法ノ禁止制限ヲ適用セサルハ火竟之ニヨリテ要塞地帯ノ制限ヲ確定スルハナリ、然レ共此処分ハ法律上ノ制限ノ有無及其範囲如何ヲ確定スルモノニシテ公用徴収ノ如ク新ニ義務ヲ設定スル所分ニアラス故ニ要塞地帯ノ制限ハ独軍支ニ于シテノミ存スルニ非スシテ法律上ノ制限ヲ見ルナリ

賠償ヲ与ヘサル理由

上述ノ如ク土地ニ対スル法律上ノ制限ハ其他公有物ノ保護ノ為附近ノ土地ニ付キ法律ヲ以テ規定スルハ勿論ニシテ要塞地帯ノ制限ハ特ニ軍港要塞地帯ノ制限ニ対シテハ性質上賠償ヲ予フヘキモノナルハ上述ノ如シ然ルニ現行法ハ賠償ニ于シ規定スル処ナキハ又竟公用徴収ノ場合ト異リ行政処分ニヨリ私人ノ利益ヲ侵スニアラス法規ニヨリテ所有権ノ範囲ヲ限界セラレタルモノナリト認ムルヲ得レハナリ

軍港要塞ニ於ケル制限

要塞地帯ノ制限ト性質ヲ全クスルハ軍港要港ニ於テ海軍大臣ノ定メタル制限ナリ、各軍港要港ニ于シ法律ノ委任ニヨリ海軍大臣ハ定メタル規則中ニハ往々埋立其他ノ工事ノ制限ヲ加ヘタルモノアリ是等ノ制限ハ区域内ニ於テ権利ヲ有スルモノニ対シテハ要塞地帯ノ制限ト全果ヲ生ス

第一章　兵役

第一節　兵役義務ノ性質

兵役義務ハ(イ)陸海軍隊ノ組織ニ加ヘ(ロ)服役スルヲ為臣民(3)法律ニヨリ

陸海軍隊ノ組織ニ加ル義務ナリ

(イ)一般ニ負担スルハ(ロ)身上ノ義務ナリ

陸海軍ハ普通兵役義務ニ基キ徴兵ヲ以テ組織ス、徴兵ハ募兵ト異リ命令権ノ作用ナリ(ロ)海軍ニハ今尚志願兵ノ制度アリ其服役ノ義務ハ兵役義務ニ基クニアラス公法上ノ契約ニヨリ生スル又之ニ(2)陸軍ニ於テハ徴兵ト相並テ募兵ノ制度ヲ設クルハ法ノ許サヽル処ナリ、徴兵令ハ陸軍ニモ三軍志願兵及一年志願兵ノ制度ヲ設クルモ之等ハ全ク募兵ト性質ヲ異ニスル兵役義務ヲ果スニ一ノ形ナリ

2、身上ノ義務ナリ

兵役ハ身上ノ義務ナリ兵役ノ目的ハ一身ヲ挙テ公ニ奉スルニアリ金銭ヲ以テ換算シ又ハ代人ヲ以テ代ラシムルヲ得サルハ先ニ徴発トノ差異アリト雖モ即現今徴兵ノ制度ト徴兵発令ノ如キハ固ヨリ論ヲ俟タサル所ナリ

3、臣民一般ニ負担スル義務ナリ

兵役義務ハ臣民一般ニ負担スル義務ナリ一般ノ義務ト称スルモ必シモ國民カ皆奉テ之ニ服スヘキ義務アルヲ云フニアラス何人ニテモ法定ノ資格ニ適合セサルモノハ兵役ニ服スヘキ義務アルヲ云フ是等ノ資格ノ条件ハ年齢ヲ以テ之ヲ有セス

4、法律上ノ義務ナリ

兵役義務ハ法律上ノ義務ナレ共当然労役ニ服スルノ義務ヲ生スルモノニアラス現実ニ之ニ服スルハ各個ノ場合ニ國家ノ命令ニヨリテ生スルモノナリ

兵役義務ハ國家ノ命令ニヨリテ軍隊ノ労務ニ服スルノ義務ナリ兵役義務ヲ有セサルモノト雖モ國家ノ命令アレハ之ニ服スヘキモ此場合ニ於テハ國家ハ法規ニヨリ新ニ義務ヲ負ハシムルヲ要ス、反之兵役義務ヲ有セルモノニ対シテハ官廳ノ所分ニヨリ服従ヲ命スルヲ得

兵役義務ハ上述ノ如ク官廳ノ所分ニヨリ始テ現ニ服役スルノ義務ヲ生スルモ元来法律上ノ義務ニシテ其範囲ハ法律ニ於テ一定スル官廳ハ單ニ其義務ノ有無及範囲ヲ確定シテ之ヲ実行セシムルニ過キス

5、服役スルヲ為存在スルノ義務ナリ

兵役義務ハ陸、海軍ノ組織ニ加テ服役スル為存在スル義務ナリ故ニ國防ノ為ニスル一切ノ労務ヲ包含セルモノニアラス非常ノ場合ニ臣民兵外ニ広ク民兵ヲ徴集シ國防ニ従事セシムルモ是所謂兵役ノ義務ニアラス

兵役ハ一方ニ於テハ必スシモ兵器ヲ使用スルモノノミナラス兵役義務ノ目的ヲ雑役ニ従事スルニアリ是等ノ場合ニ於テハ徴発ニヨリ人夫ヲ徴集スル場合ト相類スルモ徴発セラレタル処ハ軍隊ノ行動ヲ助ルモノナルニ反シ其一部ヲナスモノニアラス

（以下空白）

第三節　応募義務

兵役ノ義務ハ応募ノ義務ヲ包含スルモ応募ノ義務ハ陸海軍ノ現

応募ノ義務ノ性質

役ニ服スル為徴集ニ応スル義務ナリ

応募義務ハ兵役義務ト仝ク当然軍事上ノ労務ニ服スル義務ヲ生スルニアラス、応募義務者ハ未タ軍隊ノ一部ヲナシ其規律ニ服スルモノニアラス

（兵役義務トノ異仝）

服役ノ義務ハ特別ノ國家ノ命令ニヨリ始テ生ス然レ𪜈応募ノ義務ハ兵役義務ヨリ範囲狭ク寧其一時期ナリ

帝國臣民ニシテ年齢満十七歳ヨリ四十歳迄ノモノハ兵役義務ヲ有スレ𪜈応募ノ義務ハ満廿歳ニ達シ始メテ生ス徴兵官ノ文決ニヨリ消滅ス

応募ノ義務ハ兵役ノ義務ト仝ク当然ニ服役ノ義務ヲ包含スルニ非レ𪜈兵役義務ト異リ行為ノ義務ヲ包含ス是等ノ義務ハ即(1)届出ノ義務(2)身体検査ヲ受ル義務トナリ之ニ違背セルモノハ所罰セラルヽノミナラス身体検査ヲ免レシモノニハ抽籤ニヨラス徴集スルノ不利益アリ

応募義務ニ于ル文決

応募ノ義務ハ文決ニヨリ消滅スルハ已ニ述ヘタリ此文決ヲ分テ[illegible]仮決及終決ノ二種トス

仮決ハ徴集ノα猶豫β延期ヲ決ス

終決ハα現役兵ノ編入β補充員ニ編入スルヿヒ要員ノ超過及α兵役免除ヲ決ス

二者ノ区別ハ仮決ニアリテハ単ニ終決ヲ延期スルニ過キス、応募義務ハ依然継続ス反之終決ハ全応募義務ヲ消滅セシム

一般ノ兵役義務ハ皆均一ノ服役義務ヲ意味セスシテ其義務ノ範囲ハ行政廳ノ所分ニヨリ定ルヿハ已ニ述ヘシ如シ而シテ此所分ハ即終決ナレハ終決ノ実質ヲ異ニセルハ勿論ナリ然レ𪜈何レノ場合ニモ応募ノ義務ハ此裁決ニヨリ消滅ス

文決ヲナス行政官廳

服役義務ノ範囲ヲ定ル所分即文決ヲナス行政廳ハ即徴兵官ナリ此徴兵官ハ徴兵区ノ楷級ニ従ヒ三級トス

（宝兵区）

徴兵区ハ師管及聯隊区又ハ警備区ノ区域ニヨリ而シテ聯隊区又ハ警備区ヲ更ニ分チ徴兵区トス此徴兵区ハ徴募事務ノ為ニ設ケシモノニシテ純然ノ行政区畫タル言ヲ待タス

（徴兵官）

徴兵官ハ皆陸軍ノ官憲ト行政文官トヲ以テ組織シ三市ニ於ケル

例外ノ外ハ三級ナリ即(1)総理大臣徴兵官(2)師管徴兵官(3)聯隊区若クハ警備隊区徴兵官ナリ(4)陸軍大臣ト内務大臣ト師団長ト地方長官聯隊区司令官ト郡市長

(里兵参支負)徴兵官ノ外家族ノ干係ニ基ク徴集猶豫及免除ニ于シ徴兵官ニ意見ヲ具申スル為徴兵参支負ナル機干ナリ此機干ハ通例郡市名誉戦参支会負ヲ以テス

第六編　戦務行政

第一章　國庫

口庫トハ何ソ

國家ノ収入支出ハ命令権ノ作用ニ本クコトアリ殊ニ近代ノ國家ノ収入ノ最大部分ヲ占ムル手数料及租税ハ國家ノ命令権ノ作用ニシテ私法ノ規定ヲ適用スルヲ得ス然レ𪜈國家ノ収支ハ必スシモ皆命令権ノ作用ニヨラス國家モ戦産ノ主体トシテハ私人ニ対シ私法上ノ干係ヲ生スルヿ少カラス此干係ニ於テハ國家ヲ称シテ國庫ト云フ

戦産上ノ干係ニ於ケル口家ハ必スシモ口庫ニアラス

然レ𪜈國家ト他ノ人格トノ間ニ戦産上ノ干係ヲ生スル場合ニハ國家ハ必スシモ常ニ國庫トシテ活動スト云フヲ得ス戦産上ノ干係ニシテ公法ノ区域ニ属スルモノ元ヨリ少カラス戦産上ノ干係ニ於テハ常ニ國家ヲ國庫ト見ナストノ説ハ公法上ノ救済ノ制度未完備セサリシ𪜈可成広ク國家ニ対スル救済ヲ私人ニ予ヘントセル主旨ニ出ツ故ニ現時ノ法制ニ於テモ公法上ノ干係ニ属スヘク而モ之ヲ私法上ノ干係ト見ナシ民支訴訟ノ目的トセル支項少カラス尤著シキハ公用徴収ノ賠償郵便法等ノ賠償國家私人ニ対シテ予フル賠償ナリ然レ𪜈積密ニ論スル𪜈ハ國庫ハ國家私法上ノ干係ニ於テ他ノ人格ニ称スル場合ノ称呼ナリ公法上ノ干係ニ於テハ戦産上ノ利害ニ干係アルモ國家ハ命令権ニヨリ活動スルモノニシテ國庫トシテ他人ニ対スルモノニアラス

口庫ハ一ニシテ不可分ナリ

國庫ハ一ノ法人ナリ然レ𪜈元ヨリ國家ト呉ルル権利ノ主体ニアラス國家ハ一ナリ干係ノ呉ルニ従ヒ称呼ヲ呉ニスルノミ故ニ國家一ニシテ不可分ナルカ如ク國庫亦一ニシテ不可分ナリ

特別会計等ハ唯一不可分ヲ害スルヿナシ

法律勅令ニヨリ特別ノ資金ヲ設ケ又ハ法律ニヨリ特別会計ヲ設クルヿアレ𪜈是戦政上ノ便宜ノ為会計ヲ呉ニスルノミニシテ二以上ノ國庫ヲ認ムルニアラス故ニ二以上ノ会計ノ間ニ互ニ貸借等ノ干係ヲ生スルヿ

アルモ是法律上ノ干係ニアラス単ニ会計ノ整理ノ為設ケシ手続タルニ過キス

実際上疑アルハ台湾ハ別段ノ団体ナリヤ然ラストセハ國庫ノ之ニ対スル補助ナルモノハ之アルヘカラス

法律上ノ口家ハ自己ノ財産ニ課税スルヿアルヘカラス

國庫ハ一ニシテ不可分ナレハ國家ハ已レノ財産ニ対シ租税ヲ課スルヲ得ス実際上ハ往々國庫ニ対シ租税ヲ課セル形跡アレ𪜈是会計制度ノ便宜ニ出テ法律上ノ関係ニアラス

口庫ハ私人ト仝ク各種ノ法律行為ヲナスヲ得又其行為ニ付私人ト等シク一般私法ノ規定ニ従フヲ要ス然レ𪜈会計法及会計規則ハ会計ノ整理ノ為及弊害ノ預防ノ為私法ノ例外トシテ特別ノ規定ヲナス例ヘハ年度ノ経過后五年公法上ノ干係モ之ニ従フモノアリ唯租税ハ三年時効ニ対スル規定、工支又ハ物件ノ売買貸借ヲ競争及口入札ニ附スル

私法ノ規定ニ従フ

司法文判所ノ文判ニ服ス

國庫ハ私人ト仝ク私法ノ規定ニ従フノミナラス又其結果トシ司法文判所ノ文判ニ服ス、民支訴訟ニ付國ヲ代表スルモノハ各省及地方廳並ニ各省大臣省令ヲ以テ定ルノ様子ナリ、民支訴訟法ニ干スル外ハ國ノ代表ニ付別段規定ナケレハ各官廳ハ権限内ニ於テ國庫ヲ代表スルモノト認メスンハアラス

財産ノ主体トシテ公法上ノ規定ニ従フ

國家ハ國庫トシテハ私人ト仝地位ニ立ツヲ以テ唯ニ私法ノ規定ニ従フノミナラス警察規則其他公法上ノ規定ニシテ財産ノ主体ニ適用スヘキ法規ニ従フヲ要ス例ヘハ家屋建築ノ制限然レ𪜈此原則ハ國家ノ様子公共ノ支業ヲ執行スル場合ニハ適用スヘカラス然レ𪜈差警察規則其ノ他ノ規定官廳ノ権限内ニ発セラレタル𪜈即國家ノ意思ナル𪜈ハ國家ノ意思ハ本来一ニ帰スヘキニヨリ仝ク國家ノ様子タル他ノ官廳支業ヲ行フニ当リ之ニ従フヘキハ自然ノ支理ナリ

第二章　預算

預算ノ性質

預算ノ性質ハ頗争アル問題ナレ𪜈其如何ニヨリ行政法上大干係ヲ及スナリ

預算ノ意味

凡國家ノ収入及支出ヲシテ平衡ヲ保タシムルニハ預メ将来ノ財政ハ計畫ヲ定メシメスンハアラス故ニ整頓セル國家ハ之ヲ設ケサルナシ

預算ハ立憲國ノ特有ノ制ニアラス現ニ我國ハ議会ノ制定前已ニ預算ノ制アリキ然レ共立憲國ニ於ケル預算ハ単純ノ歳出歳入ノ計畫ニアラス議会ト政府トノ干係上特別効力ヲ有スルモノナルヿ疑ヲ容レス然レ共其効力ノ如何ハ頗ル議論分レ或ハ法規ト認メ或ハ政府ニ歳出ノ責任ヲ負フヘキモノト認メ或ハ一種ノ訓令ト認ムルモアリ、余ハ嘗テ憲法ハ預算トハ議会ト國家ノ歳入歳出ニ付キ協賛スルノ意ニシテ形式ナリト論シタリ此説ハ Meyer ヲ始メトシ多クノ論述ニヨリテ預算法ノ精神ヲ得ルモノナルヿヲ確信スルニ至レリ

(立憲ノ預算)

(預算ノ効力)

預算ハ租税ノ如ク永久ニ起源ハ租税承諾権ニアリ故ニ預算ヘ租税カ必要ナリヤヲ証明シ且承諾ノ目的以外ニ用ヒサルヿヲ証明スルモノナリ故ニ南独ノ旧憲法ニハ租税承諾権ノ規定アルモ預算法ノ規定ナシ此預算法ニ二種ノ制アルヿハ Meyer モ之ヲ詳述セリ後種ノ永久ノ效果アリ租税ハ永久ノ収入ニシテ毎年之ヲ議決スルノ必要ナキモノトシ之ニ代ユルニ預算ヲ以テセリ故ニ普独ノ憲法等ニハ預算ハ毎年ノ法律ヲ以テ議会ノ協賛ヲ経ヘシトスルニ至リ然レ共承諾ノ観念ハ今日ニ存スル所ナリ恰モ議会カ政府ト別人ニシテ之ニ Bewilligung スルカ如ノ考ヘアルヘシトナリ故ニ預算ハ普通ノ法律ト全視セラルヘカラス預算ニ違ヘル支出ヲナスモ議会ノ承諾ニヨリテ之ヲ補フヲ得ヘク然ラハ今日ノ預算ト雖モ其要素ハ議会カ政府ノ収支ニ全意ヲ表スルニアリ故ニ直ニ効力ヲ生スルモノニアラス云々

(イ)歳政ノ計畫ナリトノ説アレトモ是未タ尽サヽルモノナリ

(ロ)普通ノ法規トスルモ説明スヘカラス預算ニ違ヘル支出ヲナスモ議会ノ承諾ニヨリテ之ヲ補フヲ得ヘク然ラハ今日ノ預算ト雖モ其要素ハ議会カ政府ノ収支ニ全意ヲ表スルニアリ故ニ直ニ効力ヲ生スルモノニアラス云々

Bornhak モ預算ヲ訓令ト見ナス説ヲ引テ曰ク豫算法律ハ官廳ト皇帝トノ干係ニ屬スルモノニアラス聯邦参議院ト議会トニ対スル改府ノ責任ニ関スルモノナリ、預算法律ニ遵拠スルヿヲ命スルヿ一般ノ命令ハ訓令ノ性質ヲ有スルヿ疑ナキモ其命令ノ本ヅク所ハ預算法律ニアラス皇帝ノ憲法上ノ権ニアリト

預算ハ上述ノ如ク本来訓令ノ性質ヲ有スルニアラサレハ当然官廳ヲ拘束スル効力ナシ然レ共会計法ハ支払命令ヲ発スルニハ預算ニ

ヨルヘキヿヲ規定シ又預算ハ実際君主ノ文可ヲ経テ之ヲ発スルニヨリ其結果トシテ官廳ヲ拘束スル効ヲ有ス然レ𪜈預算ハ直接ニ臣民ニ対シ効力ヲ生スルモノニアラス、文可ヲ経タル預算ハ単ニ官廳ヲ拘束スル訓令ノ性質ヲ有スルノミ

預算ノ編制

預算ノ編制ニ于シ主ナル点ヲ挙レハ左ノ如シ

予算ハ一年度間ノ収支ノ予測ナリ

(一)、預算ハ一年度間ノ収支ヲ預測セルモノナリ会計年度ハ四月一日ヨリ翌年三月廿一日迄トシ歳入歳出ノ年度所属ノ区分ニ于シテハ会計規則ニ詳細規定アリ

毎年度ニ決定シタル経費ノ定額ヲ以テ他ノ年度ニ属スヘキ経費ニ充ツルヲ得ス

預算ハ総収支ノ預測ナリ

(二)國家ノ一切ノ収納ヲ収入トシ一切ノ経費ヲ支出トシ収入支出ハ凡テ之ヲ総預算ニ編入スルヲ要ス

預算ハ総収支ノ預算ニシテ(イ)純収支ノ預算ニアラス故ニ租税ノ徴集費用官有財産ノ管理費用ハ支出ノ預算ニ掲ルヲ要ス(ロ)又我法ハ預算統一ヲ原則トシ法律ヲ以テ特別会計ヲ設置セル場合ニ限リ特別ノ預算ヲ設クルヲ得

預算ハ款項ニ区別ス

(三)、預算ハ収入支出共ニ経常、臨時ニ大別シ共ニ款項ニ区分シテ調製スルヲ要ス款項ノ区分ハ大蔵大臣ノ定ムル所ニヨル

(四)、預算中ニハ預備費ヲ設ク、預備費又預算ノ一部ナレ𪜈支出ニアラス反テ預算超過又ハ預算外ノ支出アル場合ニ之ヲ充ルモノナリ故ニ決算ノ時ニハ預備費ナシ

預算ニ逺フヿ

預算ハ預メ将来ノ収支ヲ預測スルモノナレハ実際財政ヲ行フニ当リ往々之ニ逺フヿヲ生スルハ免ルヘカラス然レ𪜈(イ)預算ハ臣民ニ対シ直ニ効力ヲ生スルモノニアラサレハ官廳之ニ逺ヘルノ理由ヲ以テ臣民ハ権利ニ何等ノ影響ヲ及サヽル言ヲマタス

(2)、官廳ハ如何ナル点迄預算ニ違フヤノ疑問ニ于シテハ場合ヲ分テ論セスンハアラス

預算ニ逺ヘル収入

一、國家ノ歳入歳出ハ預算ニ編入スヘキ已述ノ如シ、預算成セハ政府ハ出来得ヘル限リ其範囲内ニ於テ収入支出ヲナスヲ要ス範囲外ニ出ル

モノハ或ハ預算外ノ収入支出ナルカ又ハ預算超過ノ収入支出ナリ此ノ如キ預算外又ハ預算超過ノ支出ニ関シテハ別段ノ法規アシテ収入ニ手ヲ下シテハ別ニ規定ナシ

預算ニ定メタル支出ヲナサヽルノ一

然レ共預算ハ単ニ予測ニ過キサレハ実際ニ行フニ当リ変更ヲ生スルハ性質上免レサル処ナリ、故ニ預算外又ハ預算超過ノ支出ニ付テモ別段規定ナキ時ハ止ムヲ得サル所ナリ、而シテ収入ニ付テハ何等ノ規定モナケレハ実際ニ敏政ヲ行フニ当リ収入額預算ニ達セス又ハ之レヲ超過スルカ如キモノアルモ之ヲ違法ト為スヘキニアラス又預算外ノ収入トスルヲ得ス

二、支出ハ預算ヲ超過シ又ハ預算外ニ出ル得サル原則トスルハ上述ノ如クモ預算ハ敏政ノ計画ニシテ支業ノ計画ニアラス、預算ヲ定ムルニ当テハ支業ノ必要ヲ審査スルヲ勿論ナレ共決シテ支業ノ執行ヲ命スルモノニアラス故ニ官庁ハ預算ニ定メサル費用ヲ支出スルヲ得サレ共又スシモ預算ニ定メタル費用ヲ支出スヘキ義務ナシ

勿論法令ノ規定ニ基ク歳出ハ官庁之ヲナスヲ要ス然レ共是法令ニ規定アル為ニシテ預算ニ定額アル為ニアラス

預算超過又ハ預算外ノ支出

三、収入預算ニ超過スル場合ヲ生スルハ勿論ナレ共支出モ往々定額ヲ超過スルヲ免レス然レ共預算ノ定額ニ超過スル場合ニハ特別手続ヲ経過スルヲ要ス其手続ハ預算外ノ支出ト預算超過ノ支出トノ間ニ差アリ(甲)預算超過ハ支出ノ本旨ヲ害セサル場合ニ猶支出ヲ要スルモノヲ云ヒ(乙)預算外ハ支出ハ預算ノ目的外ニ於テ臨時支出ノ必要(ミツ)ヲ生セルモノヲ云フ之等ノ支出ノ為追加預算ヲ設クルヲ妨ケサルモ預備費ハ範囲内ニ於テハ之ヲ設ケスシテ支出スルヲ得

預備費ノ二種

預備費中(イ)預算超過ノ支出ニ充ルヲ第一預備金(ロ)預算外ノ支出ニ充ルヲ第二預備金トス

第一預備金ヲ以テ補充シ得ル費途ハ預ノ救令ヲ以テ定メタル支出ヲ要スルヲ大蔵大臣ノ承認ヲ得ルヲ要ス

第二預備金ノ支出ヲ要スルハ計算昏ヲ大蔵大臣ニ送付シ大蔵大臣ハ意見ヲ付シ勅文ヲ与フルヲ可トス

預備費ノ支出

預備費ノ支出ハ年度経過後帝國議会ニ提出シ承認ヲ求ムルヲ要ス、（猶実際ノ慣例上預備費以外ニ預算外又ハ超過ノ支出ヲナスコトアリ「剰余金ヨリ」是カ省否ニ付テハ憲法上ノ爭アラン）

款項ノ流用

上述ノ手続ニヨリ預算外若クハ預算超過ノ支出ヲナス場合ノ外預算ニ遠ヘル支出ヲナスヲ得ス當ニ総額ニ於テ之ニ超過スルヲ得サルノミナラス各款項ノ支出ハ其定額ヲ超ユルヲ得ス換言セハ預算ノ款項ハ之ヲ流用スルヲ得ス、（例ヘハ得ス ditto again ヲ又預算ノ金額ハ預算ニ定メタル目的以外ニ支出スルヲ得ス、預算ノ目的ハ款項ノ種類ニヨリ広狭ヲ異ニスレハ之ヲ一定スルヲ得ス（例ヘハ経常ノ営繕費ト臨時ノ土木費）

預算目的以外ノ支出

収益財産ト公用財産

第三章　國有財産

通常分テ二種トス、収益財産及公用財産ナリ

一、公用財産ハ直接ニ國家ノ公用ニ供スル財産ナリ

二、収益財産ハ反之直接ニ國家ノ行政ノ目的ニ供セス單ニ國家ノ収入ヲ得ル財源タルヲ目的トスル財産ナリ

公用財産ヲ往々旁収入ヲ生スルヲアレ共其目的トスル所ハ國家ノ財源ニ供スルニアラス

此区別ヨリ生ス結果

公用財産収益財産ノ区別ヨリ生スル一結果ハ之ヲ取得スル方法ヲ異ニスルニアリ、収益財産ハ間接ニ國家ノ公用ニ供スルヲ直接ニ之ニ供スルニ非レハ國家之ヲ取得スルハ私法上ノ法律行為ニヨルノ外ナシ公用財産ノ取得モ通常私法ノ規定ニヨルモ必要ナル場合ニハ公用徴収ノ手続ニヨル

第一、取得方法ノ異ナル

第二、管理ノ方法及機関ノ異ナル

此区別ヨリ生スル第二ノ結果ハ管理ノ方法及機関ヲ異ニスルニアリ

公用財産ハ行政ノ目的ニ供スル爲ニ管理セラルヽニ反シ収益財産ハ専ラ財産ノ管理ヲ以テ目的トスル行政機関ニヨリ管理セラルヽヲ以テ普通ナリ

主トシテ財政ノ行政ヲ掌ル官廳ヲ始メ主務ノ行政廳ナリ特ニ収益財産ノ管理ヲ掌ル官廳ヲ置クコトアリ等ル官廳モ土地森林等ノ如キ特別規定アルモノヽ外財政ヲ總轄スル官廳ナリ

（財産ノ所分ニ付テ）

財産ノ所分ニ付テモ往々此二者ヲ区別シ公用財産ノ所分ハ議会ノ

意ヲ要セス行政廳之ヲ專行スルヲ得ルモ收益財産ノ所分ハ議會ノ協賛ヲ要スト主張スルモノモアリ此ノ如キ行政廳ハ國有財産ヲ處分スル權ヲ有スルモ此權ニ對シテハ特別明文ナキ時ハ議會ノ協賛ヲ要スル理由ナシ

官有財産管理規則及官有地特別所分規則等ノ規定アリ

第四章　手數料

手數料ノ性質

手數料ハ(a)私人ノ利益ノ爲ニシ又ハ私人ノ爲特ニ必要ヲ生シタル國家ノ行爲ニ對シ(b)又ハ官造物ハ使用ニ對シ其行爲又ハ使用ノ報償トシテ私人ヨリ國家ニ支拂フモノナリ

財産ヨリ生スル收入トノ差

手數料ハ一方ニ於テハ國家ノ財産ヨリ生スル收入ト性質ヲ異ニシ一方ニ於テハ租稅ト性質ヲ異ニス

手數料ハ財産ヨリ生スル收入トハ國家ハ權力ノ行爲ニヨリ賦課スルモノナリ、鐵道事業其他官役事業ニヨリ國家收入スル金額モ或ハ之ヲ手數料ト稱スルノ一ナレドモ各個ノ場合ニ國家カ私人トノ契約ニヨリ收入スルモノハ嚴正ニ云フ時ハ(手數料ニ公法上ト私法上トアリト說クモノナリ)手數料ト稱スルヲ得ス

租稅トノ差

手數料ト租稅トハ國法上又行政法上尤重要ナル區別ナリ、租稅ノ新設及稅率ノ變更ハ必ス法律ヲ以テスルヲ要セス之ニ反シ手數料ノ新設及變更ハ必ス法律ヲ以テスルヲ要スト雖モ法律ニ別段ノ規定アル場合ノ外ハ行政廳ノ權限ニ屬スルヲ以テ一般ノ原則ナリ

又、實質上

手數料ト租稅トノ區別ハ報償ノ性質ヲ有スルヤ否ヤニアリ、租稅ハ國家カ私人ニ對シテ一行爲ヲナスニ際シ徵收スルヲアレドモ其行爲ニ對スル報償トシテ徵收スルニアラス一般ノ國家ノ支出ニ充ツヘキ收入ヲ得ル目的ヲ以テ一ノ權力ヲ以テ徵收スルモノナリ(狩獵稅ノ如キ)、反之手數料ハ報償トシテ徵收スルモノナリ

心ニ當テモ國家ハ(a)其行爲又ハ(b)又ハ其行爲又ハ營造物ノ使用ニヨリ私人ノ享有スル利益ニ相當スルヲ目的トスルヲ要ス、勿論資力ノ少キモノニ爲特ニ輕減スルヲ必要ヲ生スルヲアルモ全ク報償トシテ徵收スルノ主旨ヲ外ニシ專ラ負担力ノ多少ニヨリ金額ヲ定ムル場合ニハ國家ハ手數